

鳥取県の政策に関する県民意識調査
結果報告書
(令和3年7月調査)

令和3年 11 月



目 次

	ページ
【 調査の概要 】	
1 調査の目的.....	1
2 調査の概要.....	1
3 資料のみかた.....	1
4 回収状況と信頼区間.....	2
5 回答者の情報.....	3
【 結果の概要 】	
結果の概要.....	6
【 調査結果 】	
I 鳥取県の住みやすさについて.....	9
問 1 あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか.....	9
問 2 あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください.....	11
問 3 あなたは鳥取県での暮らしについてどう思われますか.....	13
問 4 鳥取県に暮らしていて、あなたは今の程度「幸せ」ですか.....	15
問 5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか.....	17
II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について.....	19
1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる.....	19
問 6-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度.....	19
問 6-1-2 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度.....	23
2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む.....	25
問 6-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度.....	25
問 6-2-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度.....	29
3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ.....	31
問 6-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度.....	31
問 6-3-2 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度.....	35
4 男女共同参画社会づくり.....	37
問 7 男女に関する役割についてどう思いますか.....	37
問 8 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思 いますか.....	38
問 9 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思 いますか.....	40
5 SDGs(持続可能な開発目標)の推進.....	42
問 10 あなたは国連で採択された SDGsという言葉・内容を聞いたことがありますか.....	42
問 11 SDGsという言葉・内容をどうやって知りましたか.....	44
問 12 あなたは SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心がありますか.....	46
問 13 あなたは SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて、行政が特に力を入れるべき 課題は何だと思 いますか.....	48

Ⅲ	重点施策への関心・認識	50
問 14	「鳥取県情報技術活用推進計画～Society5.0 推進計画～」に基づく取組について.....	50
	1 農林水産分野.....	50
	2 産業振興・働き方分野.....	51
	3 観光・文化振興分野.....	51
	4 医療・福祉・健康分野.....	52
	5 暮らし分野.....	53
	6 防災・減災分野.....	53
	7 学校教育分野.....	54
	【 自由記載 】 (問5、問8、問9、問 11 の回答を含む自由記載).....	55
	【 資料 】	
	調査票.....	59
	集計結果.....	71

【 調 査 の 概 要 】

1 調査の目的

鳥取県は、都会にはない鳥取県の強みを活かし、県民の皆さんとともに様々な地方創生の取組を進めています。

これからも、県民の皆さんが住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けていただけるよう現在の状況や今後の要望など、率直なご意見をお伺いするため調査を行ったものです。

2 調査の概要

- (1)調査対象 鳥取県内在住の18歳以上75歳未満の者 3,000名
- (2)抽出方法 住民基本台帳に基づく無作為抽出法
- (3)調査時期 令和3年7月
- (4)調査方法 (2)により抽出した者に対し、郵送により調査票を送付して、回答は郵送またはインターネットにより受付した。なお、調査票の提出は無記名とした。
- (5)有効回答数 1,644名
- (6)回収率 54.8% (1,644/3,000)
・郵送回答:1,203(73.2%)・インターネット回答:441(26.8%)
- (7)回答者の属性 性別:男性678人(41.2%)、女性908人(55.2%)
その他(回答したくない)29人(1.8%)、無回答29人(1.8%)
年齢:18~19歳(1.9%)、20~29歳(9.6%)、30~39歳(13.4%)、
40~49歳(17.5%)、50~59歳(16.5%)、60~69歳(25.2%)、
70歳以上(14.9%)、無回答(0.9%)

3 資料のみかた

(1) 比率(%:パーセント)の表示について

原則として、各設問の無回答を含む集計対象総数(副設問では設問該当対象数)に対する百分率(%)を表している。複数回答を求める設問では、百分率の合計は100%を超える。

また、百分率は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示した。このため、百分率の合計が100%とならず、端数が生じたものがある。

(2)「無回答」の取り扱いについて

以下については「無回答」として取り扱うこととした。

- ・回答が選択されていない場合
- ・指定回答数以上を回答している場合 例)単数回答の設問に複数回答を行っている場合など

(3)クロス集計の「性別:その他」及び「年代:18~19歳」標本の取り扱いについて

クロス集計の「性別:その他」及び「年代:18~19歳」は標本数が少ないため、他の性別又は年代と比較・分析する場合は除外することとした。

※「性別:その他(18~19歳)」については、該当者なしのため記載なし。

4 回収状況と信頼区間

(1) 必要標本数について

今回の調査においては、18歳以上75歳未満の鳥取県推計人口374,212人(令和2年10月1日時点)から無作為に3,000人を抽出し、調査の依頼を行った。そのうち有効回答数は1,644人であり、回収率は54.8%であった。

まず、標本数の設定については、次の式によって与えられる。

$$A = \frac{N}{\left[\frac{\varepsilon}{X(\alpha)} \right]^2 \cdot \frac{N-1}{\sigma^2} + 1}$$

- A = 必要標本数
- α = 推定を誤る確率
- $X(\alpha)$ = 正規分布の性質から与えられる値(1.96)
- N = 母集団の大きさ(満18歳以上75歳未満の県民)
- σ^2 = 母分散
- ε = 精度

本調査では、信頼度を95%として計算を行った。この場合、 $X(\alpha)$ は、1.96であり、母集団の大きさは374,212人。精度を仮に3%、母比率を50%とし、それぞれ代入して計算すると、以下のとおりとなる。

$$A = \frac{374,212}{\left[\frac{3}{1.96} \right]^2 \cdot \frac{374,211}{50 \times 50} + 1} = 1060.032$$

よって、今回の調査において必要な最小標本数は1,060人であり、有効回答1,644人はこの条件を満たしているといえる。

(2) 標本誤差について

有効回答票の標本誤差を次の式によって計算した。

$$B = \pm 1.96 \cdot \sqrt{\left[\frac{N-n}{N-1} \right] \cdot \frac{Q(1-Q)}{n}}$$

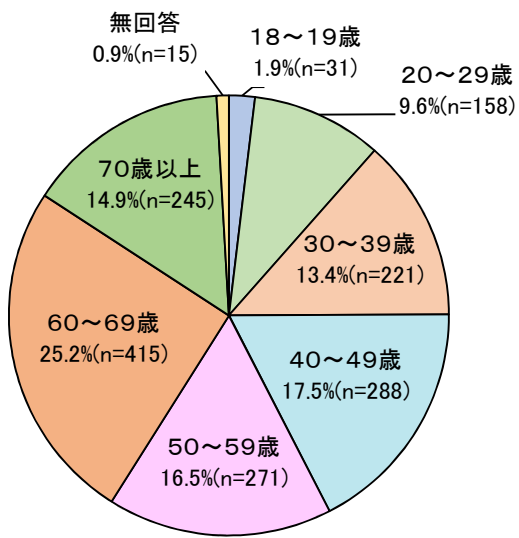
- B = 標本誤差
- N = 母集団の大きさ(満18歳以上75歳未満の県民)
- n = 回答者総数(1,644人)
- Q = 母比率(0.5とする)

$$B = \pm 1.96 \cdot \sqrt{\left[\frac{372,568}{374,211} \right] \cdot \frac{0.5(1-0.5)}{1,644}} = \pm 2.41$$

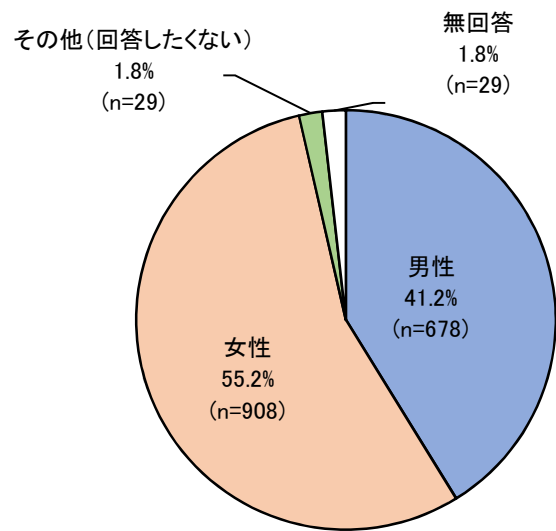
すなわち、標本誤差は $\pm 2.4\%$ しかないといえる。

5 回答者の情報

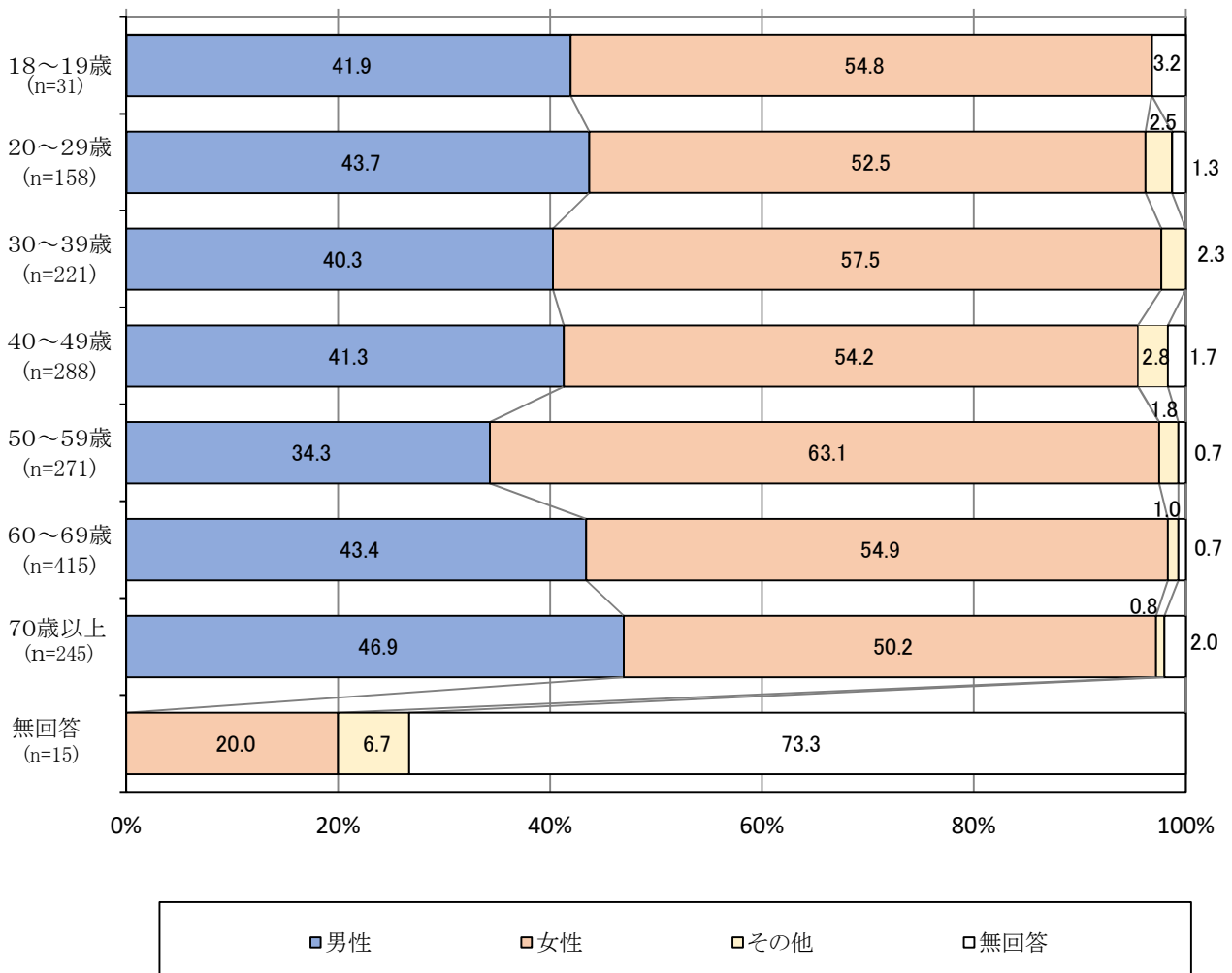
(1) 年代



(2) 性別



(3) 性別×年代



<市町村別調査対象者数>

区 分		人 口			抽 出 数		
		男性	女性	合計	男性	女性	合計
東 部 地 区	鳥取市	66,075	64,551	130,626	530	517	1,047
	岩美町	3,578	3,572	7,150	29	28	57
	八頭町	5,283	5,234	10,517	42	42	84
	若桜町	907	886	1,793	7	7	14
	智頭町	2,034	2,023	4,057	16	17	33
	(小計)	77,877	76,266	154,143	624	611	1,235
中 部 地 区	倉吉市	15,145	15,687	30,832	121	126	247
	湯梨浜町	5,289	5,341	10,630	42	43	85
	三朝町	1,933	1,896	3,829	16	15	31
	北栄町	4,608	4,733	9,341	37	38	75
	琴浦町	5,209	5,349	10,558	42	43	85
	(小計)	32,184	33,006	65,190	258	265	523
西 部 地 区	米子市	49,383	51,928	101,311	396	416	812
	境港市	11,065	11,043	22,108	89	88	177
	南部町	3,395	3,432	6,827	27	28	55
	伯耆町	3,351	3,384	6,735	27	27	54
	日吉津村	1,124	1,235	2,359	9	10	19
	大山町	5,031	4,882	9,913	41	39	80
	日南町	1,269	1,089	2,358	10	9	19
	日野町	866	848	1,714	7	7	14
	江府町	788	766	1,554	6	6	12
	(小計)	76,272	78,607	154,879	612	630	1,242
合 計		186,333	187,879	374,212	1,494	1,506	3,000

<回答者の情報>

【性別】

区分	件数	割合
男性	678	41.2
女性	908	55.2
その他 (回答したくない)	29	1.8
無回答	29	1.8
計	1644	100

【年代】

区分	件数	割合
18～19歳	31	1.9
20～29歳	158	9.6
30～39歳	221	13.4
40～49歳	288	17.5
50～59歳	271	16.5
60～69歳	415	25.2
70歳以上	245	14.9
無回答	15	0.9
計	1644	100

【職業】

区分	件数	割合
会社員 (公務員含む)	707	43.0
自営業 (家族従事者も含む)	159	9.7
パート ・ アルバイト	248	15.1
学生	61	3.7
専業主婦 (主夫)	148	9.0
無職	293	17.8
無回答	28	1.7
計	1644	100

【住まい】

区分	件数	割合
鳥取市	563	34.2
米子市	432	26.3
倉吉市	134	8.2
境港市	100	6.1
岩美郡	23	1.4
八頭郡	45	2.7
若桜町	9	0.5
智頭町	16	1.0
湯梨浜町	45	2.7
三朝町	19	1.2
北栄町	48	2.9
琴浦町	46	2.8
南部町	29	1.8
伯耆町	37	2.3
日吉津村	15	0.9
大山町	40	2.4
日南町	12	0.7
日野町	5	0.3
江府町	7	0.4
無回答	19	1.2
計	1644	100

【 結 果 の 概 要 】

I 鳥取県の住みやすさについて

- 鳥取県に対する愛着や誇りは、約7割の人が「感じている」又は「少し感じている」と答えている。
- 今暮らしている地域について、7割弱の人が「住みやすい」と答えている。
- 鳥取県に暮らしていて、豊かな自然環境に恵まれていると思う人は約9割と圧倒的に多く、また5割以上の人が、治安が良い、住民が親切であると答えている。
- 生活するにあたっての公共交通機関の状況について、約5割の人が「整っていない」と思っている。
- 鳥取県での暮らしの幸せの程度について、約9割の人が「普通」から「とても幸せ」と答えている。
- 幸福度の判断で重視することについて、6割以上の人が「自身の健康の状況」「家計の状況」と答えている。

II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

【豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる】

- 農林水産・畜産の担い手育成、環境課題に対する取組に不満を感じている割合が多い。一方で、「農業の活力増進に関する取組」「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」に満足を感じている割合が多い。

(今後優先すべき重要度の高い項目)

- 「農林水産・畜産の若き担い手育成」「豊かな観光資源を活用した観光誘客」「農業の活力増進」と、農林水産・畜産関係、観光資源活用による誘客の取組が、今後優先すべき項目の上位を占めている。

【人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む】

- 中山間地域・まちなか振興、人づくりに関する取組に不満を感じている割合が多い。一方で、「感染症に強い地域づくり」「健康寿命の延伸」「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」など、感染症対策、健康、結婚、出産、子育てに関する取組に満足を感じている割合が多い。

(今後優先すべき重要度の高い項目)

- 「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」「感染症に強い地域づくり」「地域で子育て世代を支える取組」が、今後優先すべき項目の上位を占めている。

【幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ】

- 「自らの能力を発揮できる働き方の実現をめざす取組」「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」「戦略的な産業人材の育成・確保」に不満を感じている割合が多い。一方で、「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」「強靱な防災基盤の構築に向けた取組」「アート・文化による地域づくりへの取組」に満足を感じている割合が多い。

(今後優先すべき重要度の高い項目)

- 「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」が、今後優先すべき項目の上位を占めている。

【男女共同参画社会づくり】

- 男女に関する役割などについて、8割以上の人が「現実として家事や子育てが女性の役割となっていると思う」、約7割の人が「現実として介護が女性の役割となっていると思う」と答えている。
- 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために行政が行うべき施策について、約6割の人が「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」と答えている。
- 男女共同参画社会を実現するために行政が特に力をいれるべきことについて、5割以上の人が「就労における男女の機会均等や働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実」、約4割の人が「子育てや介護等で離職した人の再就職支援」と答えている。

【SDGs(持続可能な開発目標)の推進】

- SDGsという言葉・内容について、約7割の人が「聞いたことがある」と答えている。
- SDGsという言葉・内容をどうやって知ったかについて、約8割の人が「テレビ」、約5割の人が「新聞・雑誌」、約3割の人が「インターネット」と答えている。
- SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心があるかについて、5割以上の人が「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」「平和と安全・安心社会の実現」と答えている。
- SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて行政が特に力をいれるべき課題について、約5割の人が「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」、約4割の人が「平和と安全・安心社会の実現」「生物多様性、森林、海洋等の環境の保全」と答えている。

Ⅲ 重点施策への関心・認識

(「鳥取県情報技術活用推進計画～Society5.0推進計画～」に基づく取組についての関心度)

【農林水産分野】

- 「自動操舵システム、ドローン等を活用した作業の省力化及びリモコン式自走草刈機、アシストスーツ等を活用した作業の負担軽減」に『関心がある』が5割となっている。

【産業振興・働き方分野】

- 「小規模事業者を含む県内企業のデジタル実装の加速化」「最先端技術活用による革新的実装モデルの創出」に『関心がある』割合が高くなっている。

【観光・文化振興分野】

- 「動画配信サービス等を活用したイベント等の遠隔での体験・鑑賞の推進」「SNS等を用いた多様で魅力ある情報発信の強化」に『関心がある』割合が高くなっている。

【医療・福祉・健康分野】

- 「オンライン技術を活用した遠隔医療等の環境整備」「IoTセンサー等を活用した高齢者等の見守りの効率化・省力化」に『関心がある』割合が高くなっている。

【暮らし分野】

- 「AI、IoTセンサー、ドローン等を活用した公共インフラの維持管理の効率化」「情報通信技術により様々な交通手段を統合し、革新的な移動サービスを提供するMaaSの推進による県民の利便性の向上」「IoT技術を活用した再生可能エネルギーの地域内における需給(地産地消)の推進」に『関心がある』割合が高くなっている。

【防災・減災分野】

- 「衛星画像、IoTセンサーやドローン等を活用した自然災害時の迅速な状況把握と対応の強化」をはじめ、その他の取組も『関心がある』割合が6割以上と全体的に関心度が高くなっている。

【学校教育分野】

- 「サイバー空間において被害者や加害者にならないための情報モラル教育等の推進」「1人1台端末による個別最適な学びと協働的な学びが実現できる環境の整備」に『関心がある』割合が高くなっている。

【 調 査 結 果 】

I 鳥取県の住みやすさについて

問1 あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか。(〇は1つ)

～鳥取県に対しての愛着や誇りを感じている人が約7割～

鳥取県に対する愛着や誇りは、「感じている」が49.6%、「少し感じている」が24.4%と、愛着や誇りを感じている人が74.0%となっている。一方、「あまり感じていない」が3.3%、「感じていない」が1.2%と愛着や誇りを感じていない人は、4.5%と1割に満たない。

平成28年度-令和3年度を比較してみると、「感じている」「少し感じている」の合計は28年度が約8割と最も割合が高く、29年度以降は約7割とほぼ横ばいで推移しているが、2年度は前年度より3ポイント増加し、令和3年度もほぼ横ばいとなっている。

年代別でみると、愛着や誇りを「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、70歳以上が最も高く、20歳代が最も低くなっている。

性・年代別でみると、「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、男女ともに70歳以上が最も高く、また、女性では30歳代が高くなっている。

地域別でみると、「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、西部地区が他の地域に比べ高くなっている。

図1 鳥取県に対して愛着や誇りを感じているか(n=1,644)

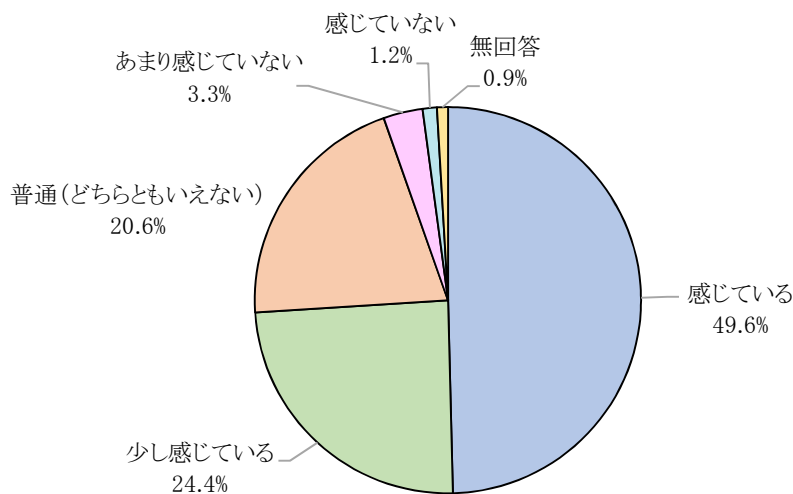


図2 鳥取県に対して愛着や誇りを感じているか(年次比較)

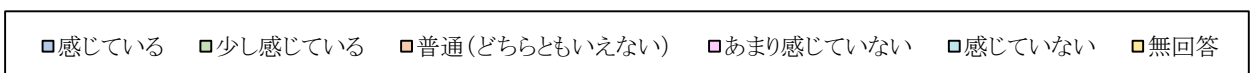
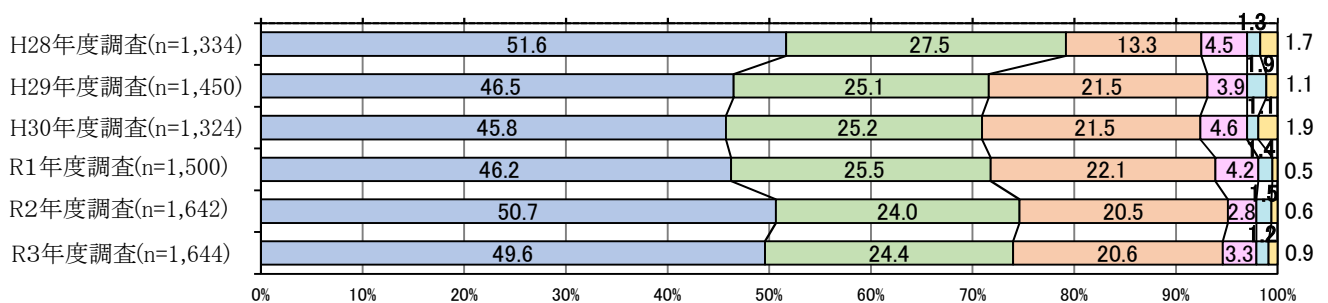
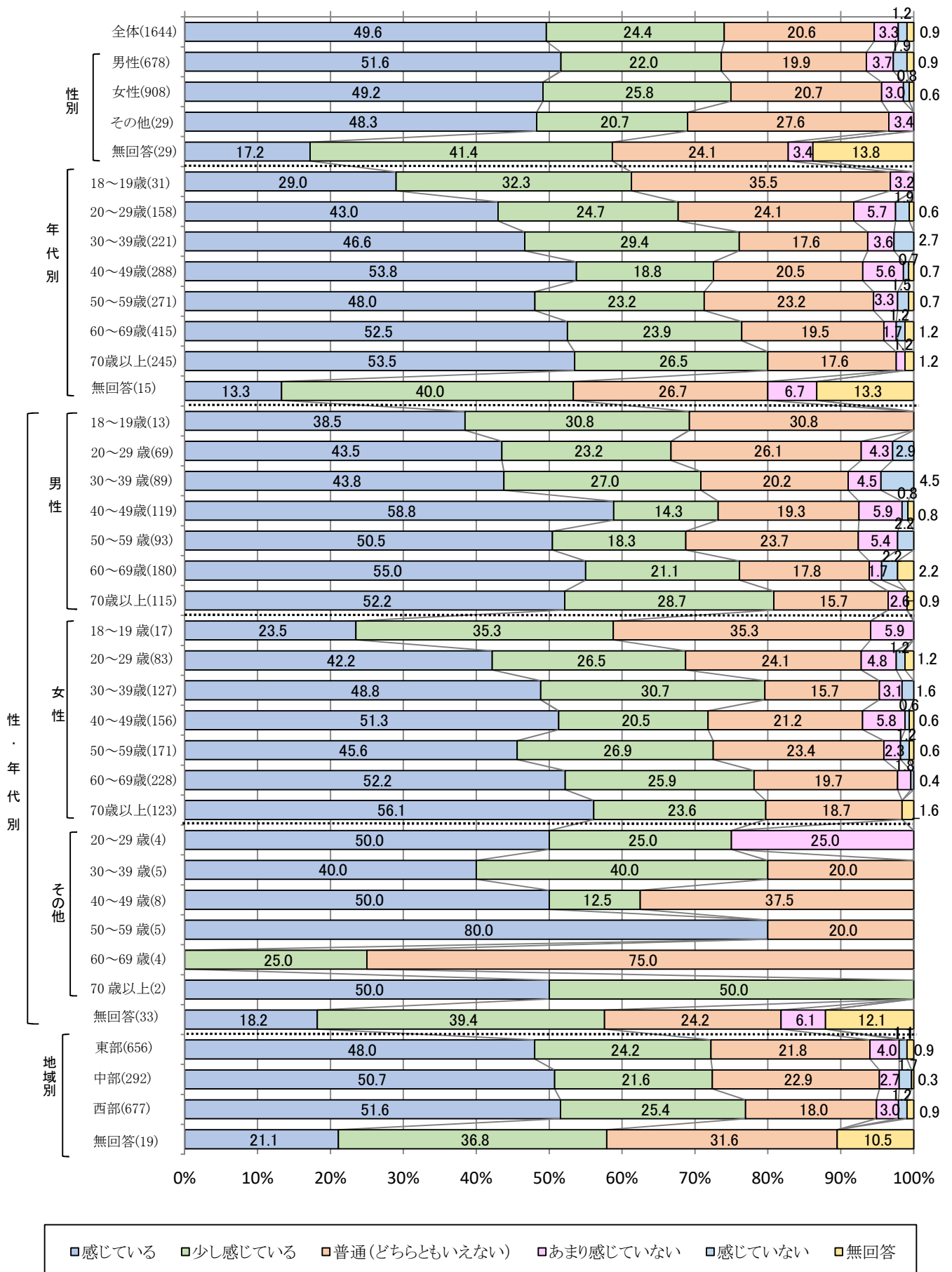


図3 鳥取県に対して愛着や誇りを感じているか(性別・年代別・地域別)



問2 あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください。(〇は1つ)

～「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせると7割弱の人が住みやすいと回答～

今暮らしている地域の住みやすさは、「とても住みやすい」が22.7%、「どちらかという住みやすい」が45.1%で、住みやすいと答えている人が合わせて67.8%となっている。

一方、「どちらかという住みにくい」が6.6%、「住みにくい」が2.0%で、住みにくいと答えている人は合わせて8.6%となっている。

平成28年度-令和3年度を比較してみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」の合計は、28年度の74.9%が最も割合が高く、29年度以降は減少傾向にあった。2年度は前年度より9.4ポイントの増加となったが、3年度は2.9ポイント減少している。

年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、60歳代が高く、20歳代が最も低くなっている。

性・年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、男性は30歳代と60歳代以上が高く、女性は全ての年代において高くなっている。

地域別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、西部地区が他の地域に比べ高くなっている。

図4 今暮らしている地域の住みやすさ(n=1,644)

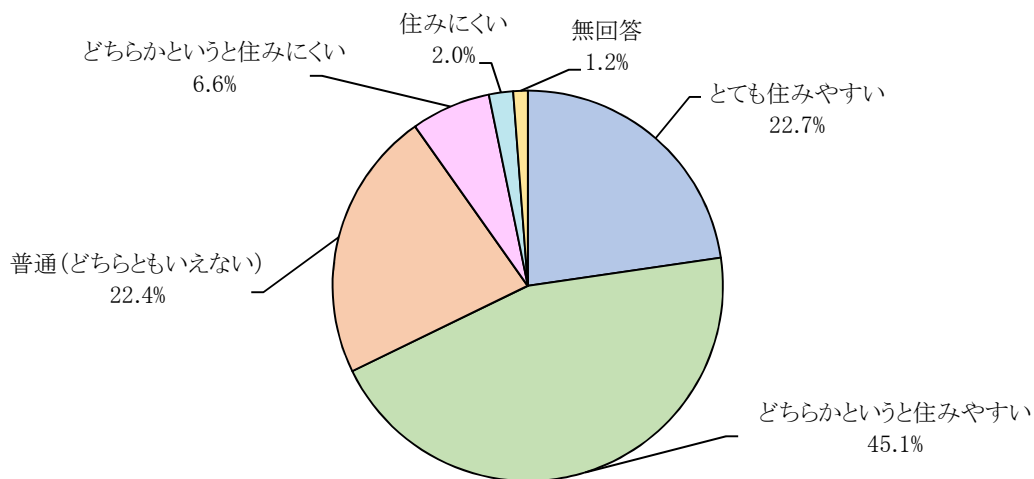


図5 今暮らしている地域の住みやすさ(年次比較)

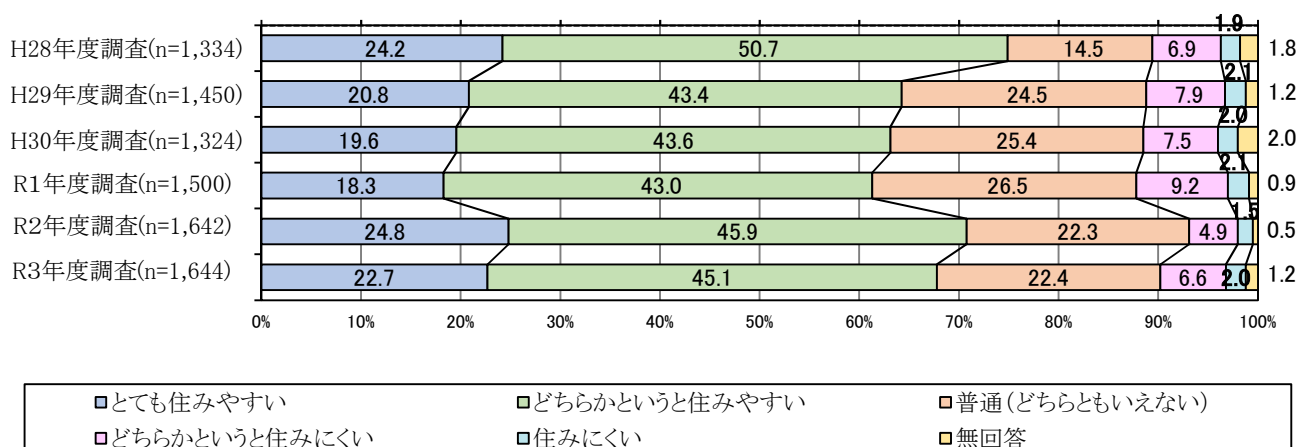
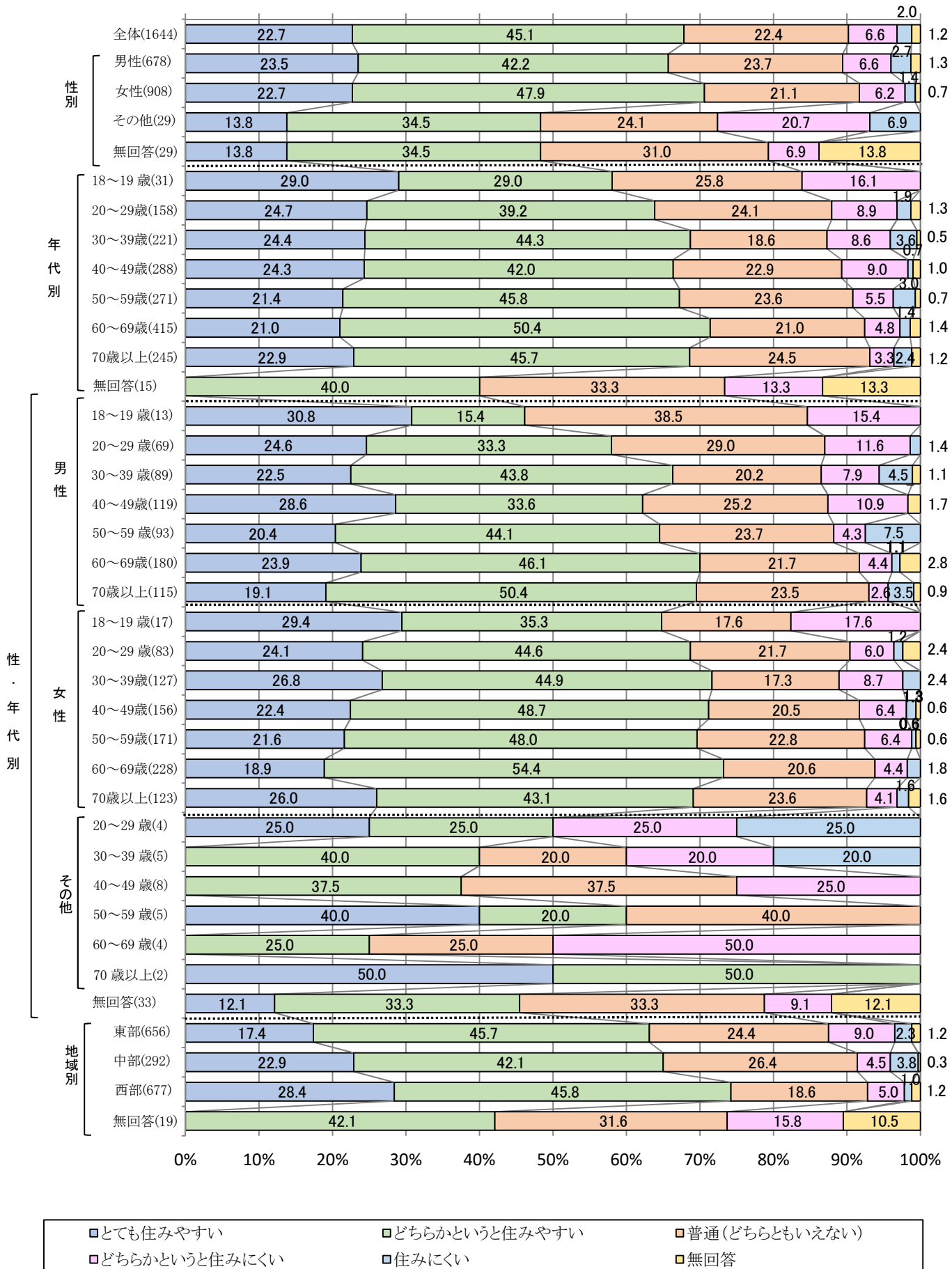


図6 今暮らしている地域の住みやすさ(性別・年代別・地域別)



**問3 鳥取県に暮らしていて、次の項目(設問)についてどう思われますか。
項目ごとにいずれかに○を記入してください。**

～「豊かな自然環境に恵まれている」と思う人が約9割～

鳥取県に暮らしていてよく感じる(そう思う)項目は、上位項目では「豊かな自然環境に恵まれている」が89.2%と最も割合が高く、次いで「地域の治安が良いと感じている」が69.6%、「住んでいる住民(県民)が親切である」が57.5%、「地域での人と人とのつながりがある」が49.0%と続き、自然環境、治安、人とのつながりを鳥取県に暮らす良い面として答えている。

一方、鳥取県に暮らしていて良いと感じない(そう思わない)項目は、上位項目では「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」が53.0%で最も割合が高く、次いで「地域の防災組織が整っている」が14.8%、「ストレスなく日常生活を送ることができている」が13.4%と続いている。

平成28年度-令和3年度を比較してみると、「豊かな自然環境に恵まれている」は、よく感じる(そう思う)との回答が全ての年度で約9割、「住んでいる住民(県民)が親切である」は概ね5割台、「地域の治安が良いと感じている」は全ての年度で6割台となっているが上昇傾向が認められる。また、「地域での人と人とのつながりがある」は5割台で推移していたが、3年度は前年度に比べ5ポイント以上減少し、5割を下回っている。

一方、「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」は全ての年度で1割台に、「地域の防災組織が整っている」「子どもの教育環境が充実している」は全ての年度で2割台となっている。

図7 鳥取県の暮らしについて(n=1,644)

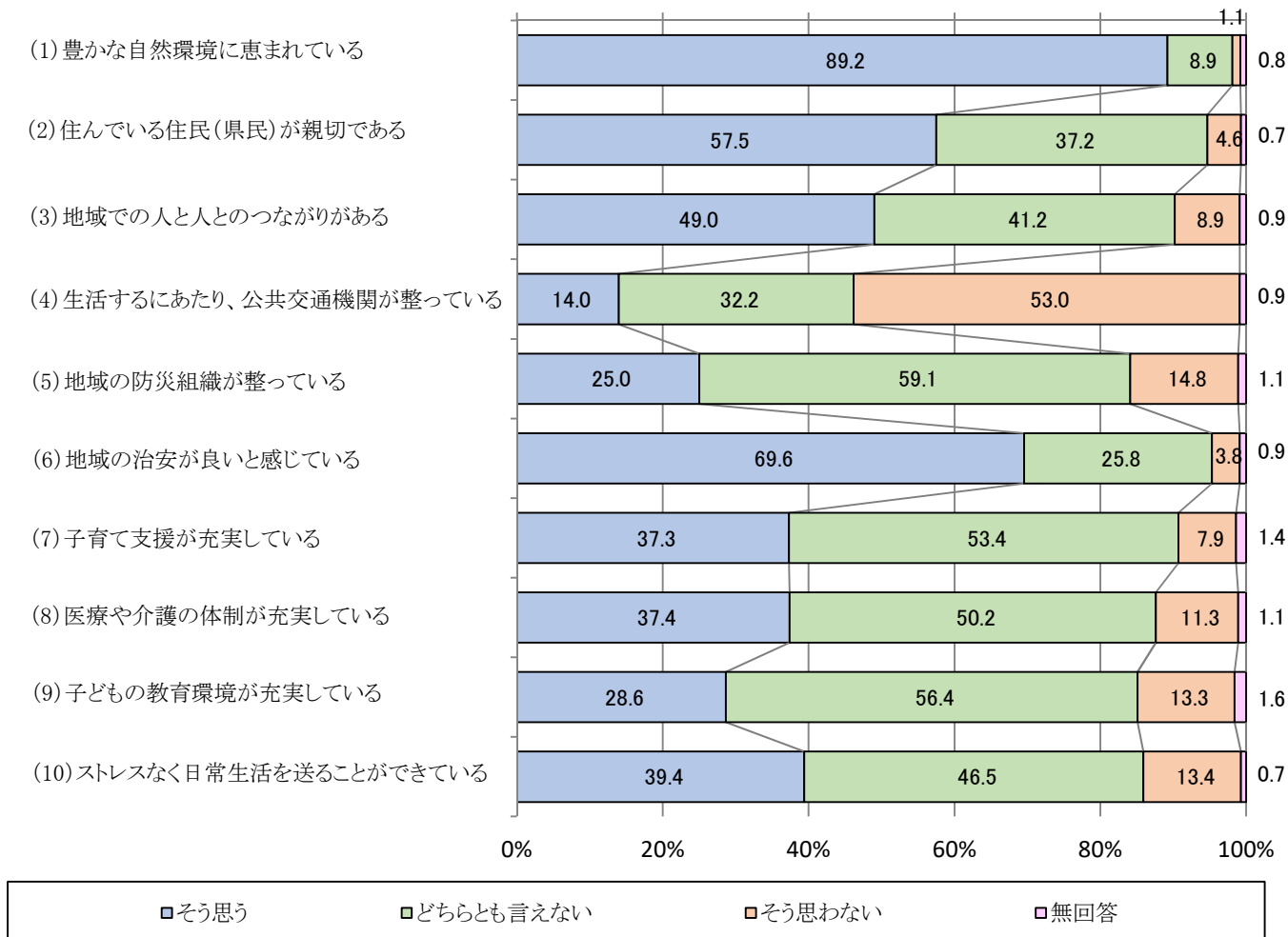
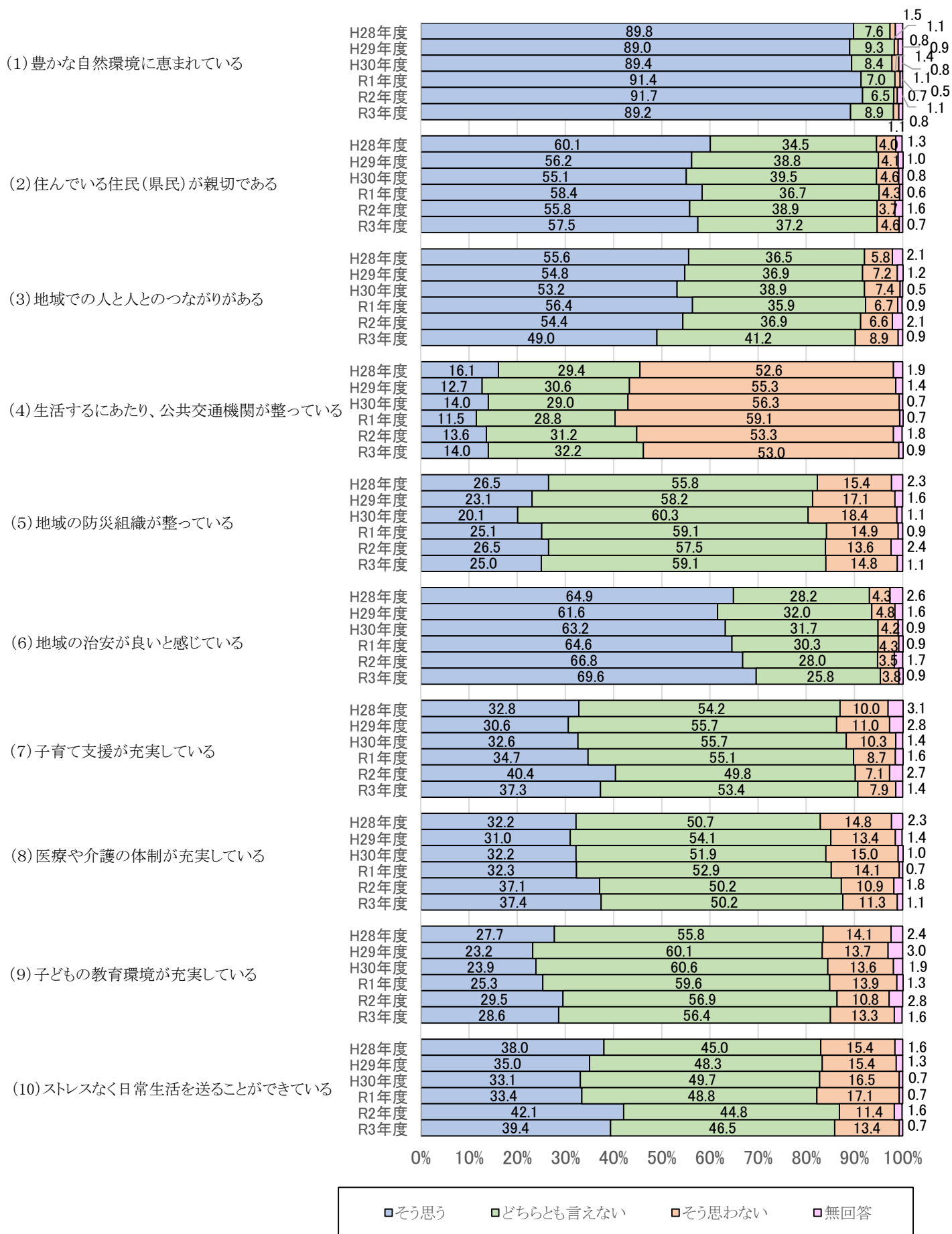


図8 鳥取県の暮らしについて(年次比較)



問4 鳥取県に暮らしていて、あなたは今の程度「幸せ」ですか。

～5「普通」から10「とても幸せ」が約9割～

幸福度について10点満点で質問したところ、5「普通」が27.2%と最も割合が高く、「8」が22.1%、「7」が16.5%、「6」が10.9%と続き、「5普通」以上と回答した割合は89.6%と、約9割となっている。

地域別でみると、幸福度「8」以上は西部が他の地域に比べ高くなっている。

図9 鳥取県に暮らしていて、「幸せ」ですか(年次比較)

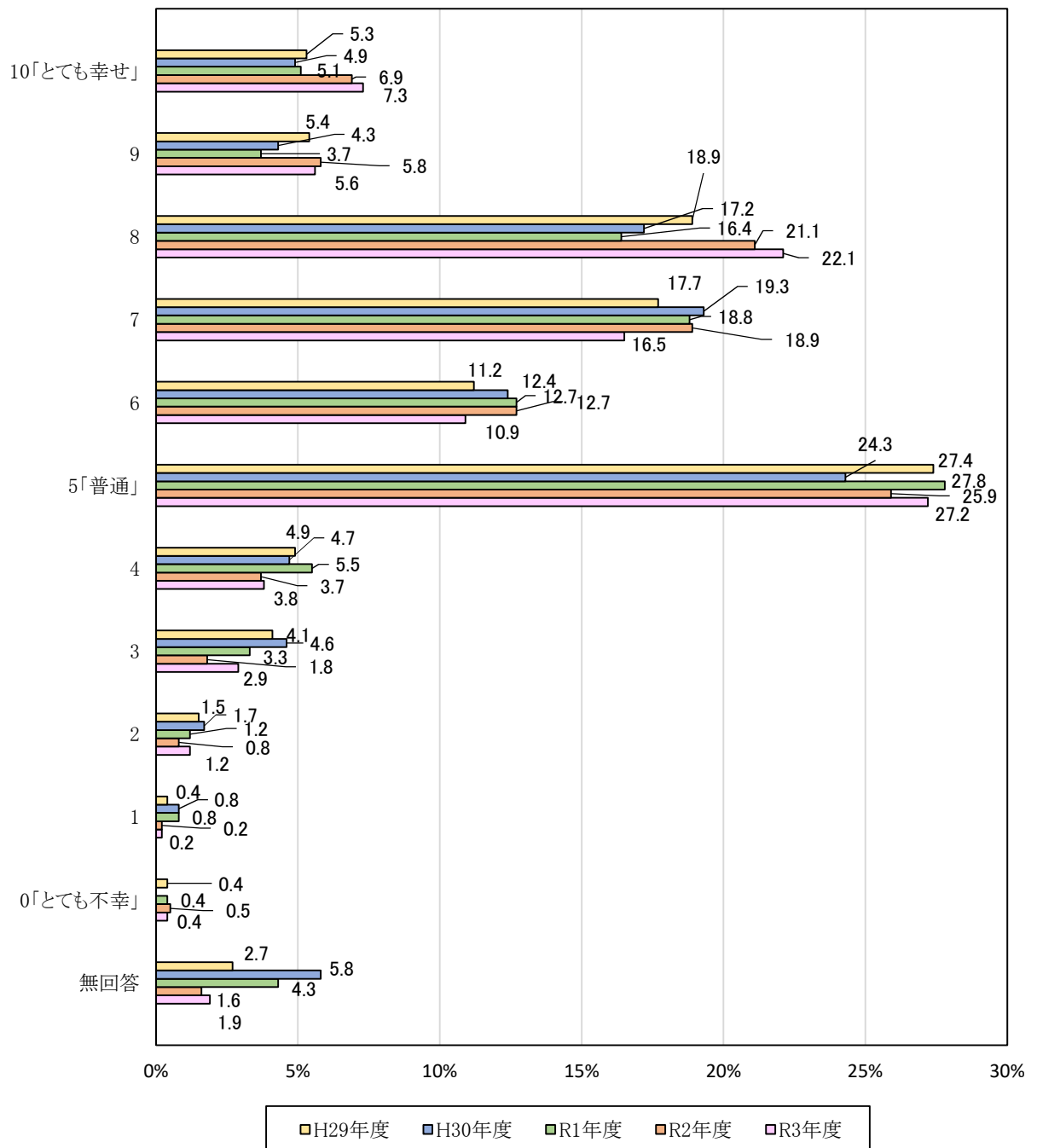
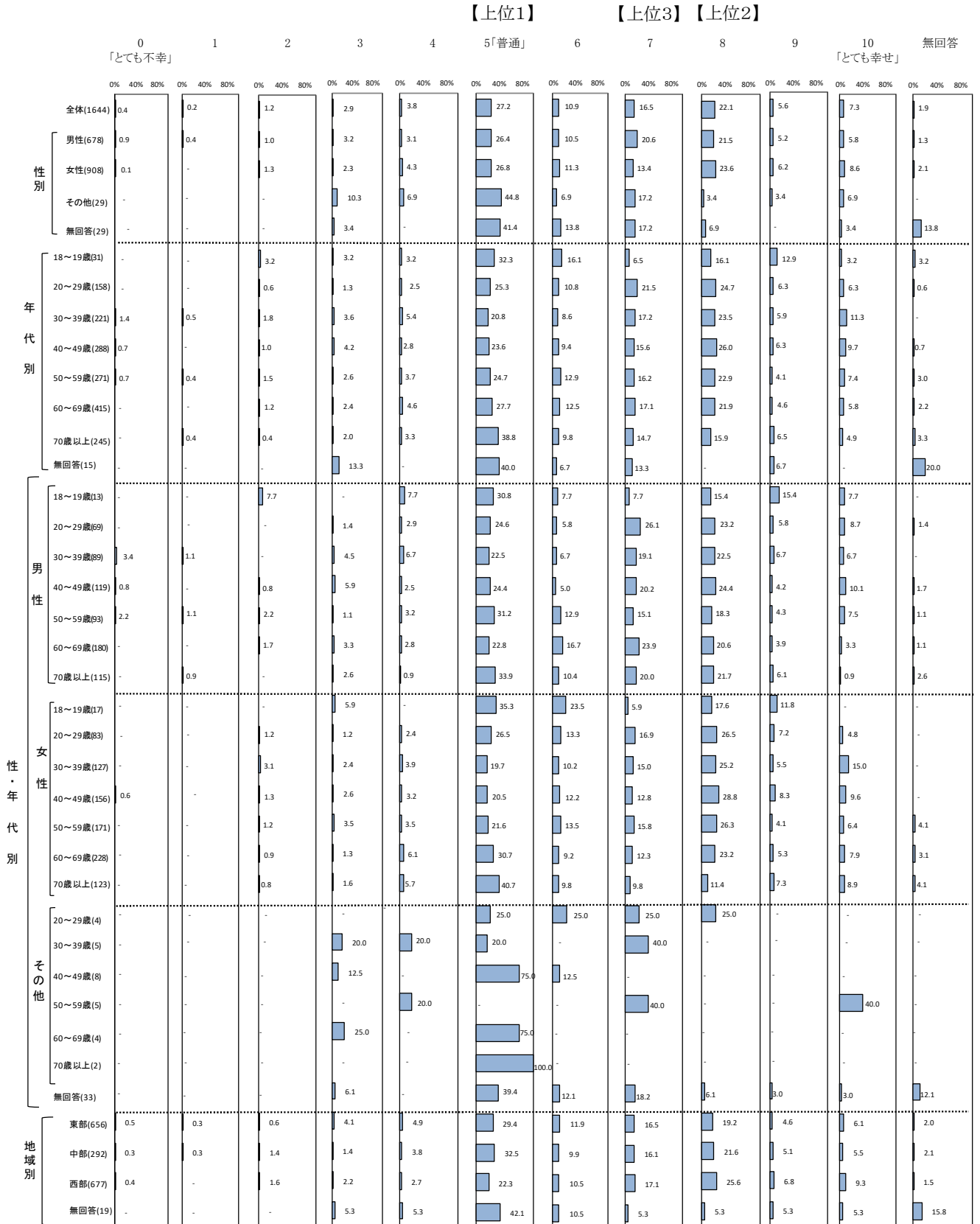


図 10 鳥取県に暮らしていて、「幸せ」ですか(性別・年代別・地域別)



問5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。(〇はいくつでも)

～「自身の健康の状況」「家計の状況」を重視～

幸福度を判断するときに重視することは、「自身の健康の状況」が69.3%と最も割合が高く、次いで「家計の状況」が66.9%、「家族関係」が58.9%となっている。

平成29年度-令和3年度を比較してみると、上位3項目は常に「自身の健康の状況」、「家計の状況」、「家族関係」となっている。また、「自身の健康の状況」、「家族関係」、「精神的なゆとり」については増加傾向となっている。

年代別でみると、「自身の健康の状況」は50歳代以上、「家計の状況」は30～50歳代で高くなっている。また、「自然環境(住みやすさ)」は年代が高くなるに連れ割合が高くなっている。

性・年代別でみると、「家計の状況」、「家族関係」は女性の30～60歳代、「友人関係」、「職場(学校)の人間関係」は女性の20～50歳代で高くなっている。また、「自然環境(住みやすさ)」は男性の40歳以上、「趣味などのいきがい」は男性の20～50歳代で高くなっている。

図11 「幸福度」の判断で重視すること(年次比較)

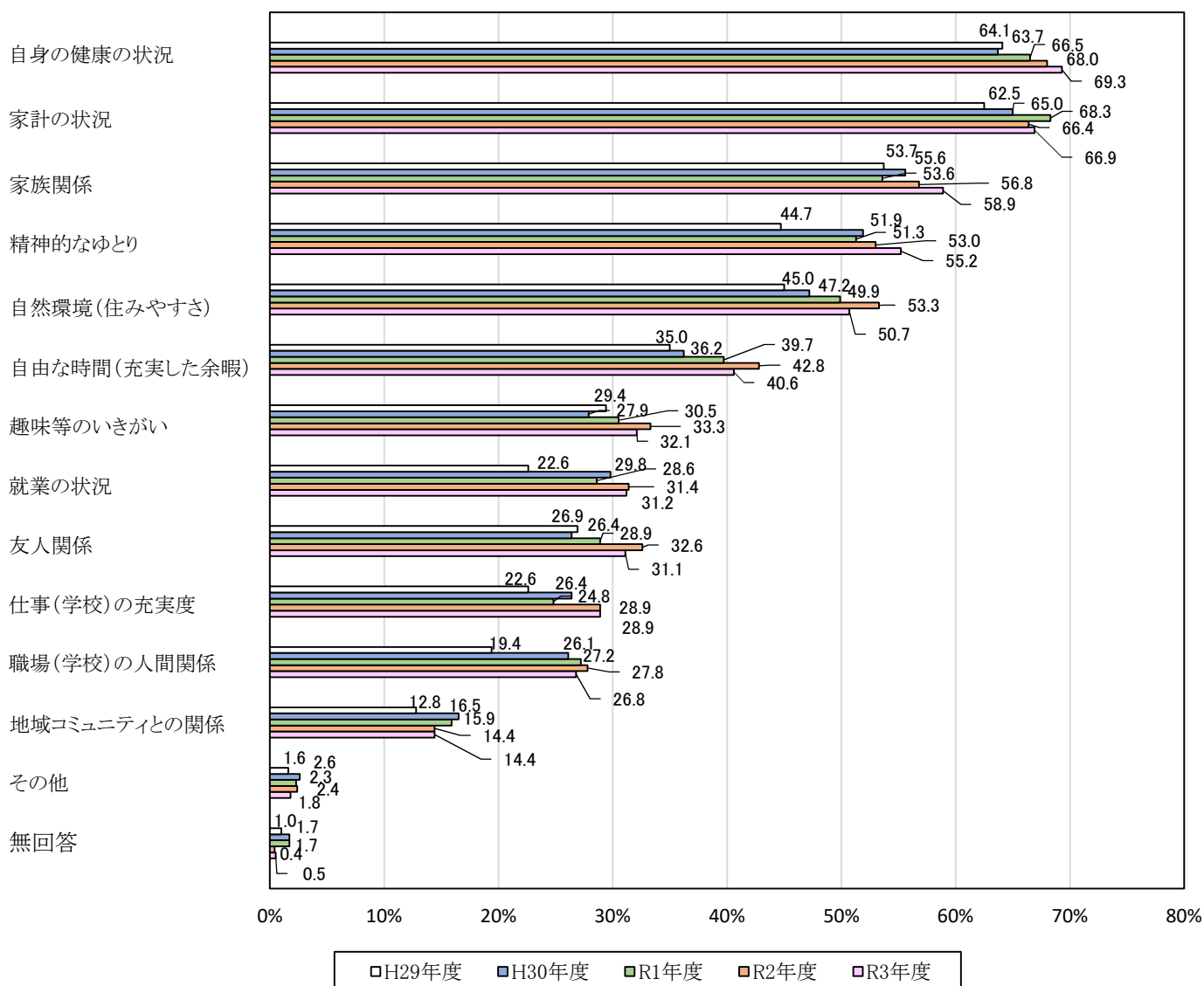
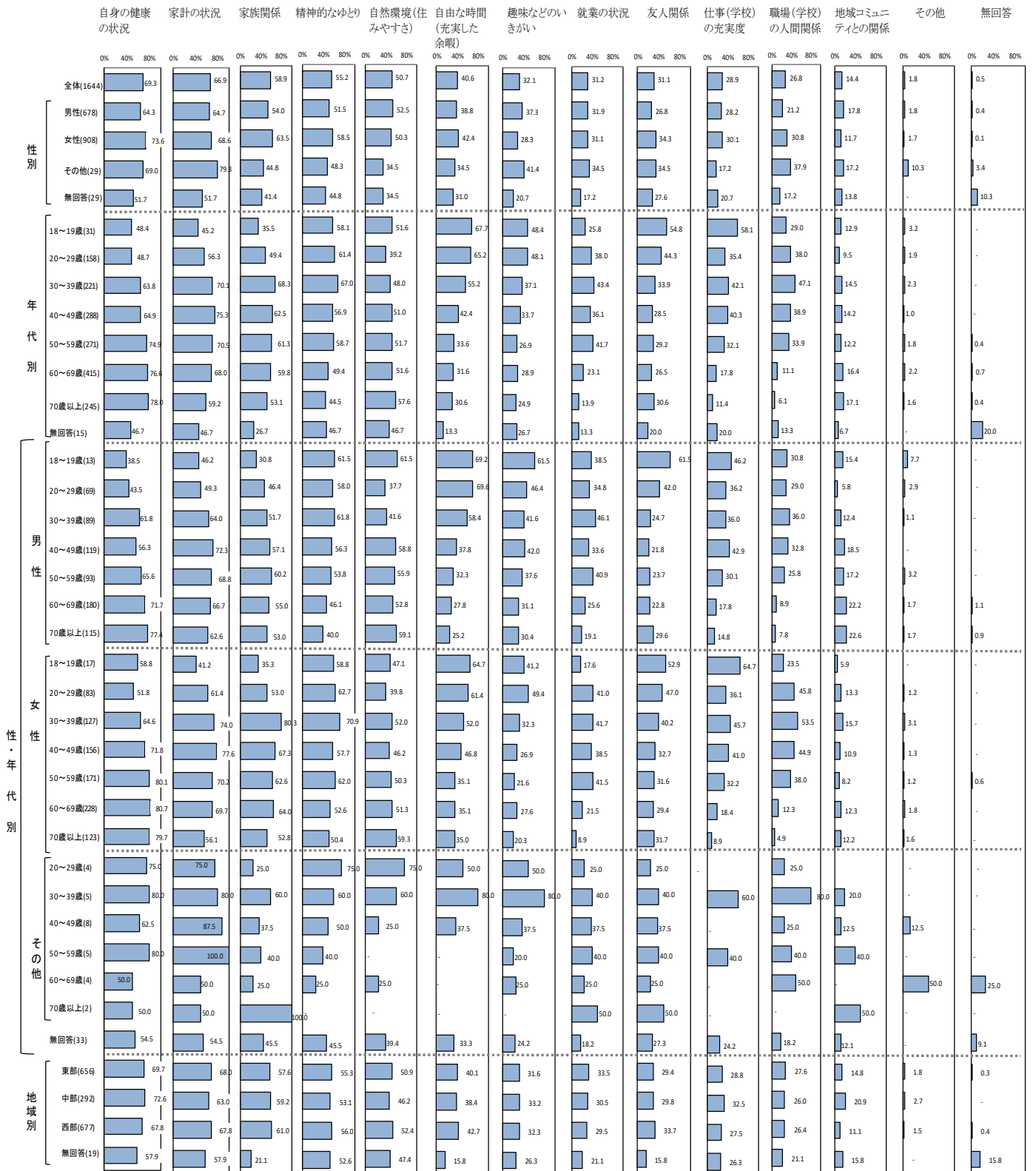


図 12 「幸福度」の判断で重視すること(性別・年代別・地域別)

【上位1】【上位2】【上位3】



II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

問6 鳥取県の施策等について、あなたの満足度をお聞きしますので、それぞれ5段階で評価をお願いします。(1~5のいずれかの数字に○をしてください。)

※「5」は満足、「1」は不満

問 6-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度

～「農業の活力増進に関する取組」の満足度がトップ～

「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「農業の活力増進に関する取組」が34.5%と最も割合が高く、次いで「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が32.9%、「スポーツによる交流促進を進める取組」、「海洋・森林等の環境保全と利活用の推進」が20.0%と続いている。

平成28年度-令和3年度を比較してみると、満足度は全ての年度で「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が3割台で推移している。「スポーツによる交流促進を進める取組」、「農業の活力増進に関する取組」、「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」は、2年度にそれぞれ大きく増加した数字を今年度も維持している。また、全ての項目において、「不満・やや不満」と回答した割合は減少傾向にある。

図13 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度(n=1,644)

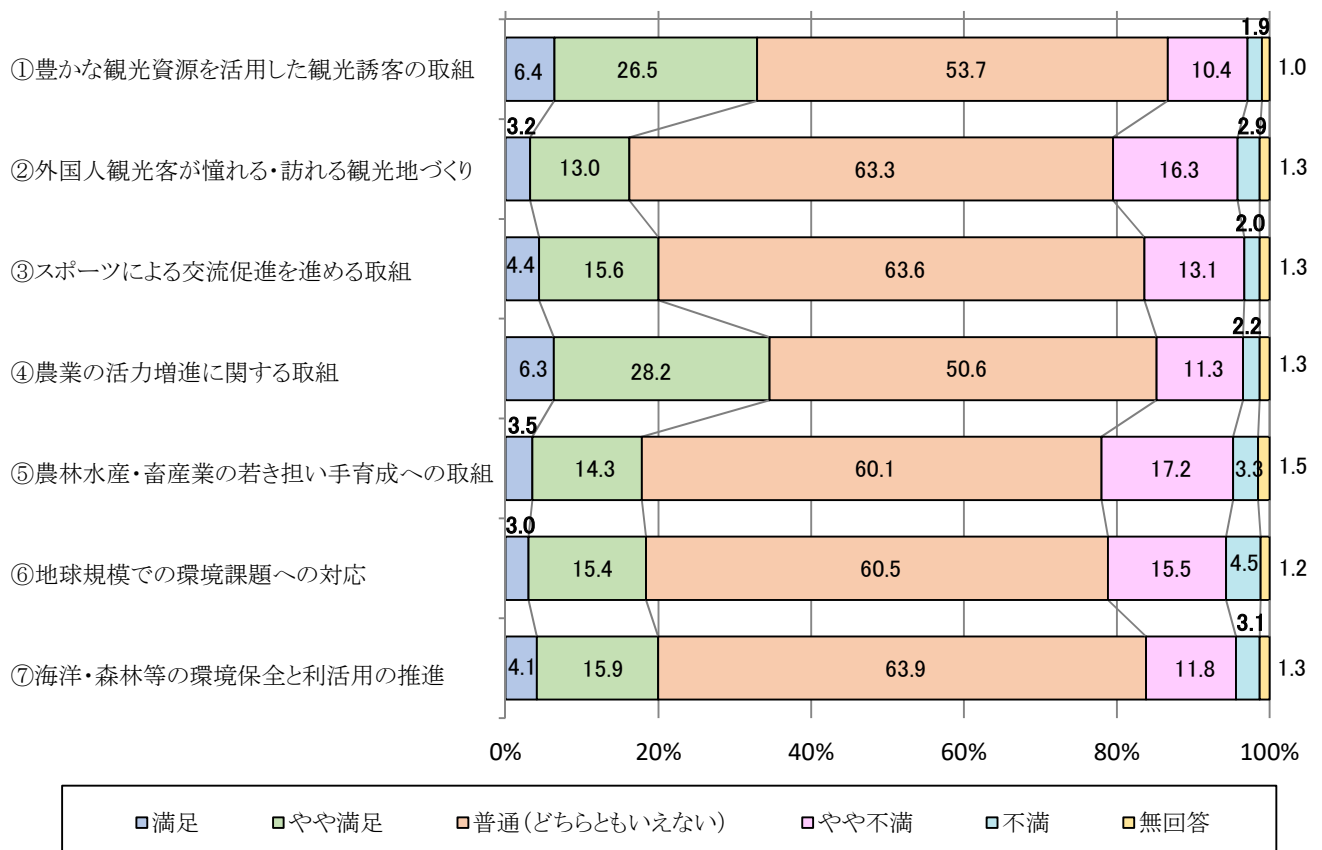
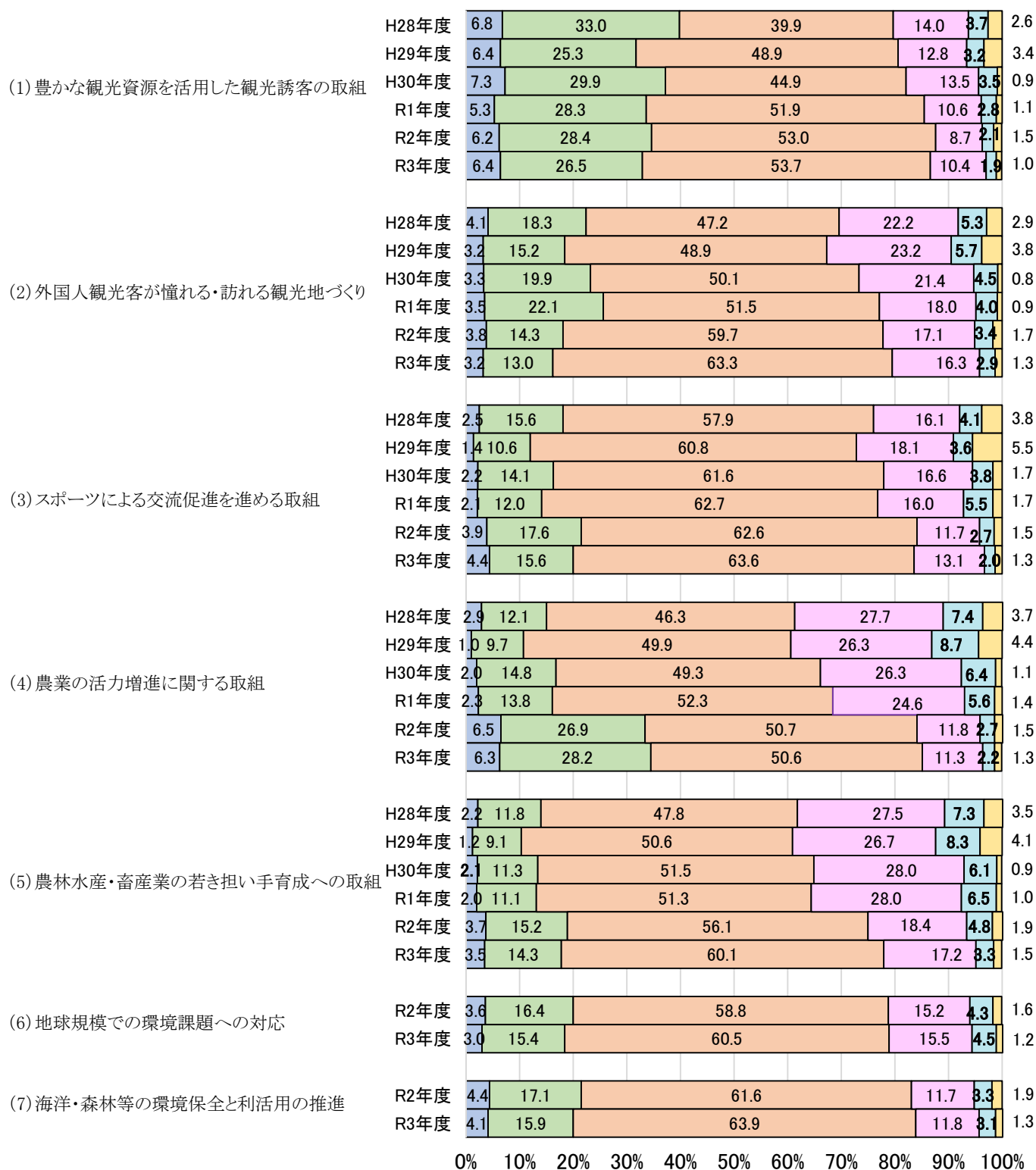


図 14 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」の満足度(年次比較)



■満足
 ■やや満足
 ■普通(どちらともいえない)
 ■やや不満
 ■不満
 ■無回答

●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

(4) 農業の活力増進に関する取組

【+1.1】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

(1) 豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組

【+1.5】

(3) スポーツによる交流促進を進める取組

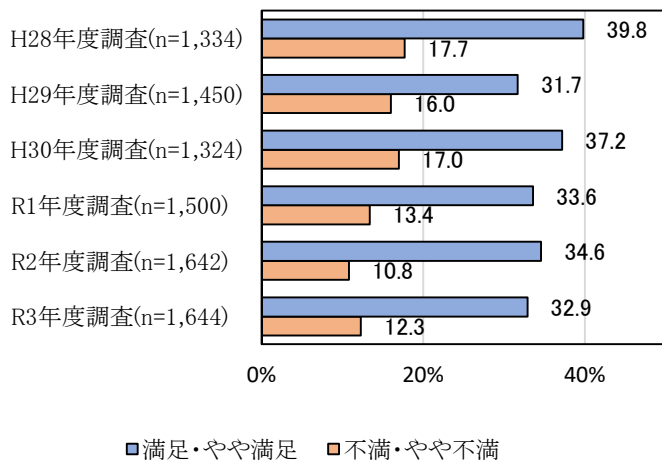
【+0.7】

(6) 地球規模での環境課題への対応

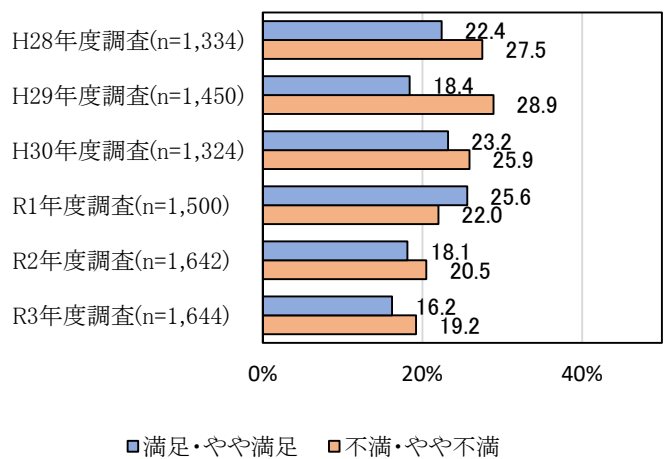
【+0.5】

●満足度・不満足度の比較(複数年度のデータがある項目を掲載)

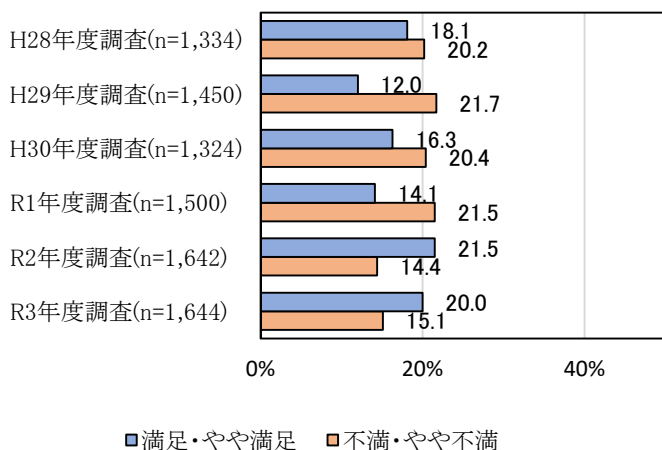
(1) 豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組



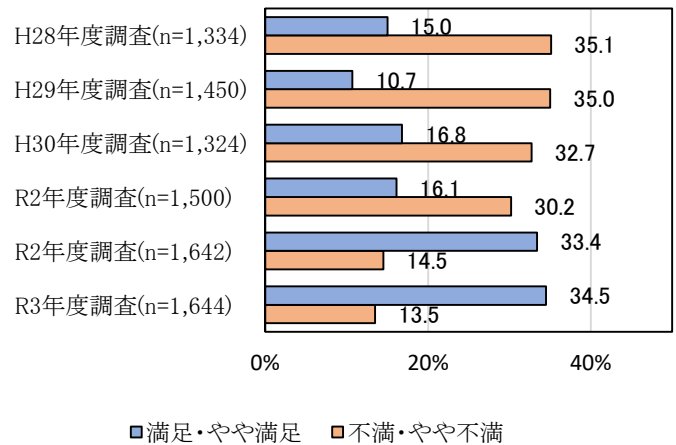
(2) 外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり



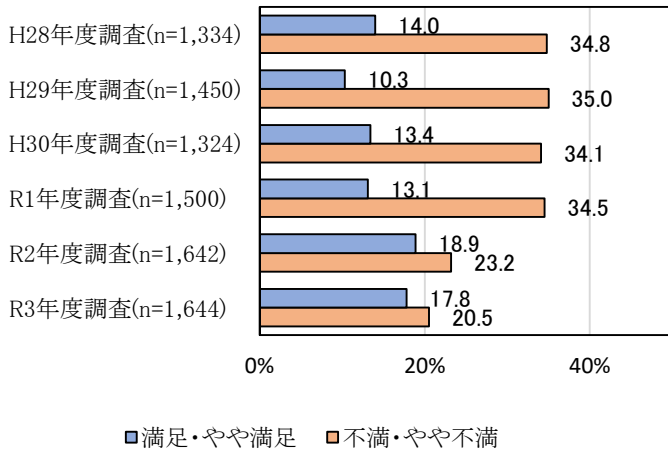
(3) スポーツによる交流促進を進める取組



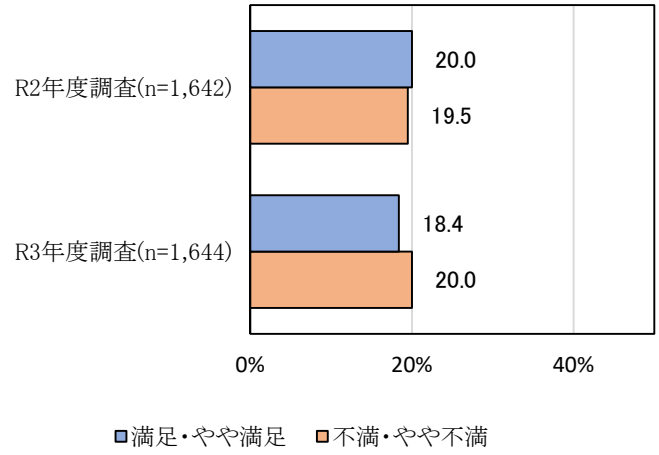
(4) 農業の活力増進に関する取組



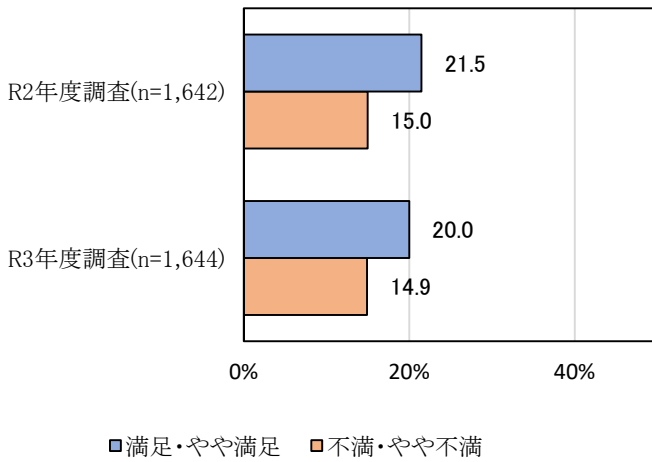
(5) 農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組



(6) 地球規模での環境課題への対応



(7) 海洋・森林の環境保全と利活用の推進



問 6-1-2 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」の施策等のうち、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～農林水産・畜産業の振興や観光資源を活用した誘客の取組が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」が56.6%と最も高く、次いで「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が53.5%、「農業の活力増進に関する取組」が48.1%と続いている。

平成28年度-令和3年度を比較してみると、「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」は毎年増加しており、「スポーツによる交流促進を進める取組」は29年度以降増加している。また、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」は2年度に大きく増加した数字を維持している。

年代別でみると、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」は20～30歳代が高く、「農業の活力増進に関する取組」は40歳代以上で高くなっている。

図15 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度(年次比較)

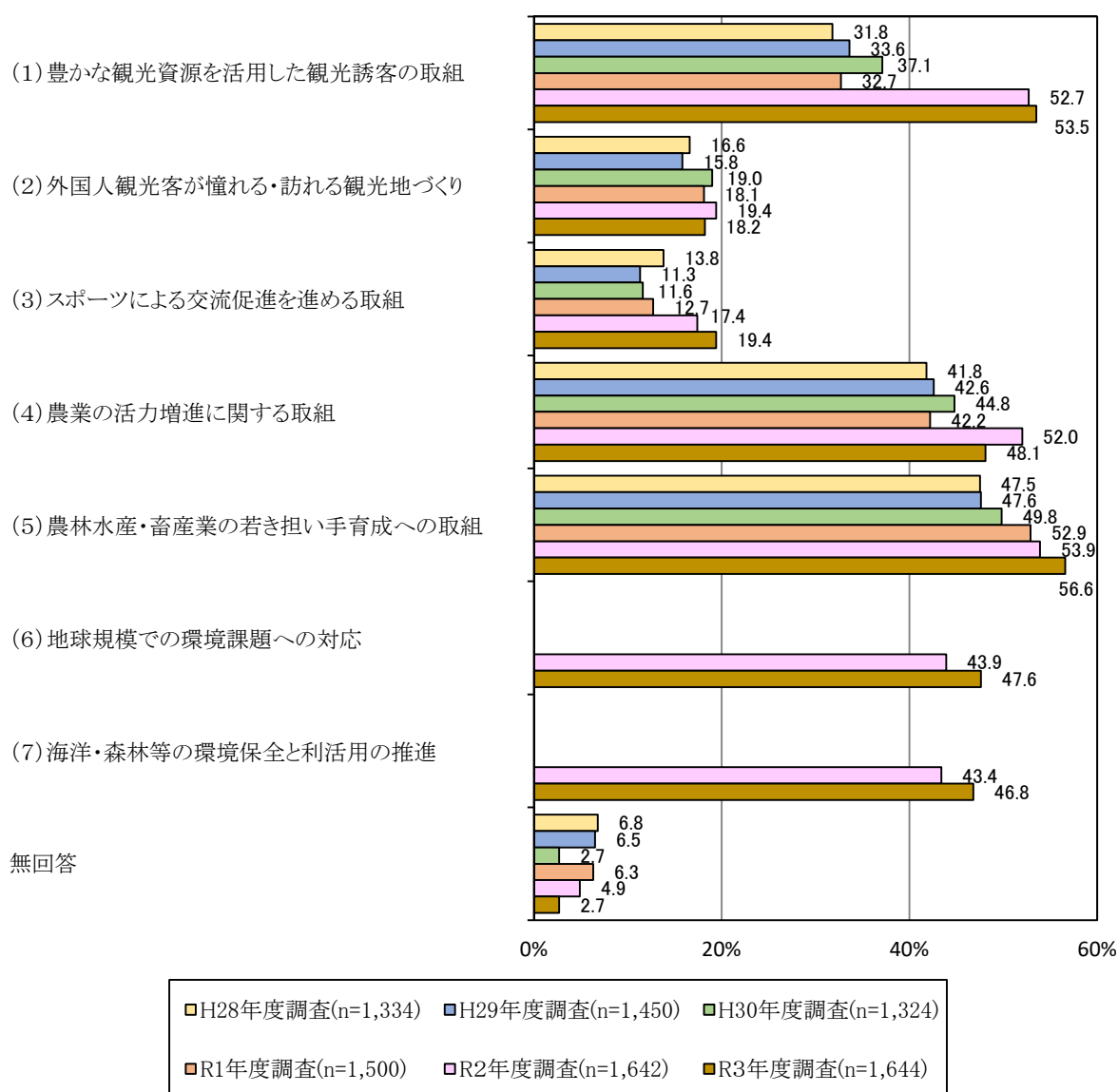
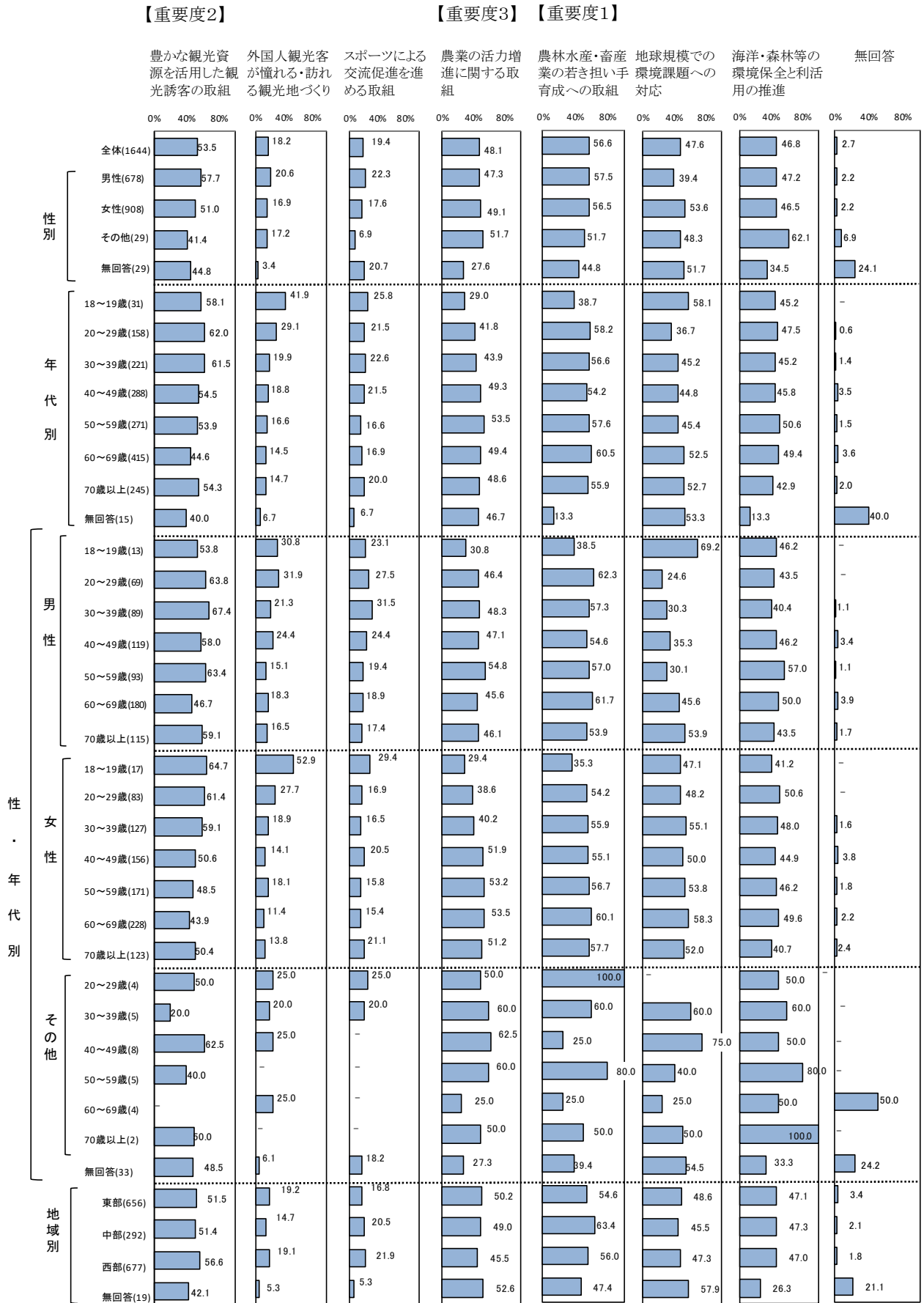


図16 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

問 6-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度

～「感染症に強い地域づくり」の満足度が高い～

「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「感染症に強い地域づくり」が 35.6%と最も割合が高く、次いで「健康寿命の延伸」が 25.9%、「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」が 24.7%となっている。

平成 28 年度-令和3年度を比較してみると、「未来を拓く人づくりの取組」、「鳥取ならではの防災づくり」の満足度は前年度と比較して2ポイント以上増加している。また、「未来を拓く人づくりの取組」の不満(不満・やや不満足)は減少傾向となっており、「絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組」の不満足は2年度に大幅に減少した数字を維持している。

図17 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度 (n=1,644)

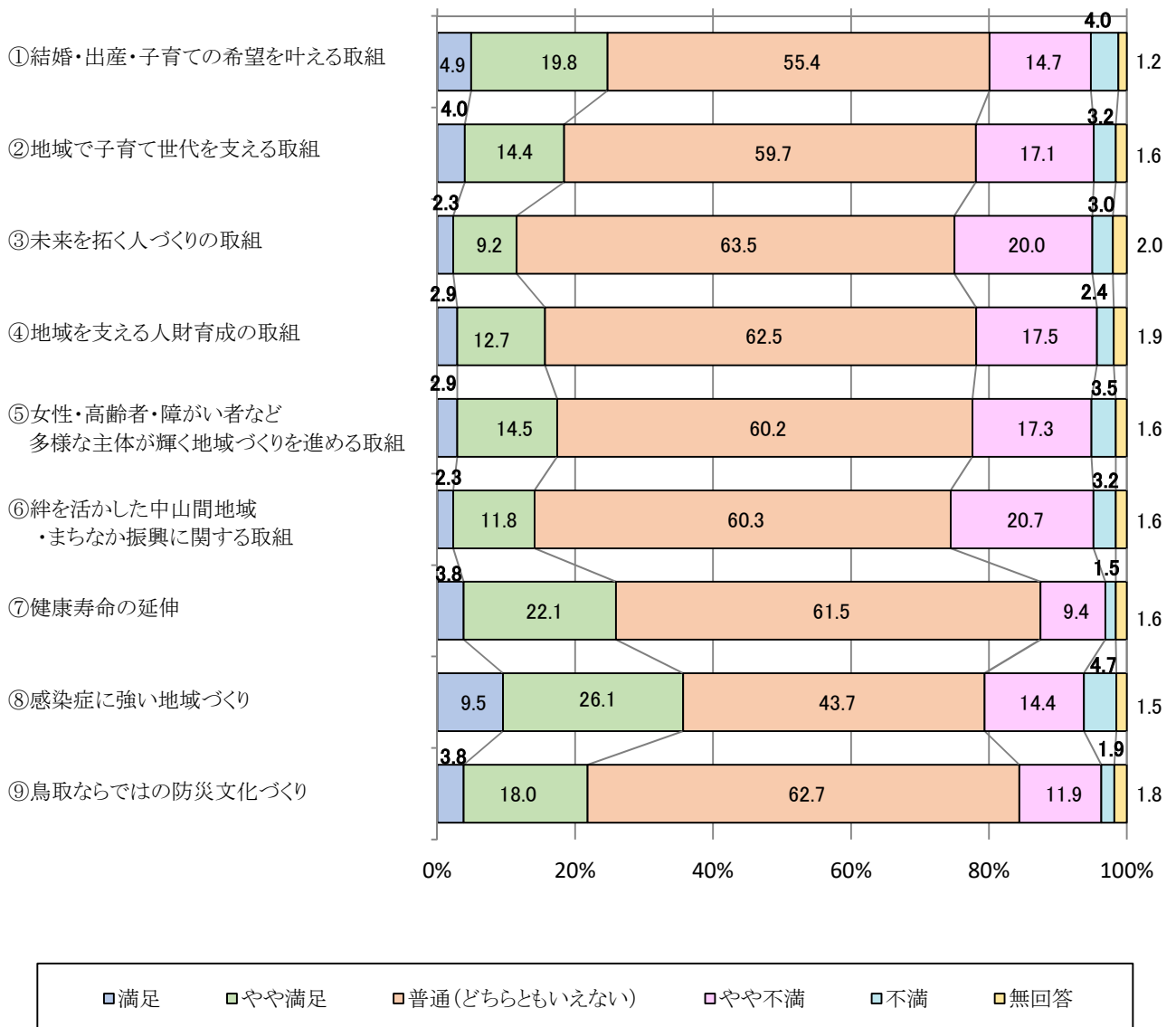
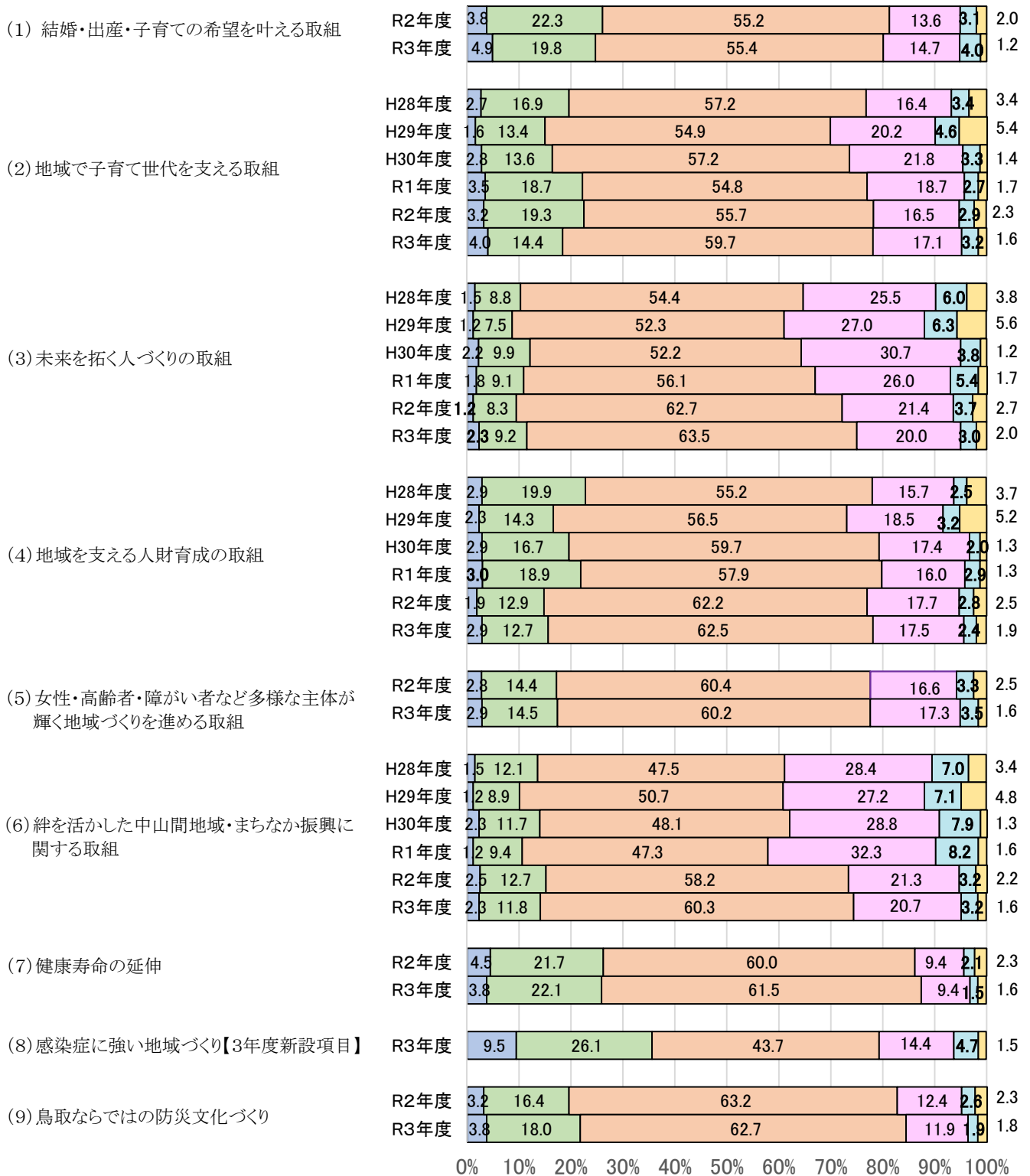


図 18 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度(年次比較)



■満足 ■やや満足 ■普通(どちらともいえない) ■やや不満 ■不満 ■無回答

●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

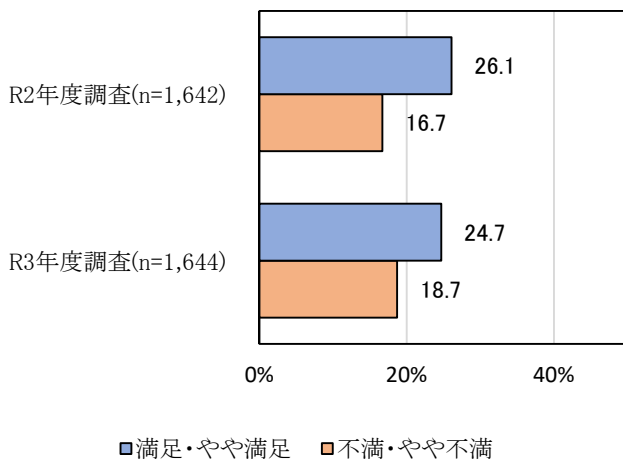
- (9) 鳥取ならではの防災文化づくり 【+2.2】
- (3) 未来を拓く人づくりの取組 【+2.0】
- (4) 地域を支える人財育成の取組 【+0.8】
- (5) 女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくりを進める取組 【+0.2】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

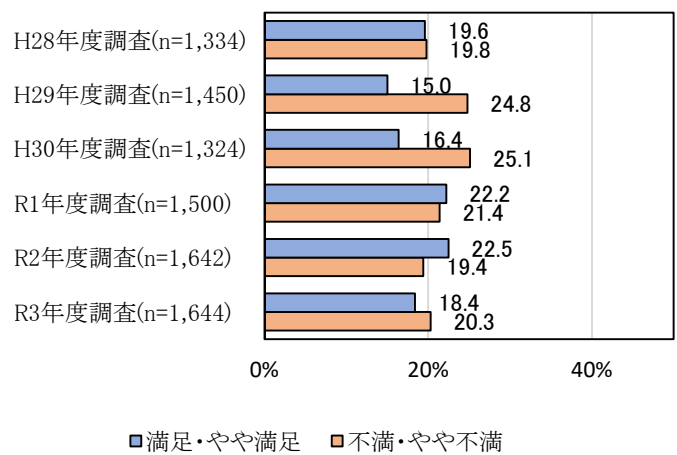
- (1) 結婚・出産・子育ての希望を叶える取組 【+2.0】
- (2) 地域で子育て世代を支える取組 【+0.9】
- (5) 女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくりを進める取組 【+0.9】

●満足度・不満足度の比較

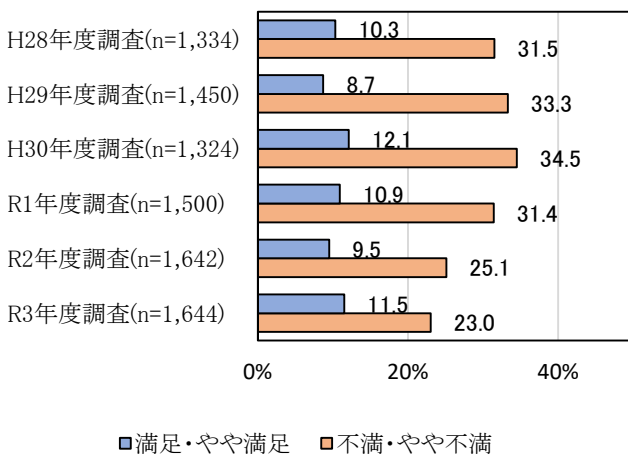
(1) 結婚・出産・子育ての希望を叶える取組



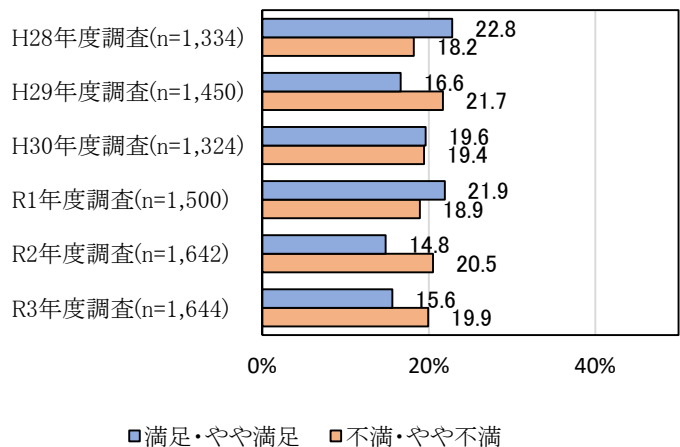
(2) 地域で子育て世代を支える取組



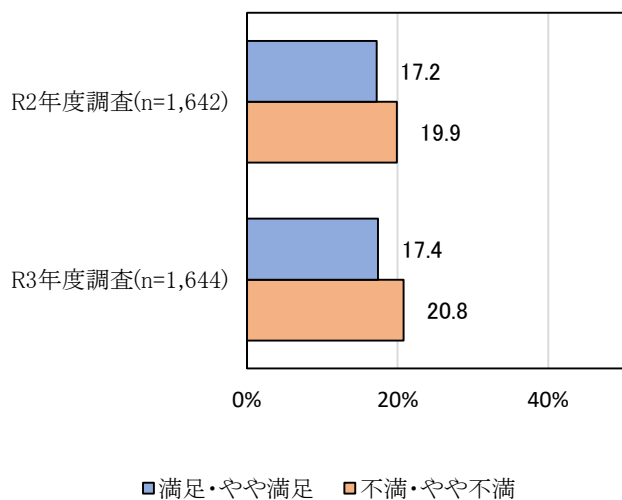
(3) 未来を拓く人づくりの取組



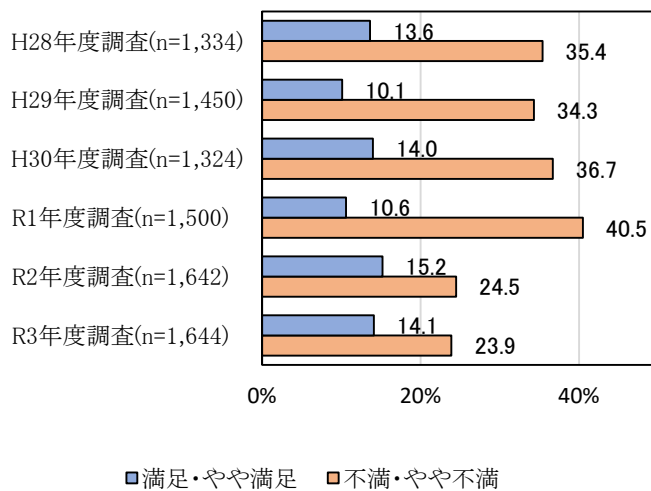
(4) 地域を支える人財育成の取組



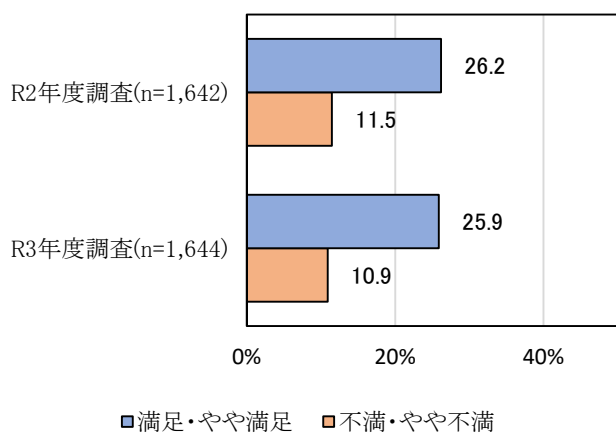
(5) 女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくりを進める取組



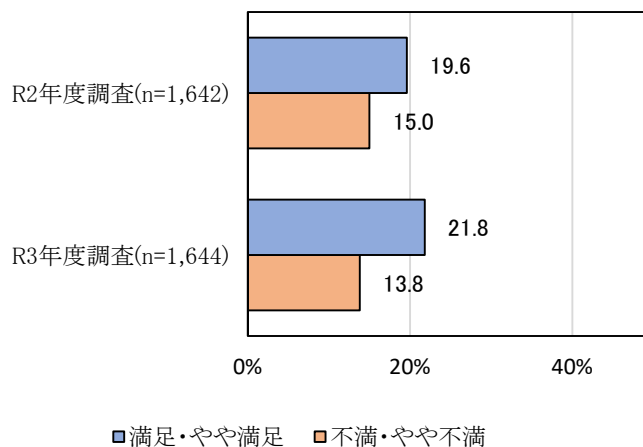
(6) 絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組



(7) 健康寿命の延伸



(9) 鳥取ならではの防災文化づくり



問 6-2-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」の施策のうち、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」「感染症に強い地域づくり」「地域で子育て世代を支える取組」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」が44.6%と最も割合が高く、次いで、「感染症に強い地域づくり」が44.4%、「地域で子育て世代を支える取組」が43.7%となっている。

性・年代別でみると、「地域を支える人財育成の取組」は男性の20歳代、40～60歳代で高く、「女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくりを進める取組」は女性の20歳代及び40歳代以上、「感染症に強い地域づくり」はほぼ全ての年代で男性より女性の割合が高くなっている。

図19 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度(年次比較)

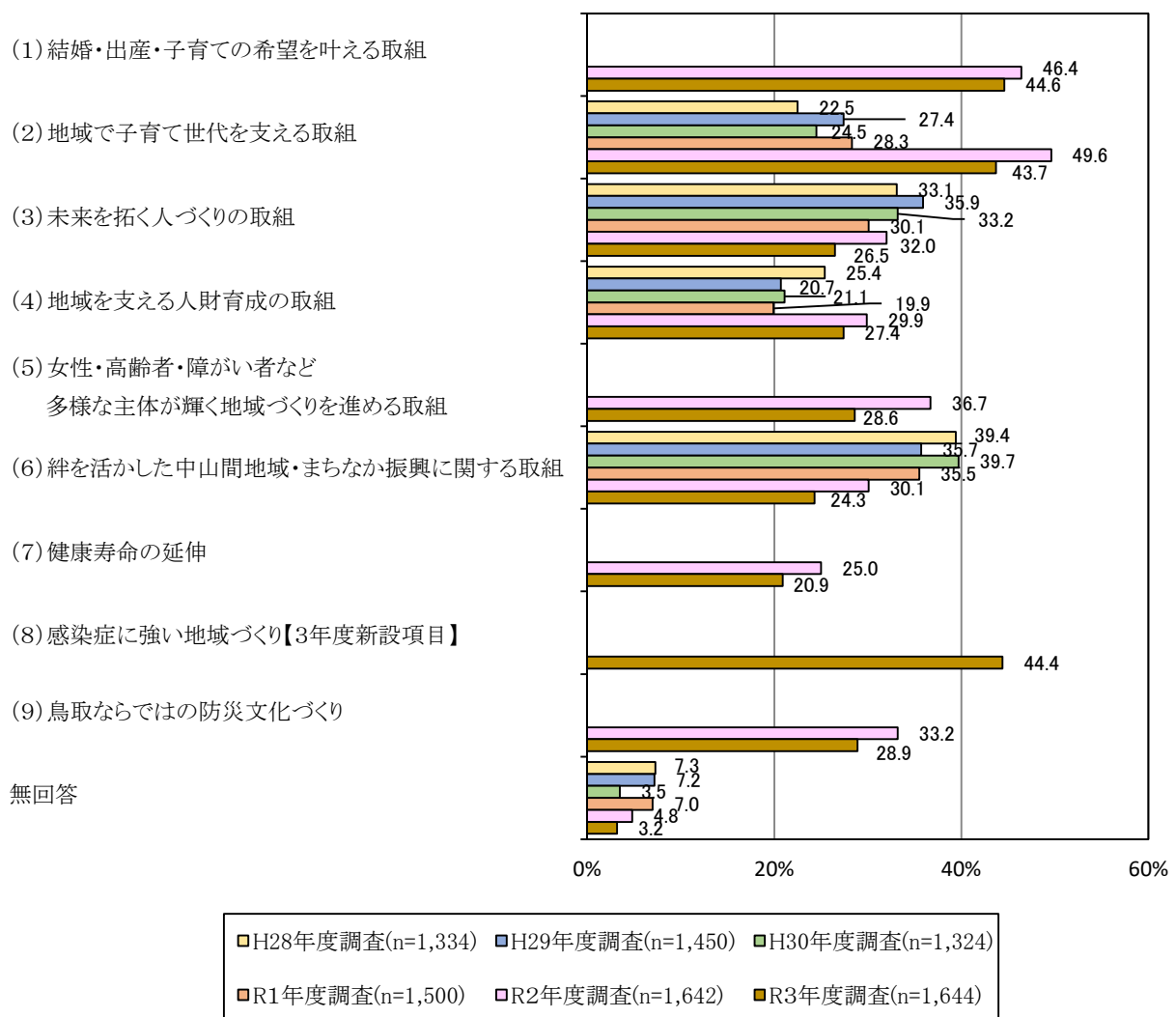
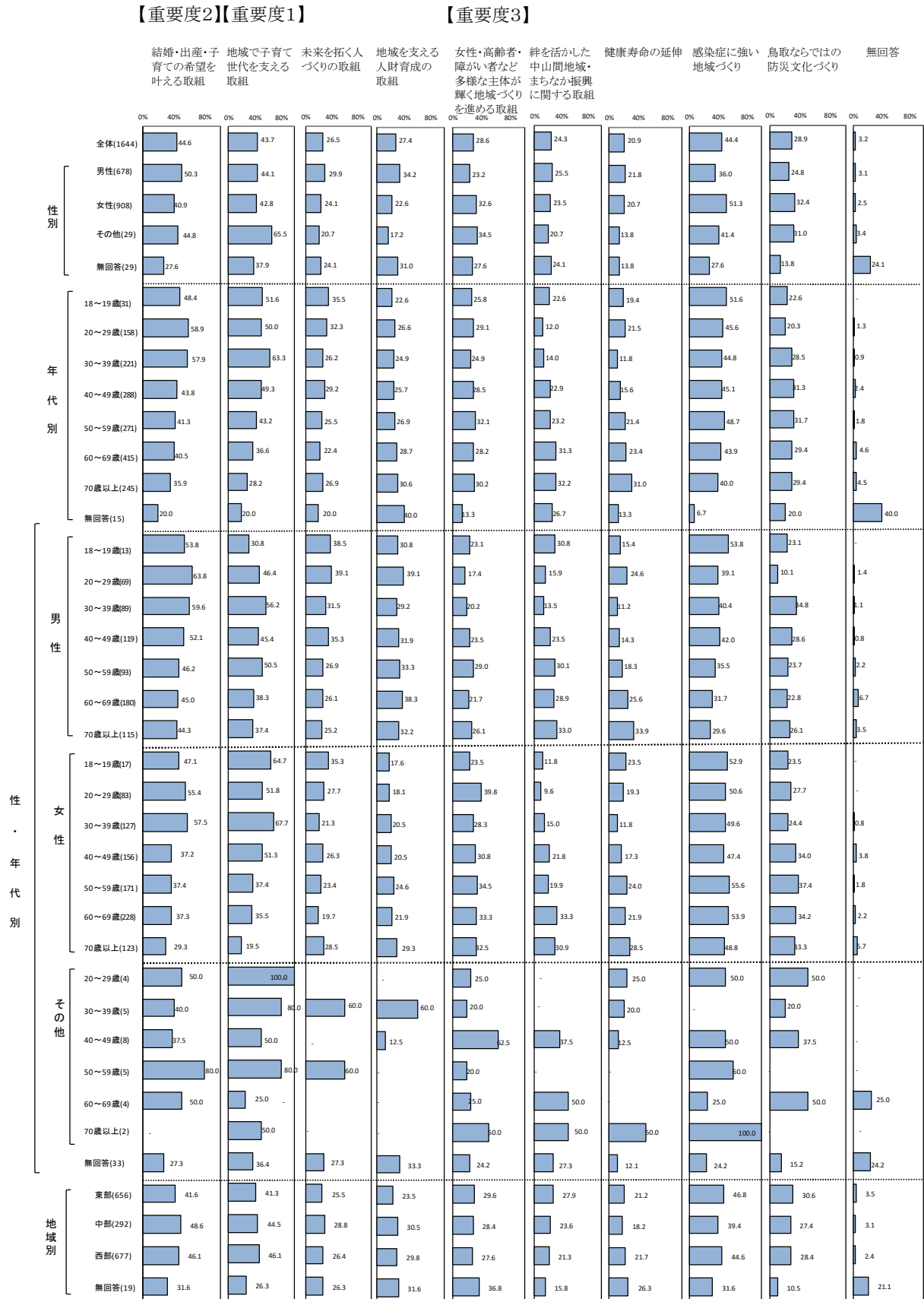


図 20 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

問 6-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度

～移住定住の取組、防災基盤構築、アート・文化の取組が上位～

「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」が21.2%と最も割合が高く、次いで「強靱な防災基盤の構築に向けた取組」が21.0%、「アート・文化による地域づくりへの取組」が20.9%となっている。

平成28年度-令和3年度を比較してみると、「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」、「アート・文化による地域づくりへの取組」の満足度について、3年度は2年度から5ポイント以上減少しているものの、高い数字を維持している。

また、「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」、「関係人口の拡大を進める取組」、「次世代産業の成長による県経済の持続的発展と商圏拡大をめざす取組」、「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」、「アート・文化による地域づくりへの取組」、「強靱な防災基盤の構築に向けた取組」の不満(不満・やや不満の計)は、僅かながら減少傾向となっている。

図21 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度 (n=1,644)

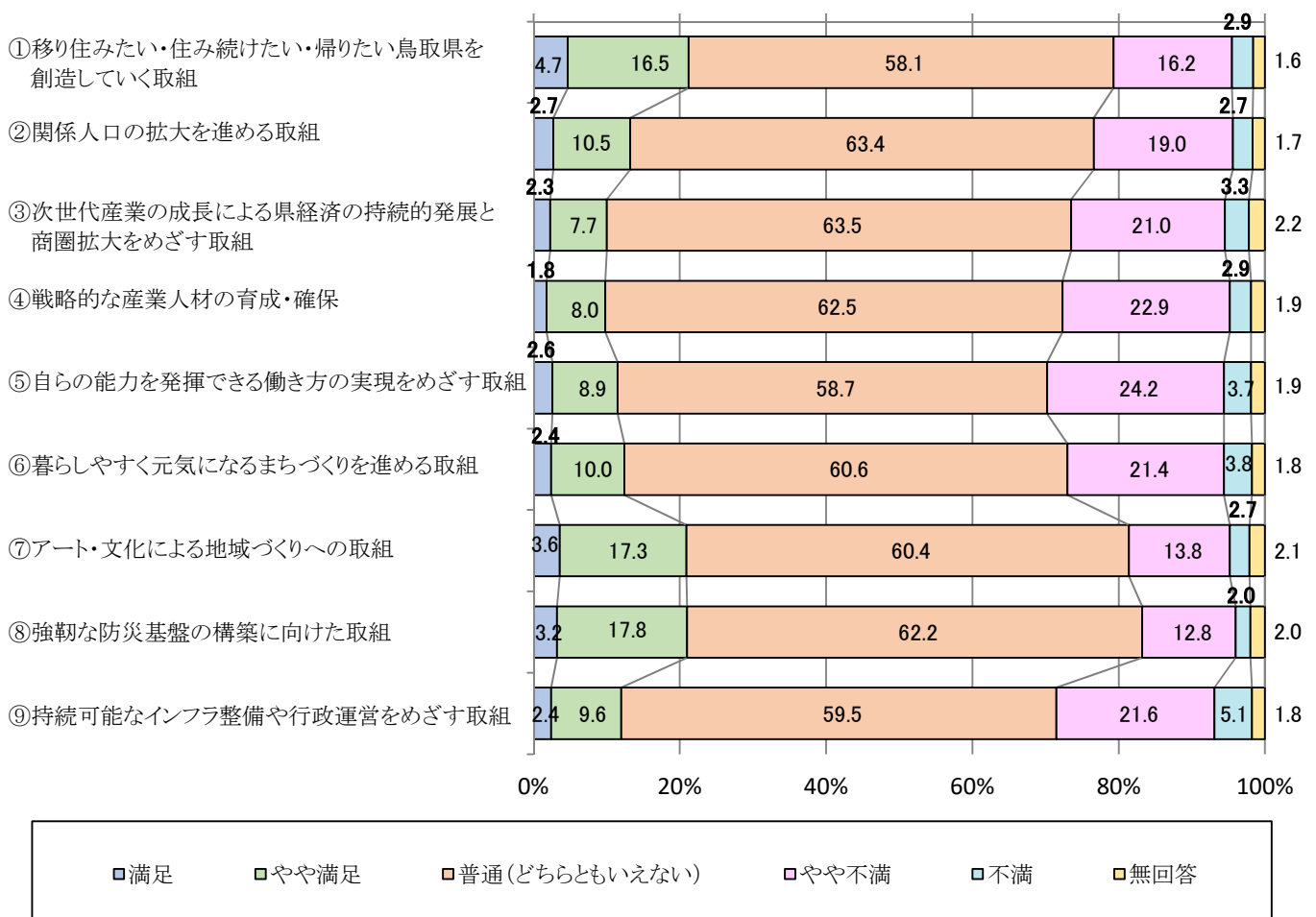
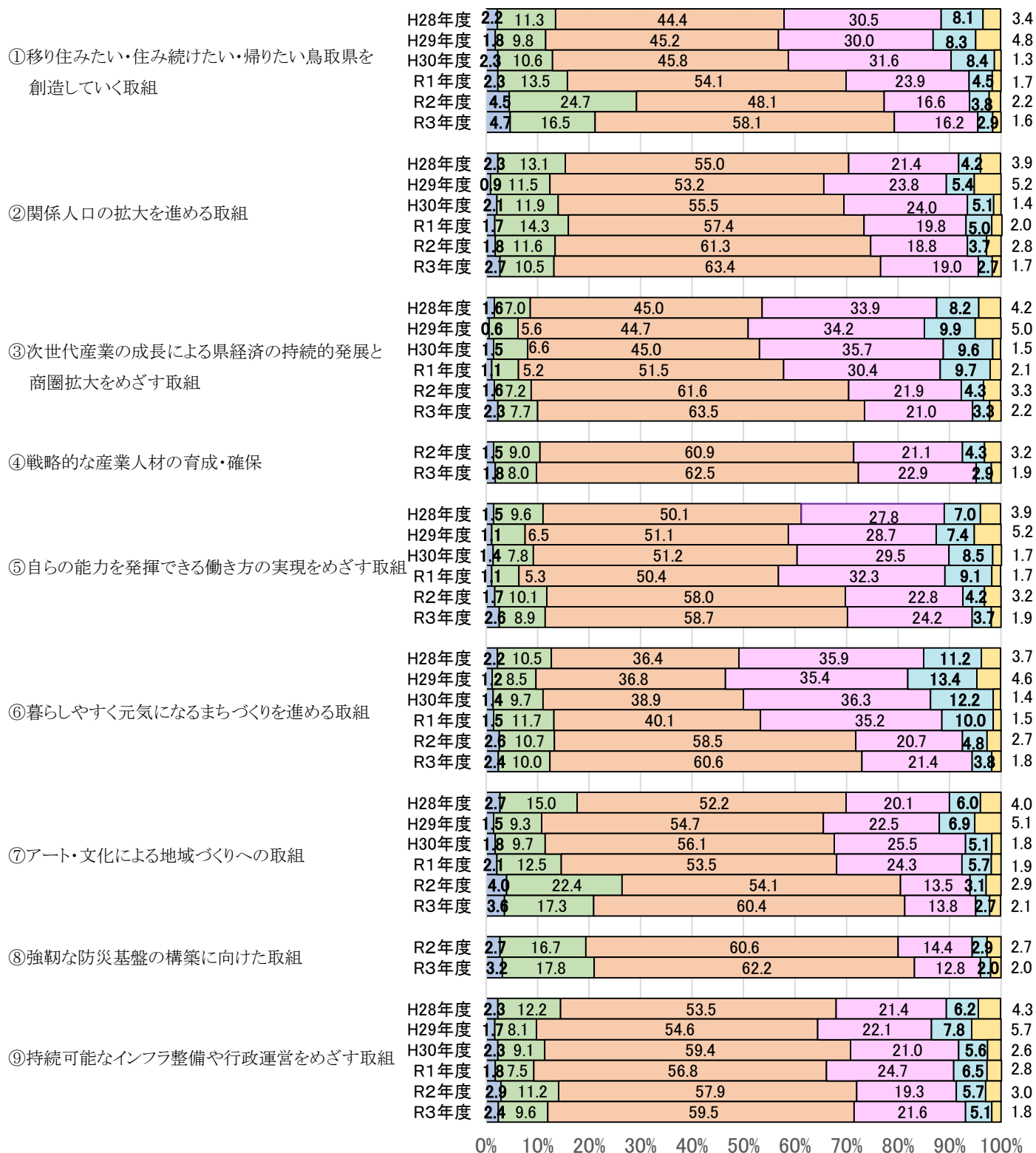


図 22 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度(年次比較)



満足
 やや満足
 普通(どちらともいえない)
 やや不満
 不満
 無回答

●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

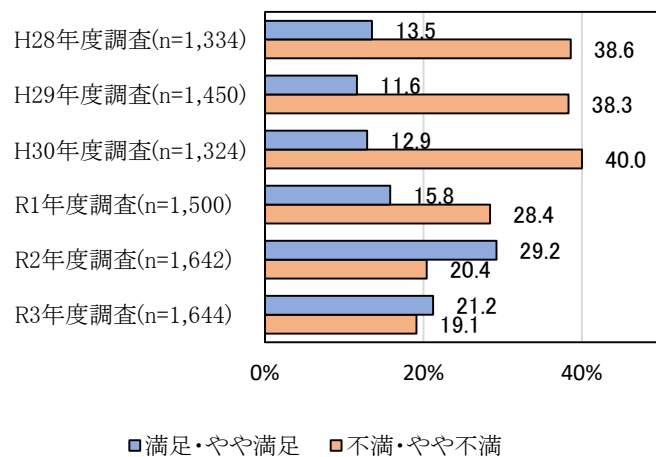
- (8) 強靱な防災基盤の構築に向けた取組 【+1.6】
- (3) 次世代産業の成長による県経済の持続的発展と商圏拡大をめざす取組 【+1.2】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

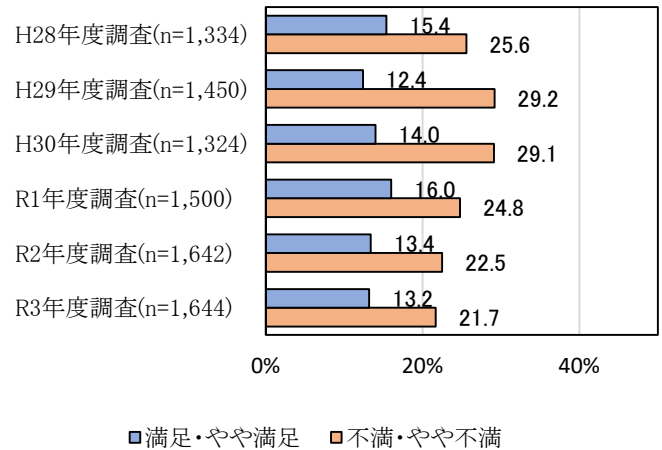
- (9) 持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組 【+1.7】
- (5) 自らの能力を發揮できる働き方の実現をめざす取組 【+0.9】
- (4) 戦略的な産業人材の育成・確保 【+0.4】

●満足度・不満足度の比較

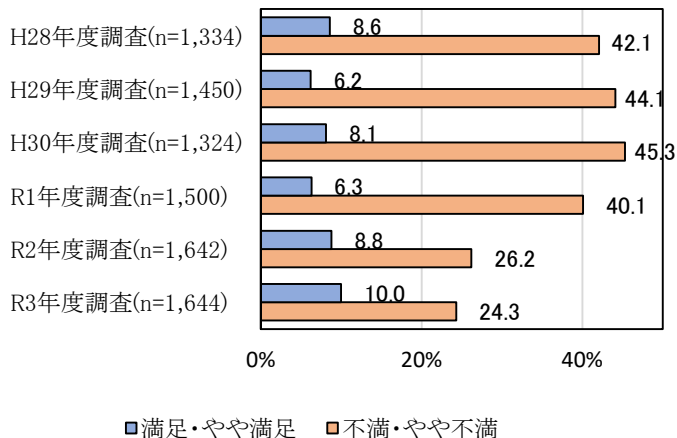
(1) 移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組



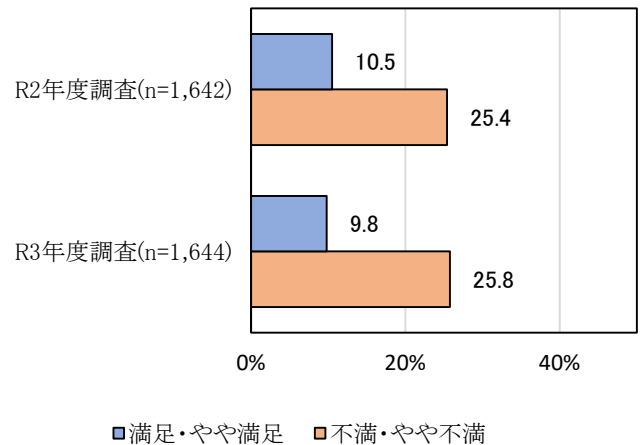
(2) 関係人口の拡大を進める取組



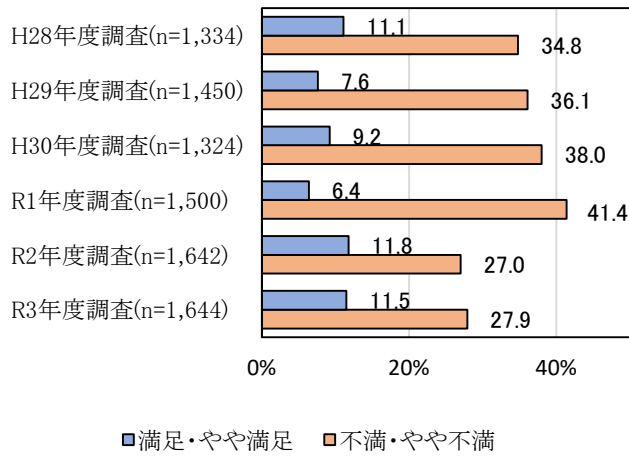
(3) 次世代産業の成長による県経済の持続的発展と商圏拡大をめざす取組



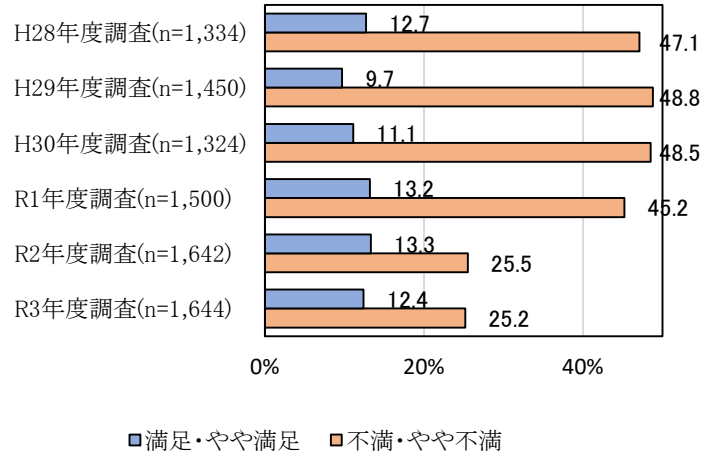
(4) 戦略的な産業人材の育成・確保



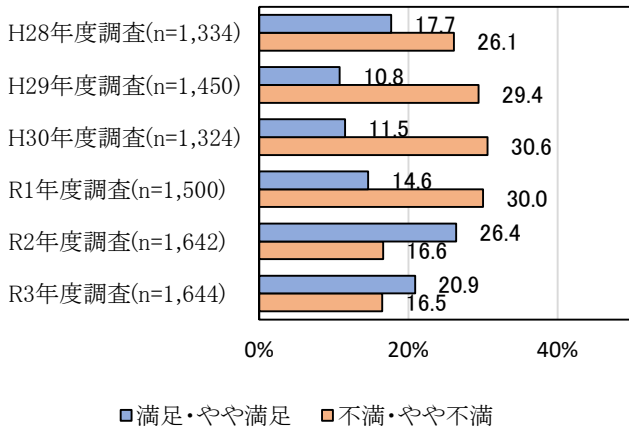
(5) 自らの能力を発揮できる働き方の実現をめざす取組



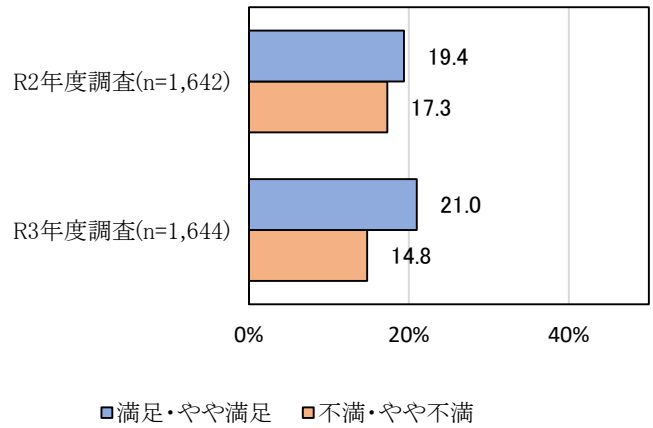
(6) 暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組



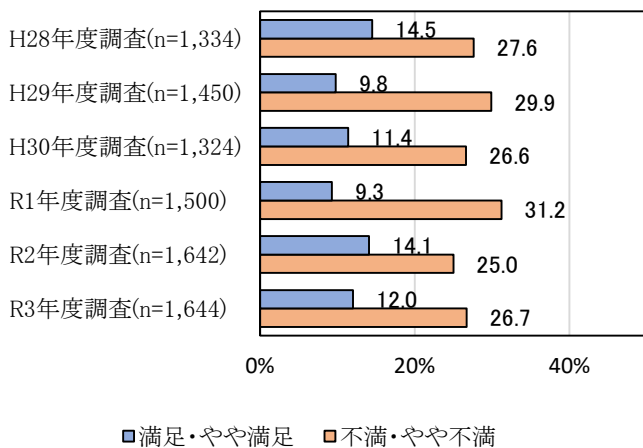
(7) アート・文化による地域づくりへの取組



(8) 強靱な防災基盤の構築に向けた取組



(9) 持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組



問 6-3-2 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」の施策等のうち、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」が59.1%と最も割合が高く、次いで「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」が43.7%、「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」が36.8%となっている。

平成 28 年度-令和3年度を比較してみると、「次世代産業の成長による県経済の持続的発展と商圈拡大をめざす取組」、「自らの能力を發揮できる働き方の実現をめざす取組」、「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」、「強靱な防災基盤の構築に向けた取組」について、3年度は2年度と比較して増加している。

性・年代別でみると、「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」は、男性の 20～50 歳代、女性の 20～30 歳代で高くなっている。ほぼ全ての年代において「関係人口の拡大を進める取組」は女性より男性が高く、「自らの能力を發揮できる働き方の実現をめざす取組」は男性より女性が高くなっている。また、「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」は 60 歳代以下の全ての年代で男性より女性が高くなっている。

図23 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度(年次比較)

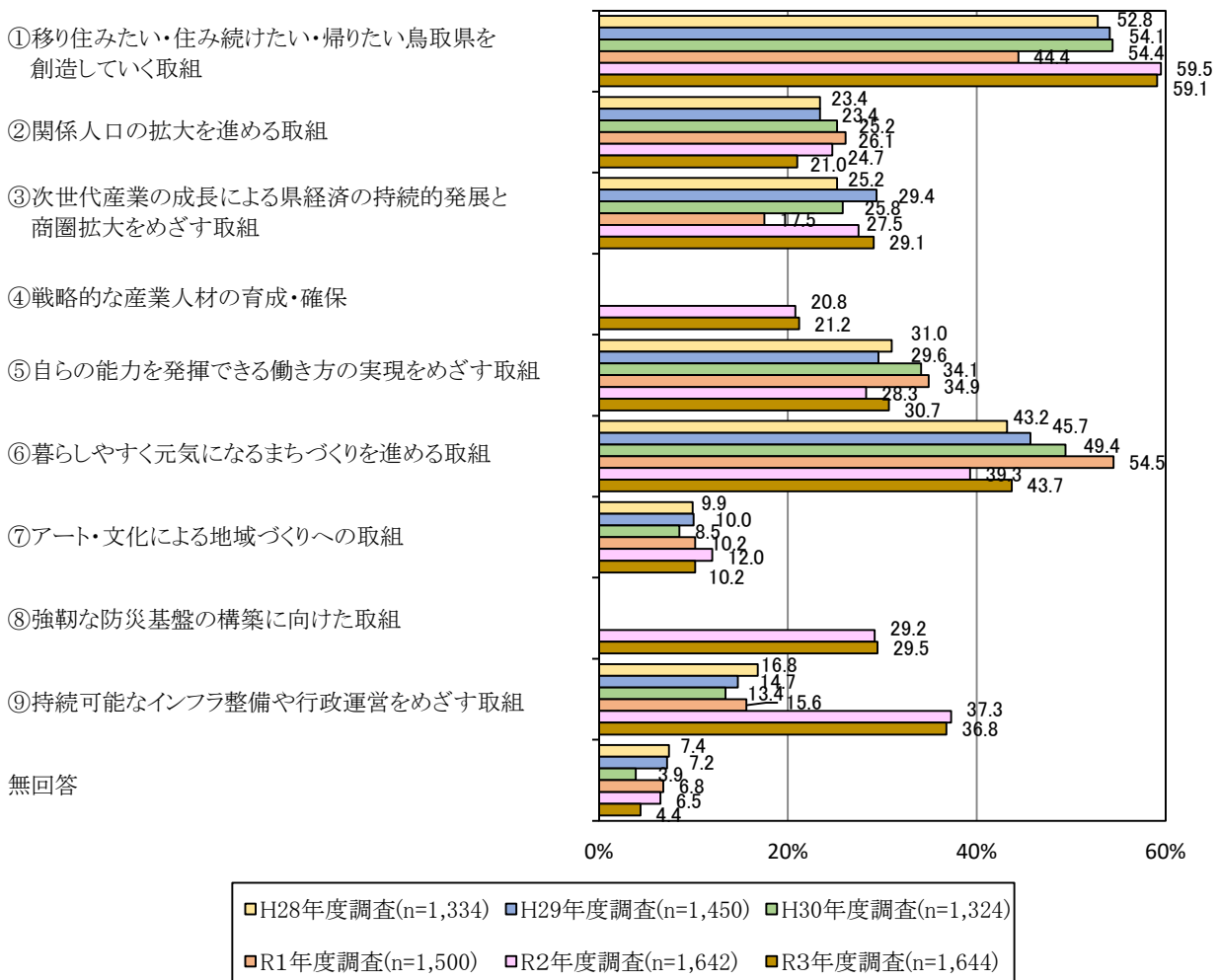
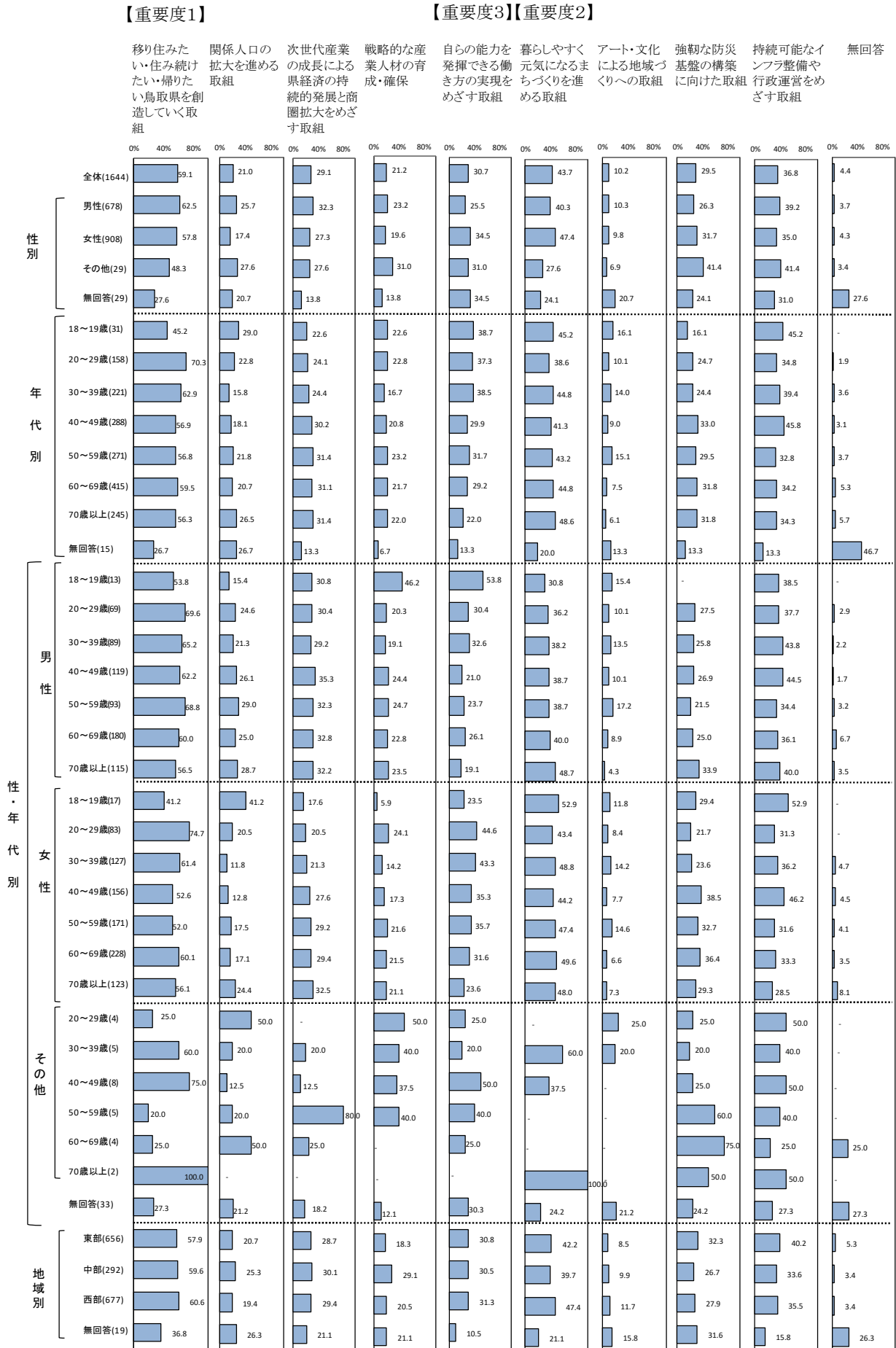


図 24 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



4 男女共同参画社会づくり

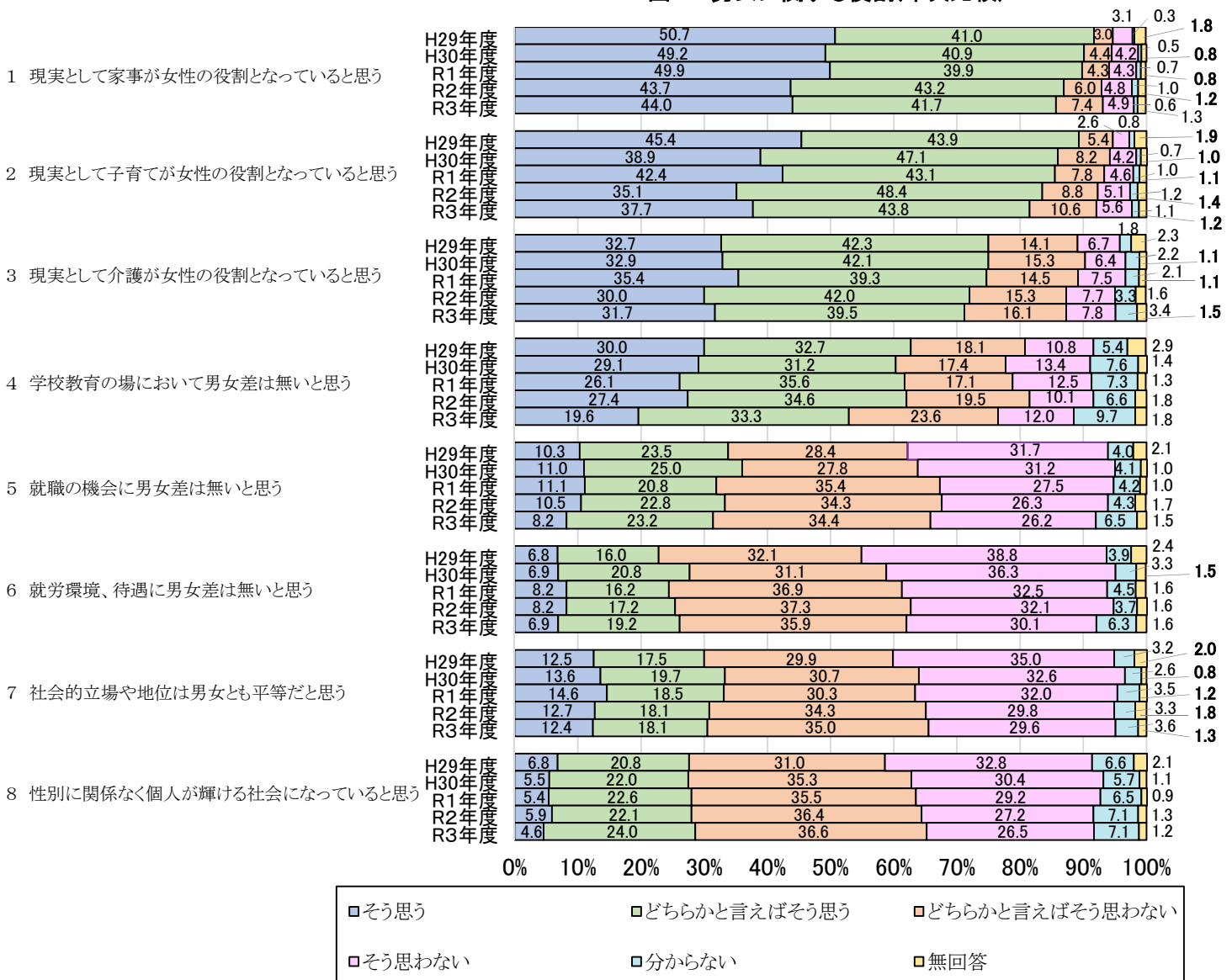
問7 男女に関する役割などについてお聞きします。次の項目(設問)についてどう思われますか。項目ごとにいずれかに○を記入してください。

～現実として「家事、子育て、介護が女性の役割」となっていると思う人が多数～

男女に関する役割などについて、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」を合わせると、「現実として家事が女性の役割となっていると思う」が85.7%と最も割合が高く、次いで「現実として子育てが女性の役割となっていると思う」が81.5%、「現実として介護が女性の役割となっていると思う」が71.2%となっている。

平成29年度～令和3年度を比較してみると、上記の3項目について「そう思う」・「どちらかと言えばそう思う」の計の割合が年度毎に減少している。また、「学校教育の場において男女差は無いと思う」は、「そう思わない」・「どちらかと言えばそう思わない」の計について、3年度は2年度と比較し6.0ポイント増加している。

図25 男女に関する役割(年次比較)



問8 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思いますか。(〇は3つまで)

～「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」
「性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発」
「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」が上位～

男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」が60.5%と最も割合が高く、次いで「性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発」が44.9%、「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」が43.9%となっている。

令和元年度-令和3年度を比較してみると、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」は6割台で推移している。

年代別でみると、「性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発」は50歳以上で高く、「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」は40歳代以下で高くなっている。

図26 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために行政が行うべき施策(年次比較)

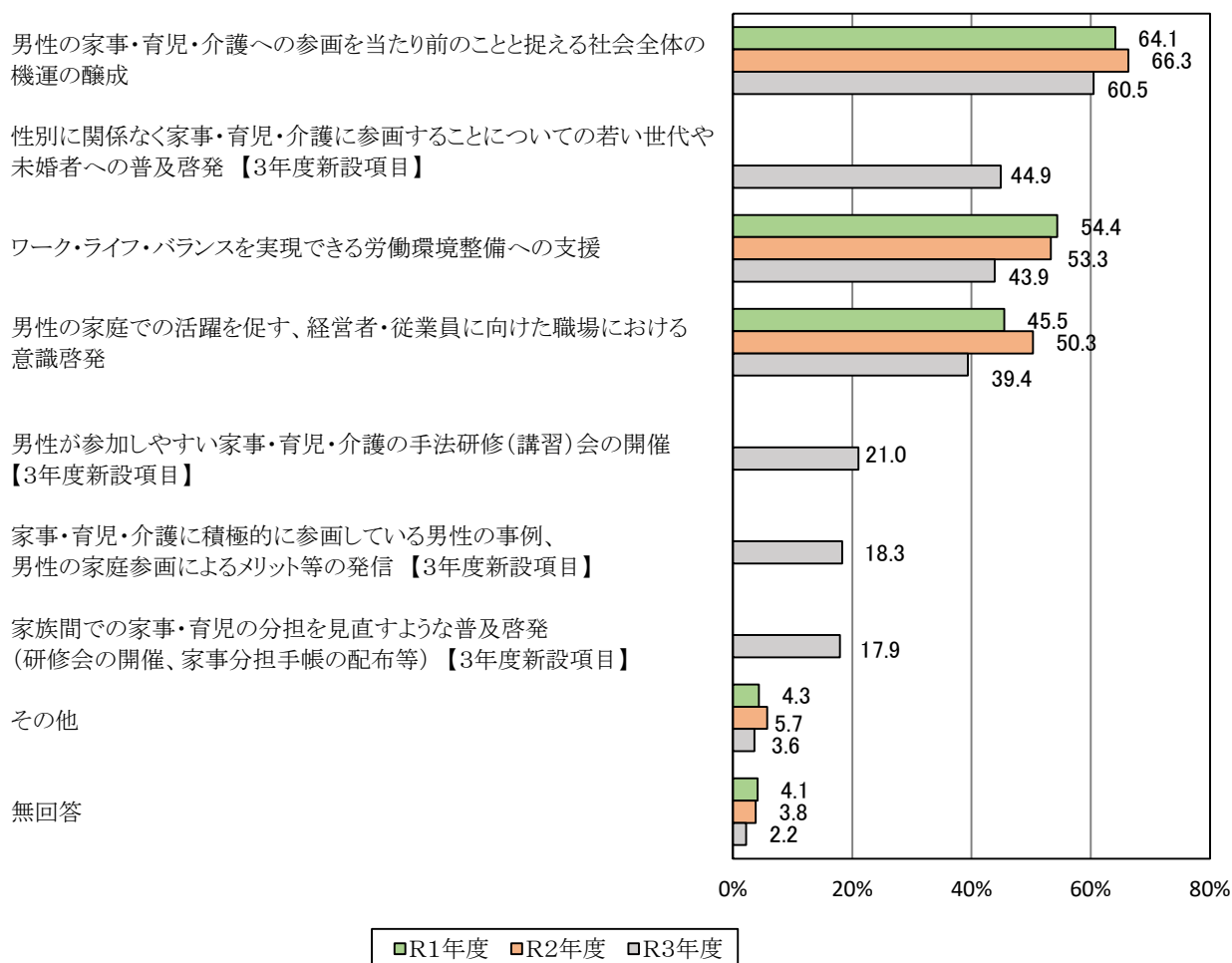
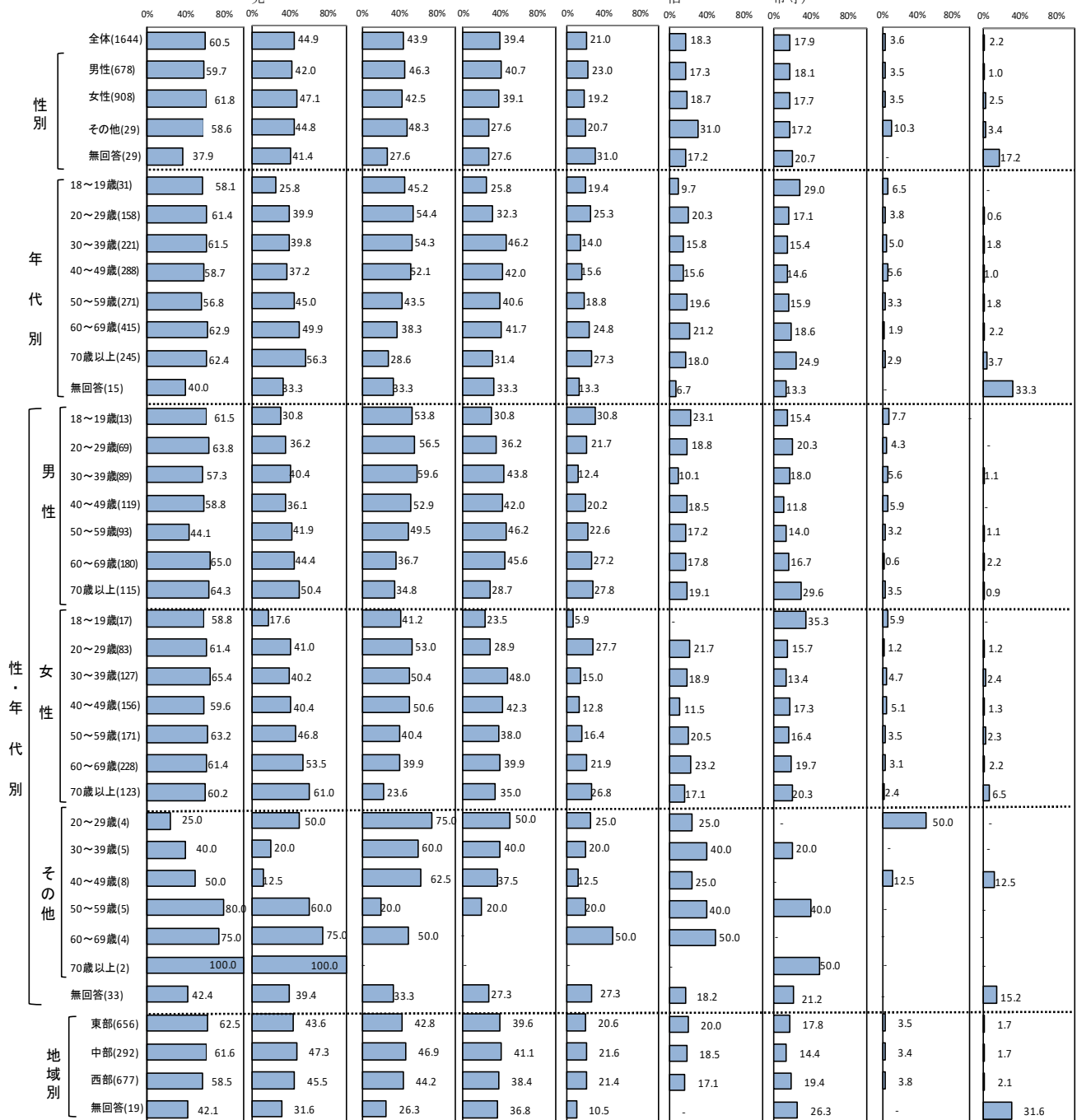


図 27 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策
(性別・年代別・地域別)

【上位1】 【上位2】 【上位3】

男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成
性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発
ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援
男性の家庭での活躍を促す、経営者・従業員に向けた職場における意識啓発
男性が参加しやすい家事・育児・介護の手法研修(講習)会の開催
家事・育児・介護に積極的に参画している男性の事例、男性の家庭参画によるメリット等の発信
家族間での家事・育児の分担を見直すような普及啓発(研修会の開催、家事分担手帳の配布等)
その他
無回答



問9 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思えますか。(〇は3つまで)

～「就労における男女の機会均等や働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」や「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実」の取組が上位～

男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは、「就労における男女の機会均等や働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」が52.6%と最も割合が高く、次いで「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実」が51.0%、「子育てや介護等で離職した人の再就職支援」が39.2%となっている。

3年度は、全ての項目で2年度より増加しており、「就労における男女の機会均等や働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」は10ポイント以上増加している。

図28 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきこと(年次比較)

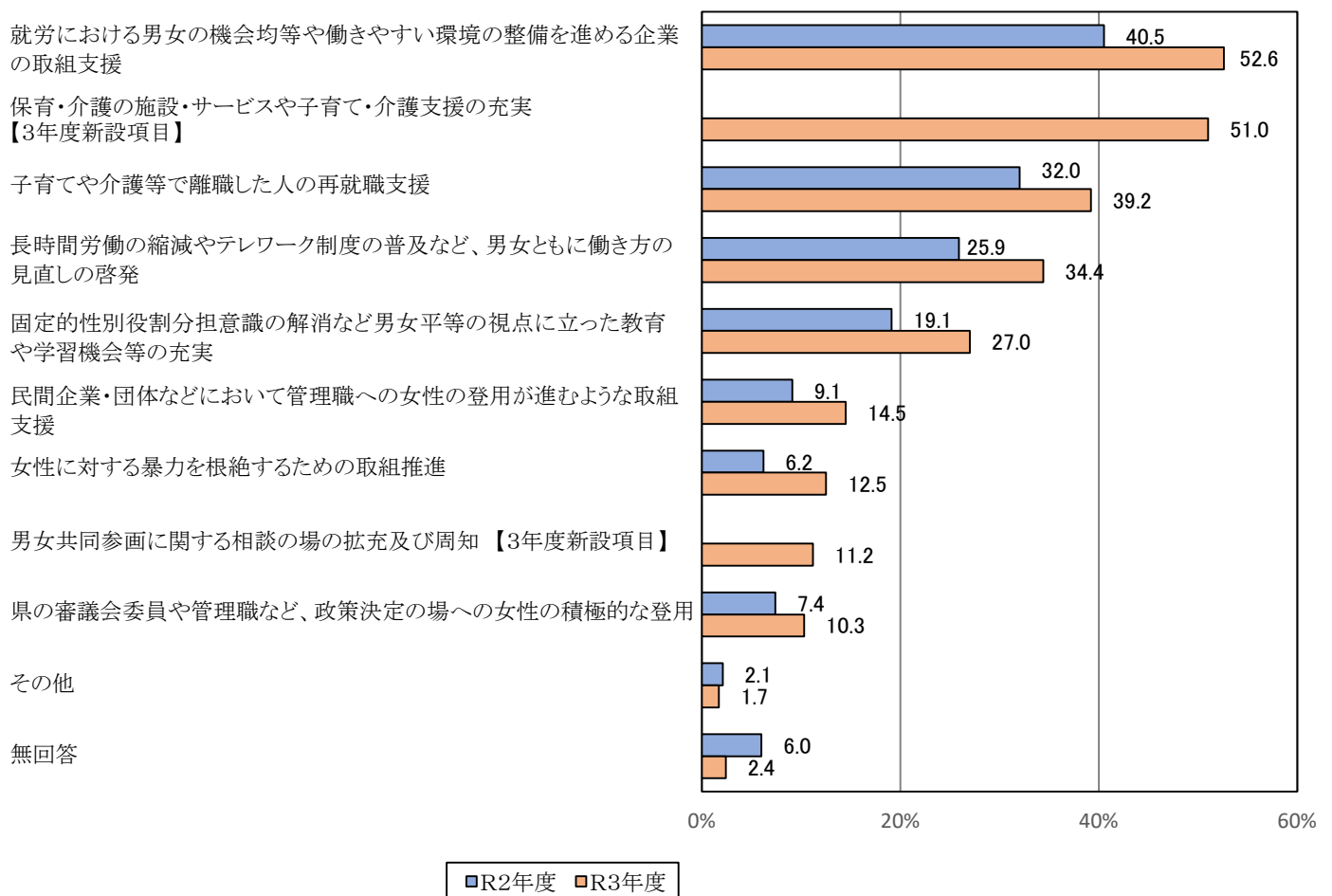
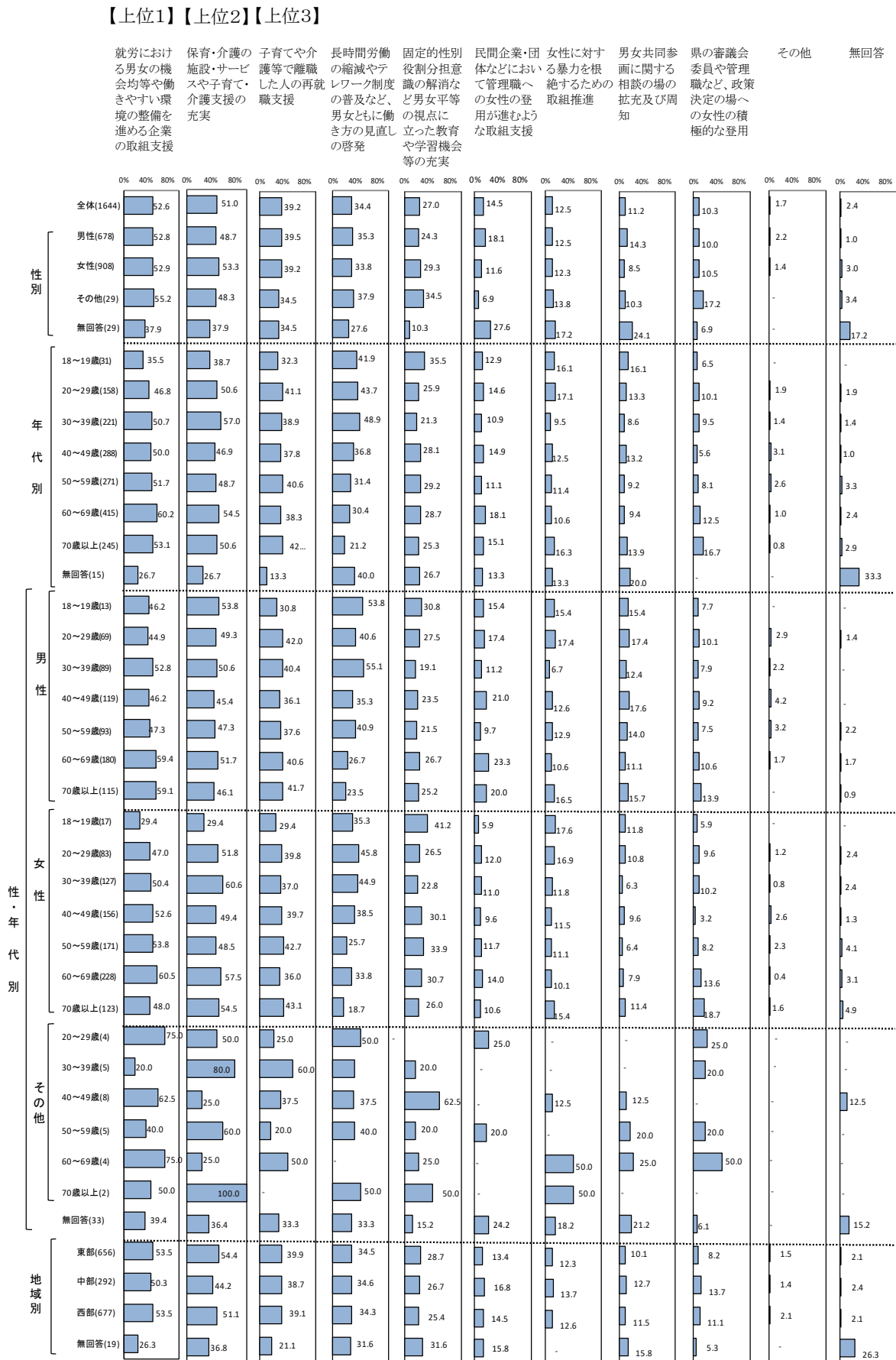


図 29 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきこと(性別・年代別・地域別)



5 SDGs(持続可能な開発目標)の推進

問 10 あなたは国連で採択された SDGs という言葉・内容を聞いたことがありますか。

～「聞いたことがある」が約7割、「聞いたことがない」が約3割～

国連で採択された SDGsという言葉・内容を聞いたことがあるかについて、「聞いたことがある」が72.9%、「聞いたことがない」が26.0%となっている。

3年度と2年度を比較すると、「聞いたことがある」の割合が2倍以上と大幅に増加し、「聞いたことがない」の割合が大幅に減少している。

年代別でみると、「聞いたことがある」は50歳代以下で高くなっている。

図30 国連で採択されたSDGsという言葉・内容を聞いたことがあるか(年次比較)

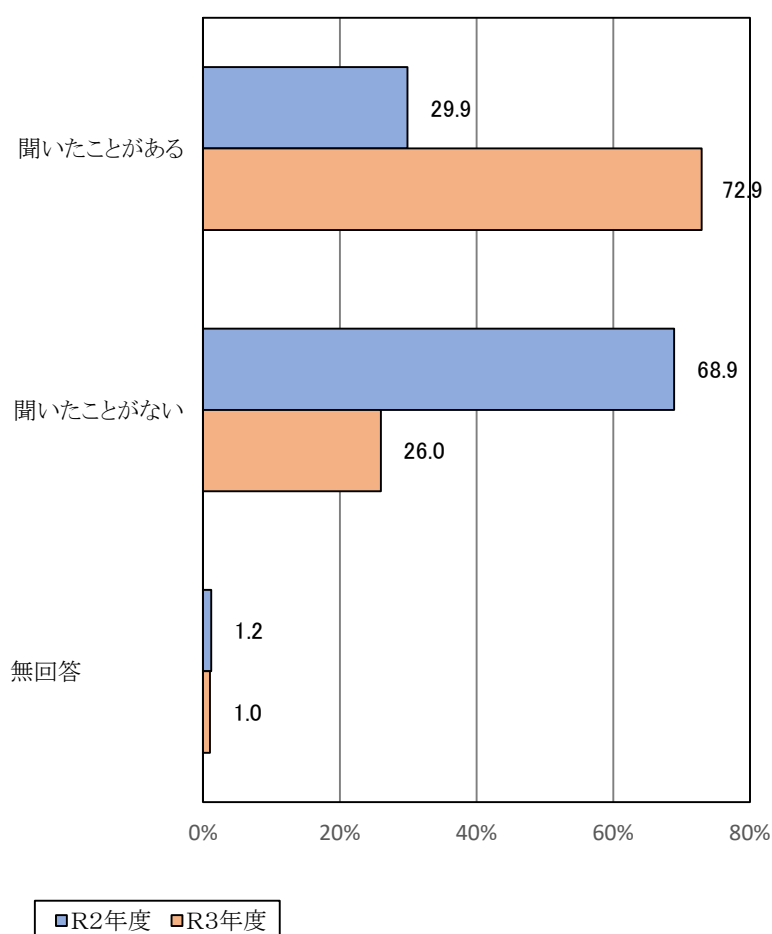
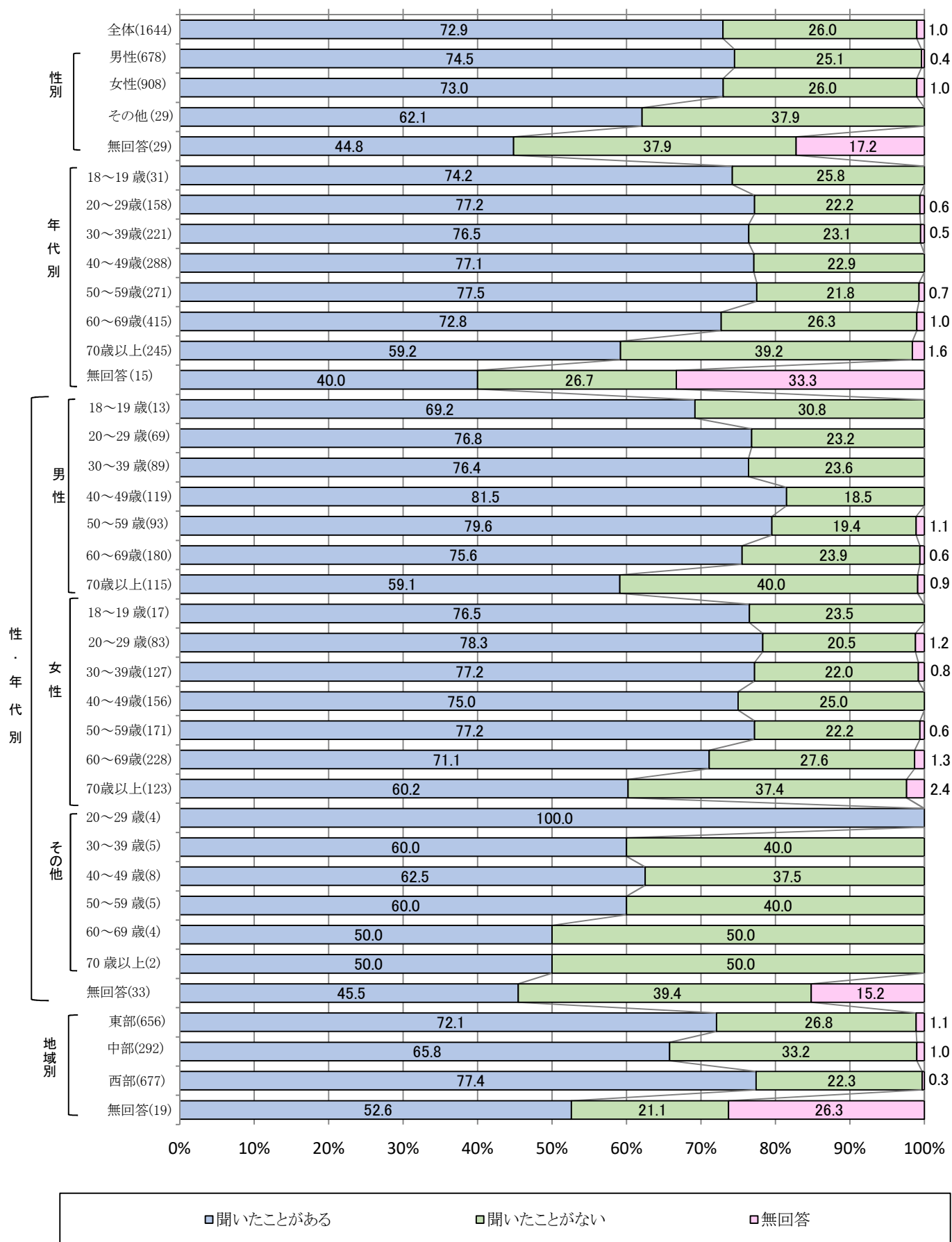


図31 SDGsという言葉・内容を聞いたことがあるか(性別・年代別・地域別)



問 11 (「聞いたことがある」と回答した方へ)SDGsという言葉・内容をどうやって知りましたか。
(〇はいくつでも)

～「テレビ」が最も多く「新聞・雑誌」が次に多い～

SDGsという言葉・内容をどうやって知ったかについて、「テレビ」が 77.9%と最も割合が高く、次いで、「新聞・雑誌」が 47.7%、「インターネット」が 28.4%となっている。

3年度と2年度を比較すると、「テレビ」が約 30 ポイントの増加となっている。

年代別で見ると、「テレビ」は全ての年代で高く、「新聞・雑誌」は 40 歳代以上で高く、「インターネット」は 30 歳代以下で高くなっている。

図32 SDGsという言葉・内容をどうやって知ったか(年次比較)

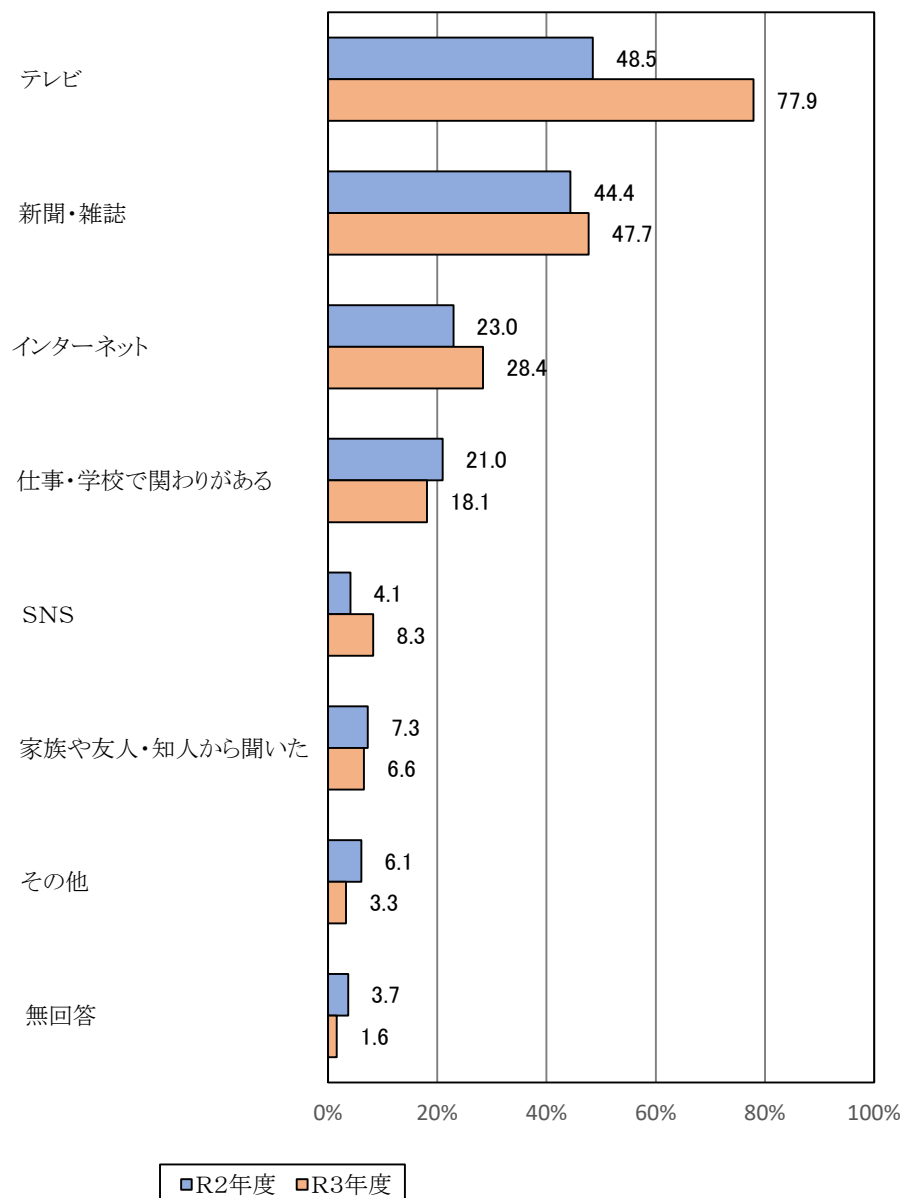
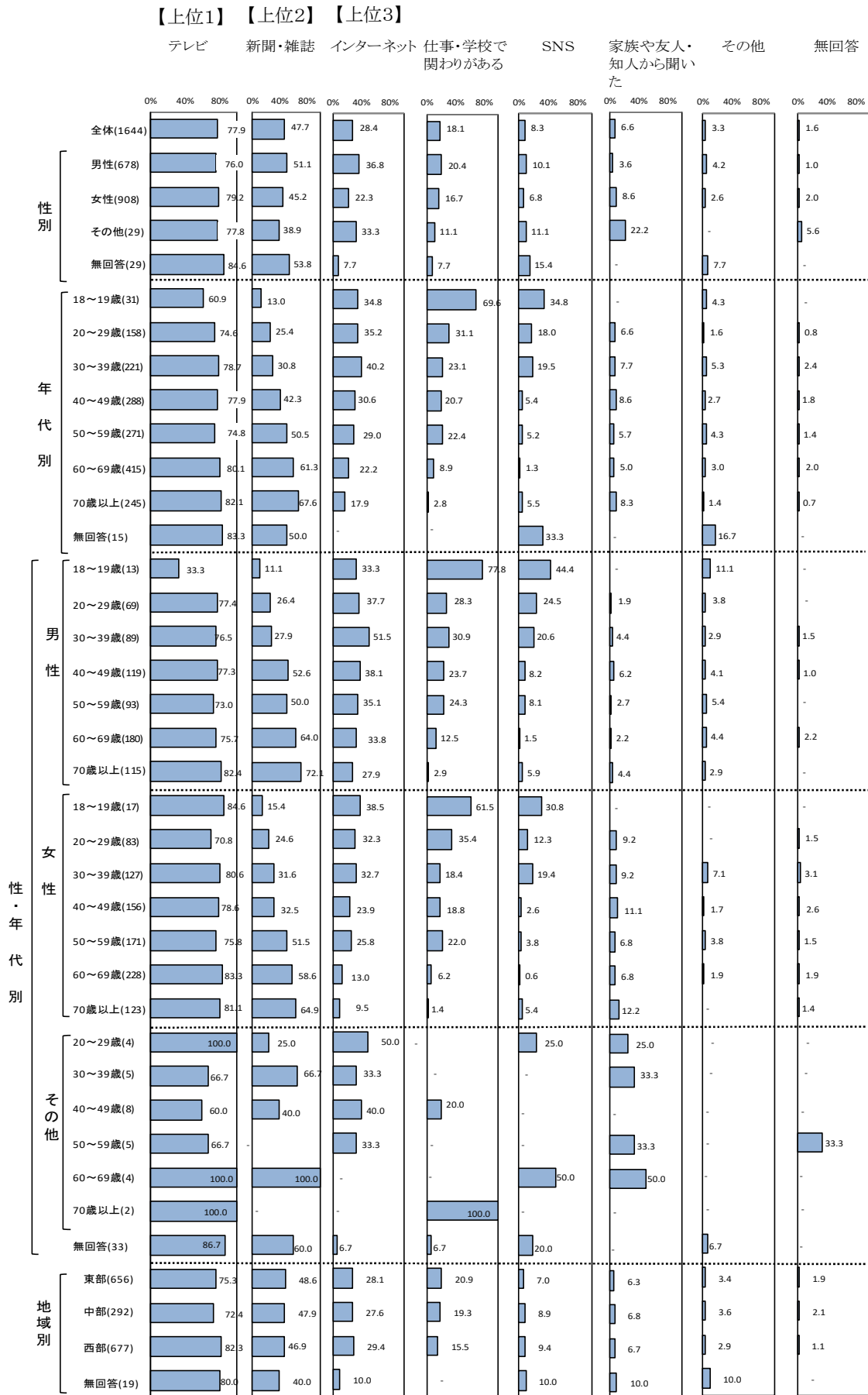


図 33 SDGsという言葉・内容をどうやって知ったか(性別・年代別・地域別)



問 12 あなたは SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心がありますか。(〇はいくつでも)

～「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」「平和と安全・安心社会の実現」が上位～

SDGsの8つの優先課題のうち、関心がある課題について、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が53.4%と最も割合が高く、次いで「平和と安全・安心社会の実現」が53.2%、「生物多様性、森林、海洋等の環境の保全」が42.5%となっている。

3年度と2年度を比較すると、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」は約10ポイント増加している。

年代別でみると、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」は60歳代以上で高く、「平和と安全・安心社会の実現」、「生物多様性、森林、海洋等の環境の保全」は40歳代及び60歳代で高くなっている。

性・年代別でみると、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」は男性の60歳代以上、「持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備」は男性の30～60歳代で高くなっている。「平和と安全・安心社会の実現」は女性の40～60歳代、「あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現」は女性の30歳代以下で高くなっている。

図34 SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心があるか(年次比較)

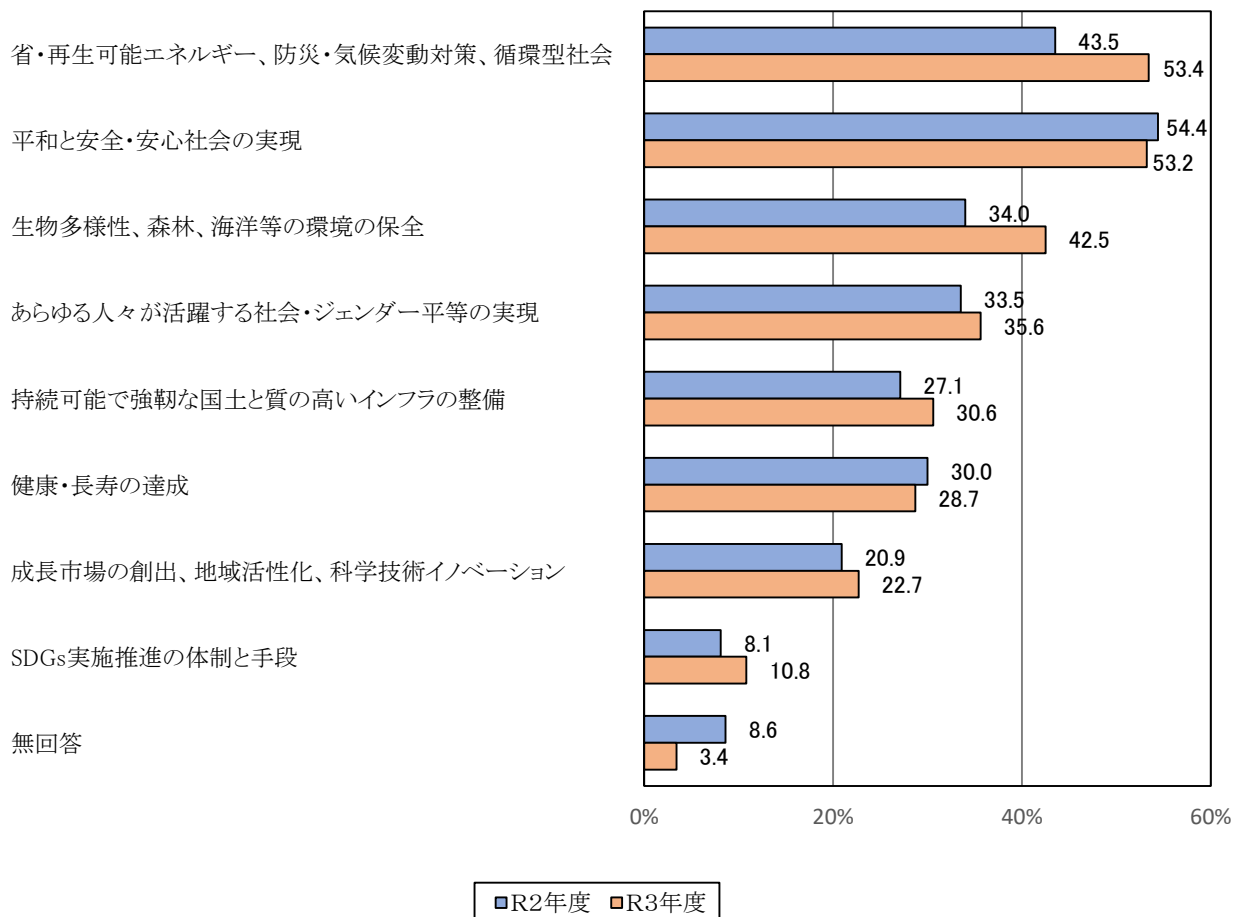
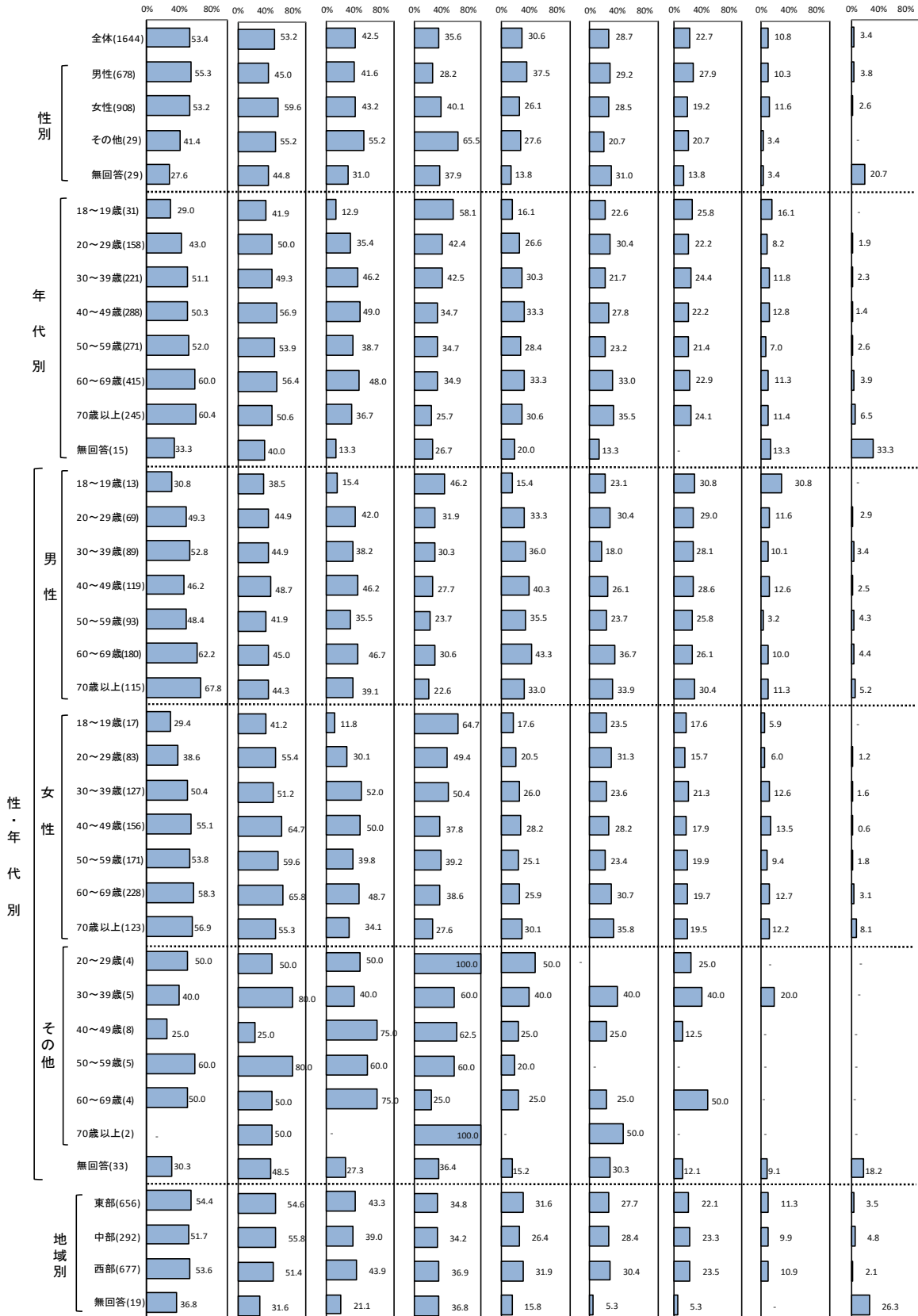


図 35 SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心があるか(性別・年代別・地域別)

【上位1】 【上位2】 【上位3】

省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会
 平和と安全・安心社会の実現
 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
 あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現
 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
 健康・長寿の達成
 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション
 SDGs実施推進の体制と手段
 無回答



問 13 あなたは SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて、行政が特に力を入れるべき課題は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

～「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」「平和と安全・安心社会の実現」が上位～

SDGsの8つの優先課題のうち、行政が特に力を入れるべき課題について、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が47.7%と最も割合が高く、次いで「平和と安全・安心社会の実現」が42.2%、「生物多様性、森林、海洋等の環境の保全」が38.1%となっている。

年代別でみると、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」、「平和と安全・安心社会の実現」は60歳代以上で高く、また、「成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション」、「あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現」は20～30歳代で割合が高くなっている。

性・年代別でみると、「平和と安全・安心社会の実現」は女性の40歳代以上で高く、「成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション」は男性の50歳代以下で高くなっている。

図36 SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて行政が特に力を入れるべき課題(n=1,644)

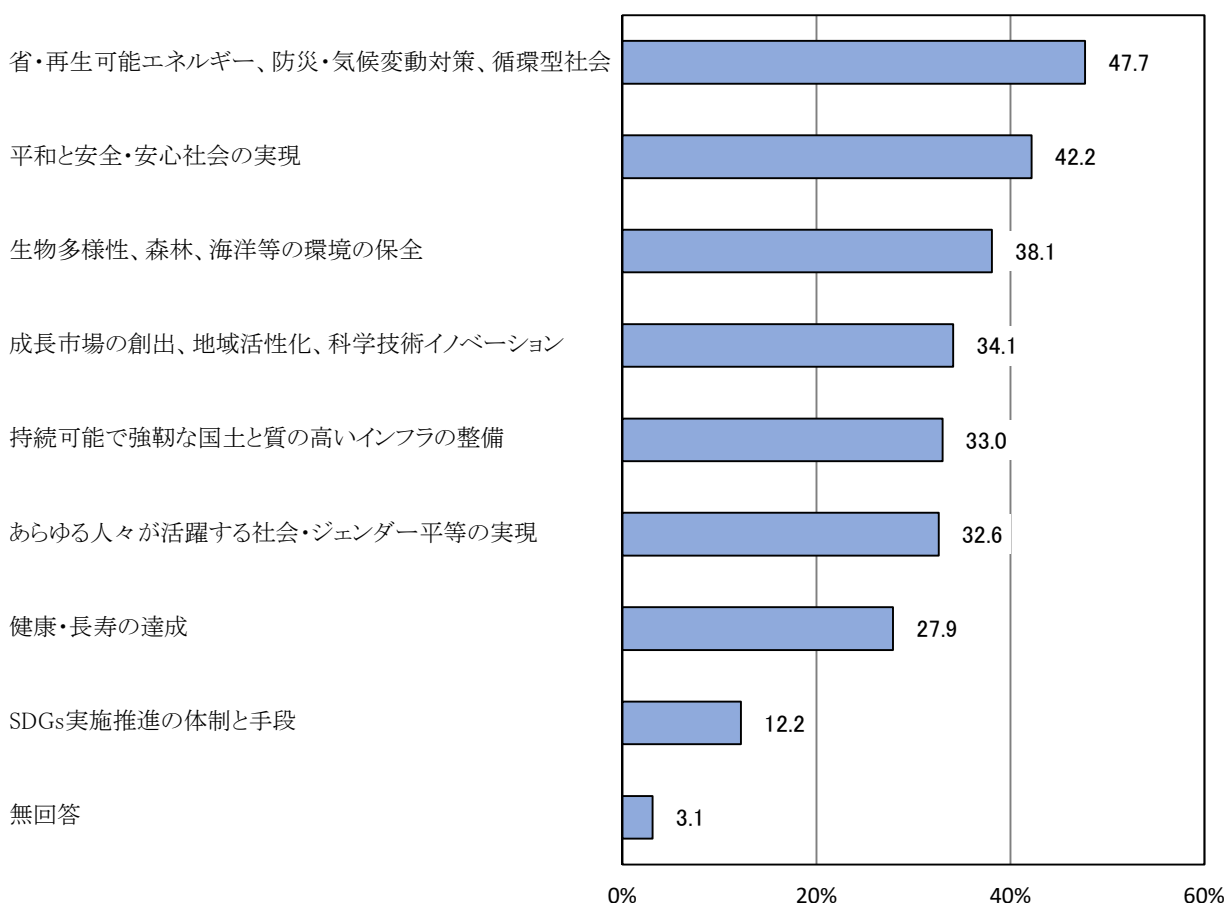
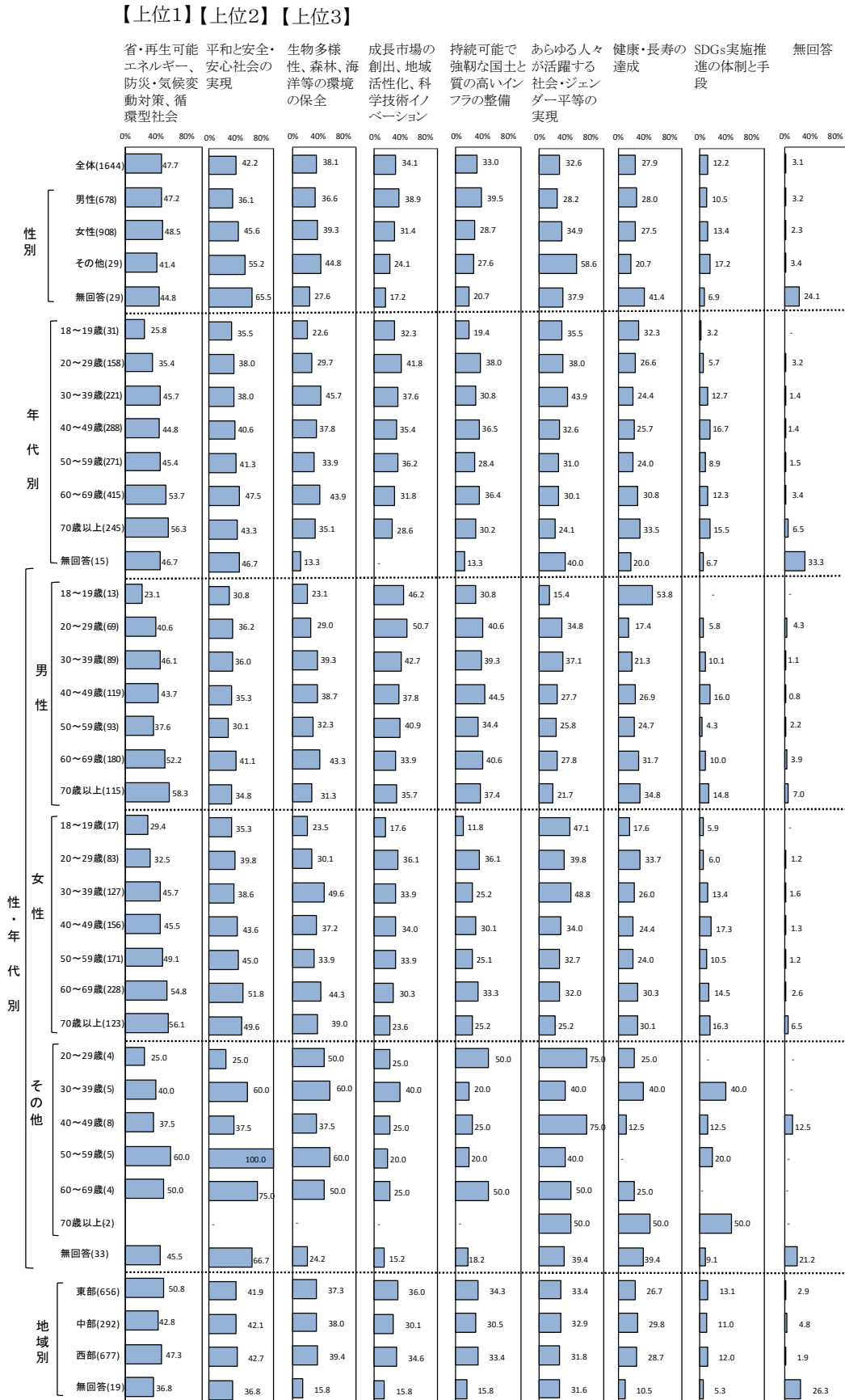


図 37 SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて、行政が特に力を入れるべき課題
(性別・年代別・地域別)



Ⅲ 重点施策への関心・認識

問 14 鳥取県は、最先端の情報通信技術やデータの積極的な利活用を通じて県民が豊かさを実感できる鳥取県版 Society5.0 の実現を目指す「鳥取県情報技術活用推進計画～Society5.0 推進計画～」を令和3年4月に策定し、各分野において様々な取組を推進するとしたところです。

それぞれの取組について、あなたの関心度をお聞きますので、それぞれ5段階で回答をお願いします。

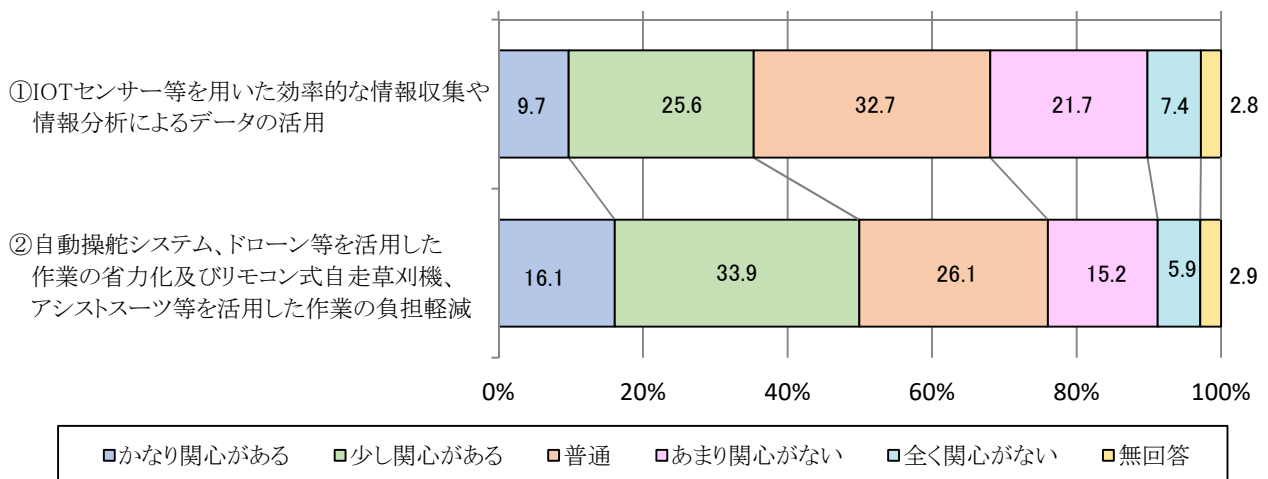
1 農林水産分野

農林水産分野においては、「農林水産物の品質、生産量の向上」、「作業の省力化、コスト削減の推進」、「熟練の技術、ノウハウの伝承」を目指します。

このための取組例(①・②)への関心度について回答してください。

～農林水産分野について、「かなり関心がある」・「少し関心がある」の計の割合は、「②自動操舵システム、ドローン等を活用した作業の省力化及びリモコン式自走草刈機、アシストスーツ等を活用した作業の負担軽減」が 50.0%と高くなっている～

図38 農林水産分野における取組の関心度 (n=1,644)



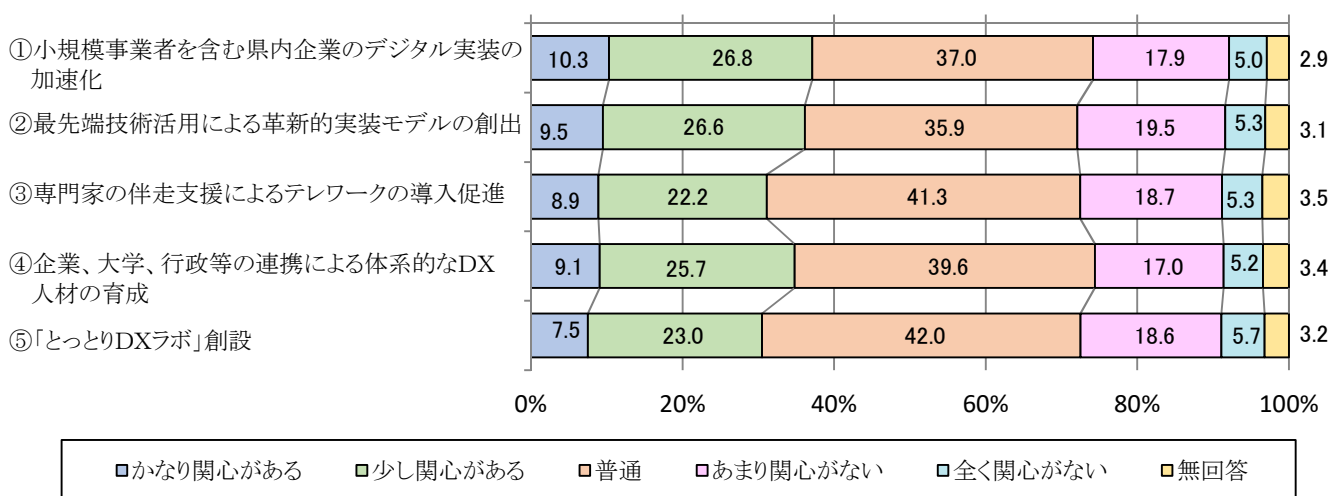
2 産業振興・働き方分野

産業振興・働き方分野においては、「業務効率化や付加価値向上等による県内産業の成長」、「新たな需要を獲得する新たなビジネスモデル創出」、「柔軟な働き方の実現」、「デジタル専門人材の育成」を目指します。

このための取組例(①～⑤)への関心度について回答してください。

～産業振興・働き方分野について、「かなり関心がある」・「少し関心がある」の計の割合は、「①小規模事業者を含む県内企業のデジタル実装の加速化」が 37.1%と最も高く、次いで「②最先端技術活用による革新的実装モデルの創出」が 36.1%となっている～

図39 産業振興・働き方分野における取組の関心度 (n=1,644)



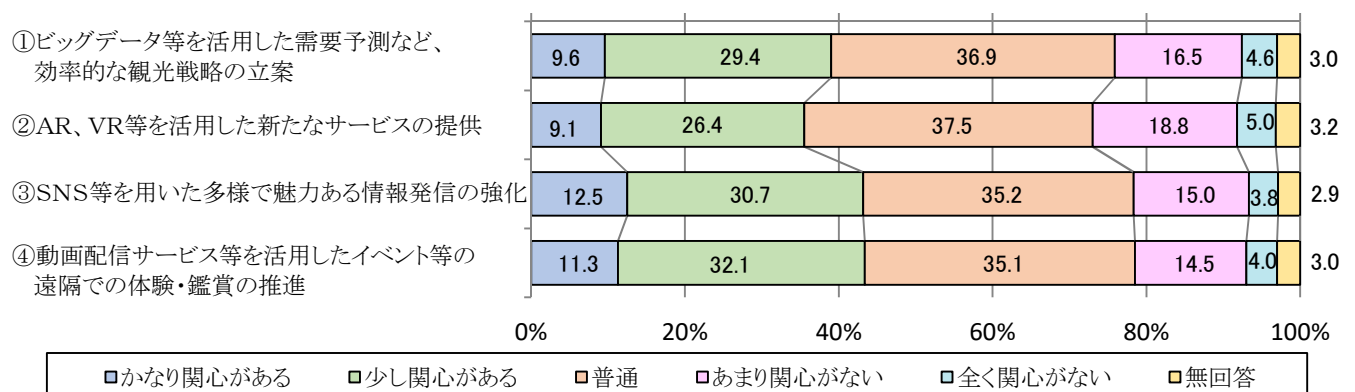
3 観光・文化振興分野

観光・文化振興分野においては、「国内外からの観光客の増加、観光地の魅力向上」、「文化・芸術を体験・鑑賞できる新たな環境の実現の育成」を目指します。

このための取組例(①～④)への関心度について回答してください。

～観光・文化振興分野について、「かなり関心がある」・「少し関心がある」の計の割合は、「④動画配信サービス等を活用したイベント等の遠隔での体験・鑑賞の推進」が 43.4%と最も高く、次いで「③SNS等を用いた多様で魅力ある情報発信の強化」が 43.2%となっている～

図40 観光・文化振興における取組の関心度 (n=1,644)



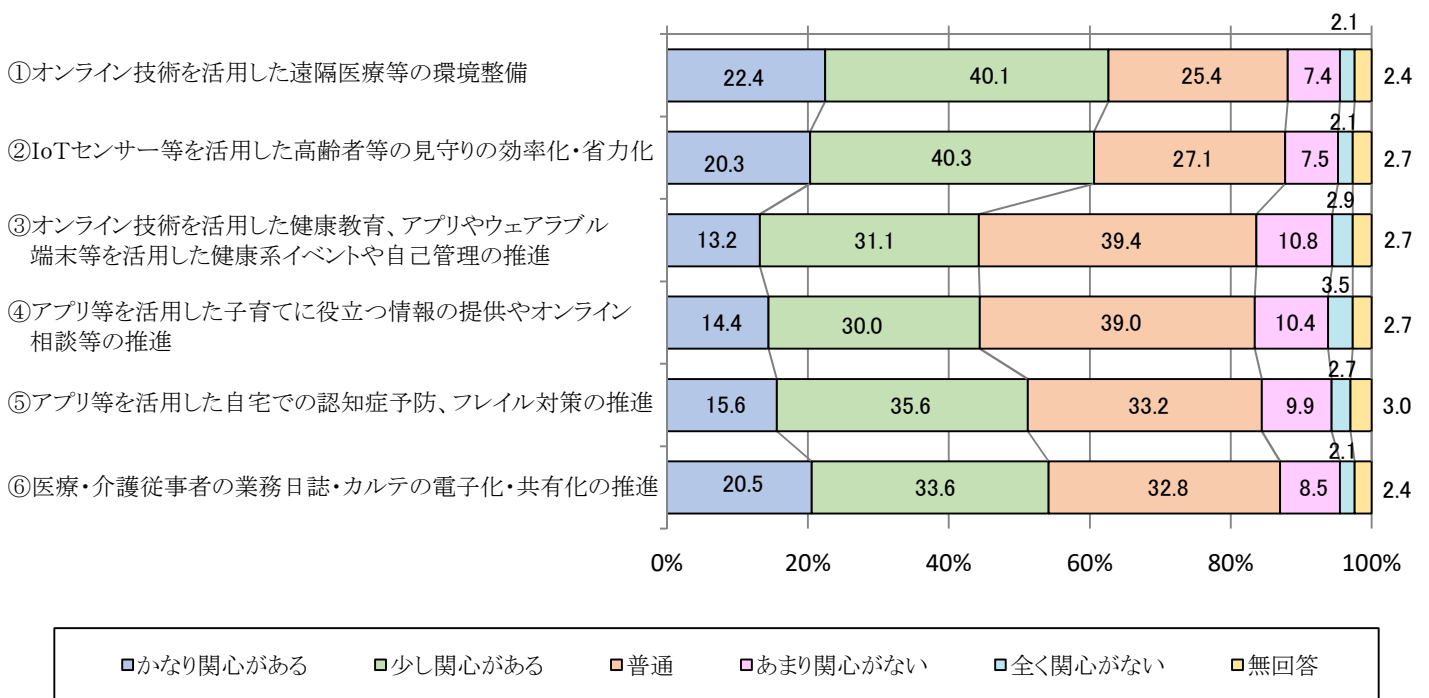
4 医療・福祉・健康分野

医療・福祉・健康分野においては、「自宅等からサービスが受けられる環境の実現」、「従事者の負担軽減とサービスの質の維持・向上」、「安心して子育てできる環境の実現」、「健康寿命の延伸」を目指します。

このための取組例(①～⑥)への関心度について回答してください。

～医療・福祉・健康分野について、「かなり関心がある」・「少し関心がある」の計の割合は、「①オンライン技術を活用した遠隔医療等の環境整備」が62.5%と最も高く、次いで「②IoTセンサー等を活用した高齢者等の見守りの効率化・省力化」が60.6%となっている～

図41 医療・福祉・健康における取組の関心度(n=1,644)



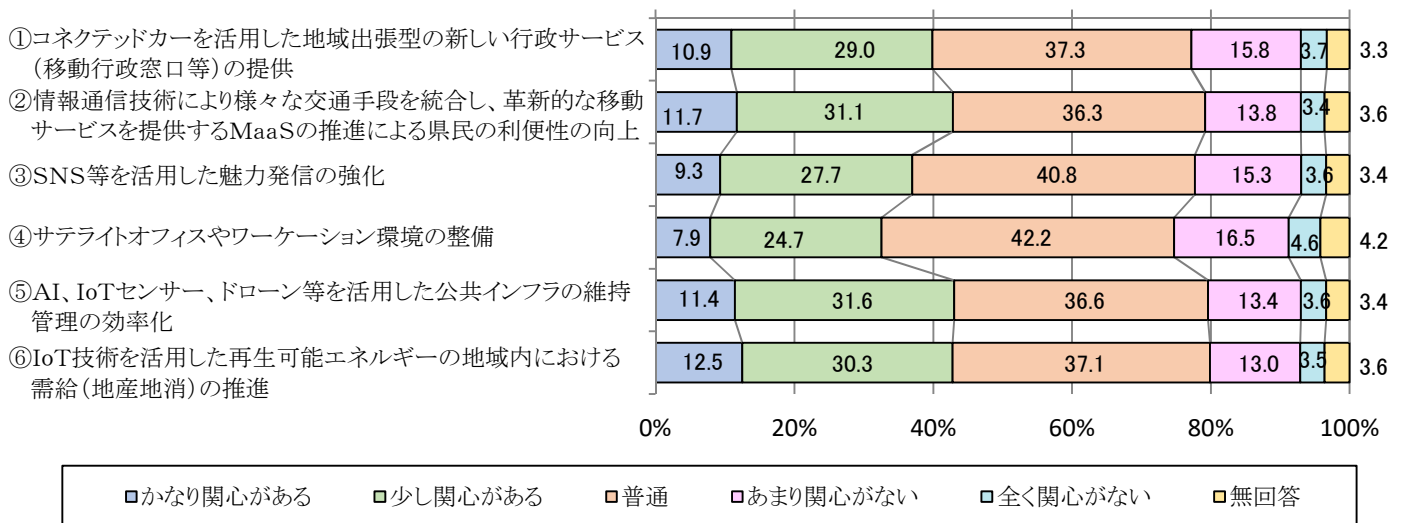
5 暮らし分野

暮らし分野においては、「住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境の実現」、「県内への移住・定住の促進」、「多様な関係人口の拡大による地域活性化の実現」、「脱炭素社会の実現」を目指します。

このための取組例(①～⑥)への関心度について回答してください。

～暮らし分野について、「かなり関心がある」・「少し関心がある」の計の割合は、「⑤AI、IoTセンサー、ドローン等を活用した公共インフラの維持管理の効率化」が43.0%と最も高く、次いで、「②情報通信技術により様々な交通手段を統合し、革新的な移動サービスを提供するMaaSの推進による県民の利便性の向上」、「⑥IoT技術を活用した再生可能エネルギーの地域内における需給(地産地消)の推進」がいずれも42.8%となっている～

図42 暮らしにおける取組の関心度(n=1,644)



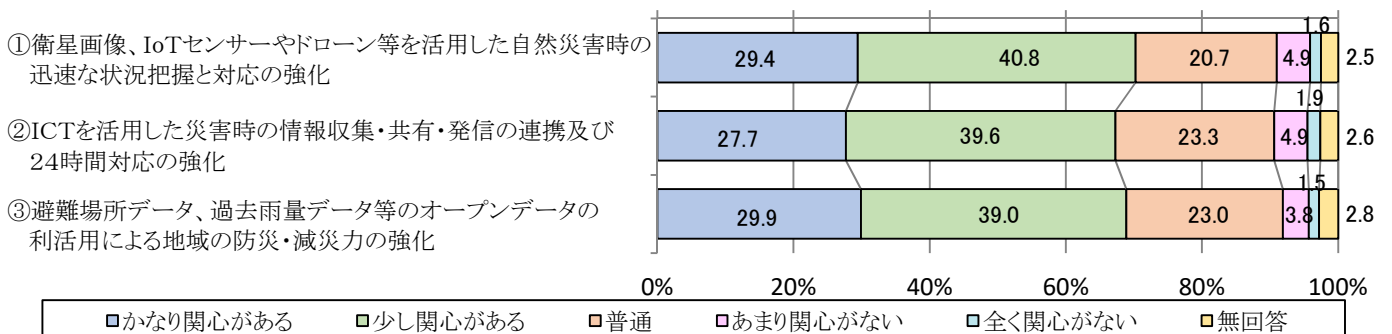
6 防災・減災分野

防災・減災分野においては、「大規模災害への備え」、「感染症の大規模な感染拡大への備え」、「自助・共助・公助の連携強化」を目指します。

このための取組例(①～③)への関心度について回答してください。

～防災・減災分野について、「かなり関心がある」・「少し関心がある」の計の割合は、「①衛星画像、IoTセンサーやドローン等を活用した自然災害時の迅速な状況把握と対応の強化」が70.2%で最も高く、その他の取組も65%以上と全体的に関心度が高くなっている～

図43 防災・減災における取組の関心度(n=1,644)



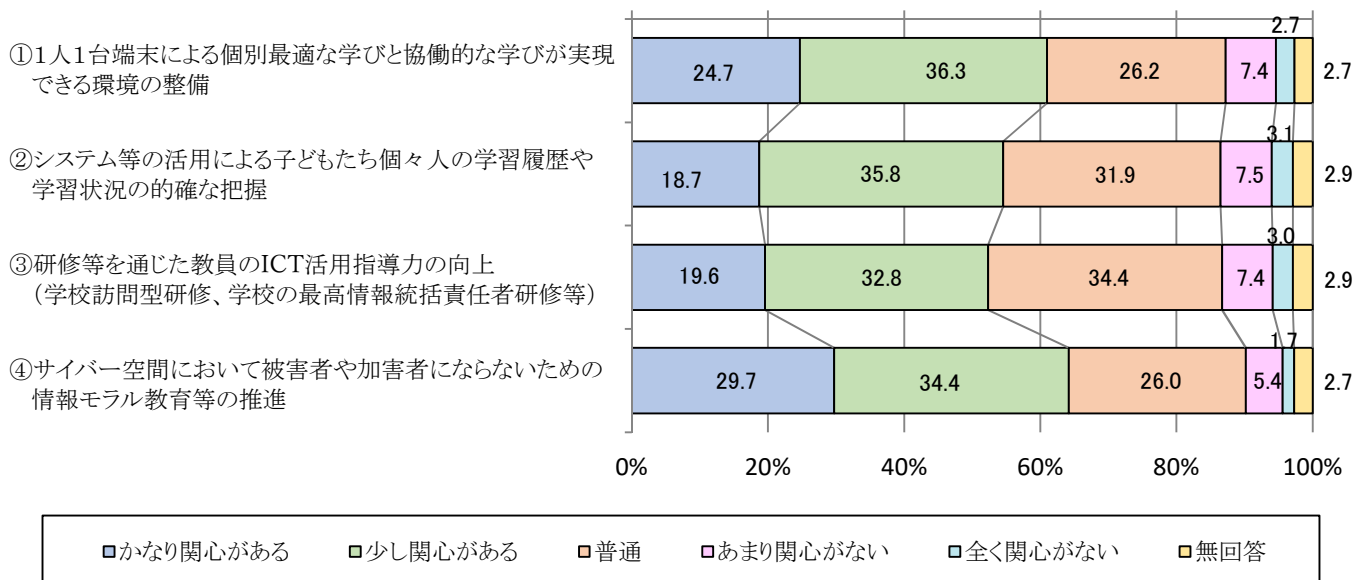
7 学校教育分野

学校教育分野においては、「子どもたち一人一人の教育的ニーズや学習状況に応じた学びの提供の実現」、「子どもたち一人一人の学習・生活状況の把握の深化」、「安心・安全なICT活用に向けた子どもの頃からの教育」を目指します。

このための取組例(①～④)への関心度について回答してください。

～学校教育分野について、「かなり関心がある」・「少し関心がある」の計の割合は、「④サイバー空間において被害者や加害者にならないための情報モラル教育等の推進」が 64.1%と最も高く、次いで、「①1人1台端末による個別最適な学びと協働的な学びが実現できる環境の整備」が 61.0%となっている～

図44 学校教育における取組の関心度 (n=1,644)



【自由記載】

多くの方々からたくさんのご意見をいただきましたので、一部を紹介いたします。

問5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。(選択肢13「その他」への記載)

公共交通機関状況。 ◆(50～59歳 男性 東部)
家族の健康の状況。 ◆(60～69歳 男性 中部)
安全に暮らせる、感染症のリスクの低さ。 ◆(20～29歳 男性 西部)
病院等を含む社会環境。 ◆(50～59歳 女性 東部)
ショッピングできる場所が充実していることを望んでいます。 ◆(40～49歳 女性 東部)
水が美味しい！ ◆(18～19歳 男性 中部)
文化的環境。 ◆(60～69歳 女性 西部)

問8 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思えますか。

(選択肢8「その他」への記載)

女性に「女性だからしないといけない」という考えをとりのぞくこと。 ◆(40～49歳 男性 東部)
仕事や日々の生活の中で家事、育児、介護をする上で、経験者にしかわからない悩みを話し合える場(対面またはweb)等の提供とアウトプット。 ◆(50～59歳 女性 西部)
子供の頃からの、家事分担の大切さや性別役割分担の否定などの教育が大切だと思います。 ◆(18～19歳 女性 西部)
「男性が」ではなく「男女ともに」家事・育児・介護に参画できるよう企業(経営者)に向けた働きかけ。 ◆(20～29歳 男性 東部)
若い世代のほうが家庭等への参画の意識が自然と備わっていて実践されている方は多いと思います。職場等で上司などにあたる上の世代の方々への意識啓発も大切ではないかと思えます。 ◆(30～39歳 女性 東部)
男性の産休育休取得率の高い事業所への補助金など。 ◆(50～59歳 女性 中部)
ライフワークバランス、リモートでスポットで働ける環境支援。空き時間にリモートで働ける環境があれば家計的にもたすかり、職場復帰時の心的ストレスなどの削減になる。 ◆(30～39歳 男性 西部)

問9 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思いますか。

(選択肢 10「その他」への記載)

女性の積極的に活躍できる場の提供。 ◆(60～69歳 男性 西部)
県の審議会や委員会参加者や民間との協議会などで参加依頼する際、「男女各一名」等と女性参加を基本にする。と同時に女性の育成や女性限定の講習会も行いフォローする。 ◆(50～59歳 男性 西部)

問 11 SDGsという言葉・内容をどうやって知りましたか。(選択肢 7「その他」への記載)

バードハットの幟は毎日通るので自然と目に入ってきました。 ◆(50～59歳 女性 東部)
町の広報誌。 ◆(60～69歳 男性 西部)
子供の通っている園。 ◆(30～39歳 女性 西部)
研修会参加時に学習。 ◆(60～69歳 女性 中部)
ラジオ。 ◆(30～39歳 男性 西部)
ボーイスカウトの活動で関わった。 ◆(18～19歳 男性 東部)
数年前に行ったイベント。 ◆(30～39歳 女性 東部)
子供が学校から聞いてきて教えてくれた。 ◆(40～49歳 女性 中部)

自由記載欄 (「ご意見・ご要望があれば自由にお聞かせください」への記載)

人口規模が小さいことを逆手にとって、各個人にあわせたサポートを受ける、あるいはサポートを提供してもらい仕組みを構築し、他県の方が羨むような鳥取県モデルを作っていただきたい。あと小中高生が将来の高度情報化社会を生きていくために 都会と同等以上の知識と実践を積める機会を用意していただきたい。 ◆(40～49歳 男性 東部)
県庁所在地が鳥取東部にあるからと言って、全ての事が東部で行われたり、施設が東部に集中しないよう分散化させて欲しいです。東部から西部に移動するにも時間がかかります。準備等大変だとは思いますが、ご検討をお願いします。 ◆(50～59歳 女性 西部)
鳥取県では、いろいろな分野において様々な取り組みがなされている。又は、なされようとしていることが、よく分かったが、詳しく知らないものが多く、もっと 情報収集する必要があると個人的に感じるとともに、県によるわかりやすい情報発信も必要だと感じました。 ◆(60～69歳 女性 東部)
ウィズコロナにおいて、人流の抑制を目的としていたこれまでのテレワーク(在宅勤務等)から、生産性を上げるテレワークを進めるために、さらに県、市町村が連携し、また率先して実施していただき、民間企業に落とし込んでいってほしい。 ◆(30～39歳 男性 東部)

<p>コロナ渦で浮き彫りになったテレワークにはなじめない、エッセンシャルワーカーが多数いるという事にもっと目を向けるべきではないか、物を生産し、人力でサービスを提供する業種では、テレワークは不可能なケースが圧倒的である。自身の周囲にそういう人達が多数存在する事を忘れていませんか？</p> <p>◆(70歳以上 男性 西部)</p>
<p>小さい子供が3人います。鳥取で生まれ育ち、一度県外に出ましたが、子育てをしてから鳥取に戻ってよかったですと本当に思うようになりました。妊娠中の助成や出産費用の安さ、子育て支援や子どもの遊べる環境の多さがとてもありがたいです。もっと子育て支援のことをアピールしても良いのではないのでしょうか。県外に出た友人たちは鳥取に戻りたいと話しますが、職がないと言うので、リモートも活用しながら就職支援ももっと情報としてあると良いと思います。</p> <p>◆(30～39歳 女性 東部)</p>
<p>賃金の低さ、交通の便の悪さの改善が業務だと思います。車が必要な生活やほとんどの子供が大学進学する状況の今は都会で生活していれば必要ないお金が鳥取ではかかるので、昔のように田舎は生活費が安いとは言えないと思います。これでは他県に出た子が戻ってこないのもある意味当然だとも感じてしまいます。</p> <p>◆(50～59歳 女性 東部)</p>
<p>人口も少なく、山間部も多くを占めており、それほどの魅力もないかもしれないが、高速情報通信網の整備等ITの普及促進(企業・各家庭等への援助等)、高齢者・障害者等に優しく暮らしやすい街づくり(施設等への積極的な人材確保・ICT化促進等の援助、各家庭に対する更なる負担軽減策等、公共交通機関の充実など)、左記の事業を県内企業に担ってもらい、県が強力に推進していけば、県内の産業も潤い、高齢者も支える側双方も恩恵があり、暮らしやすく感じるのではないのでしょうか。メディア等を通じた目立つようなキャッチフレーズの宣伝ではなく、地味でもそこに暮らす県民が満足を感じることができるような施策を行ってほしいです。</p> <p>◆(40～49歳 男性 西部)</p>
<p>スマホやインターネット(PC)が自由にあやつれる人は、多くないと思う。くわしい事はホームページで、、、とよく聞くが若い人ならともかく、出来ない人の事も考えてもらいたい。</p> <p>◆(70歳以上 女性 西部)</p>
<p>障がい者、老人の介護にもっと力を入れてほしい。受け入れ施設が少ないので利用出来ない人がいる。自宅介護には限界がある。</p> <p>◆(20～29歳 男性 西部)</p>
<p>子育てをする上でもう少し無料で遊ばせられる場所があったら助かります。男性トイレにもおむつ替えスペースを作ってください(多目的トイレに子ども椅子も)。</p> <p>◆(30～39歳 西部)</p>
<p>公共交通機関をなんとかしてください。中学生の子どもをほぼ毎日車で勤務前に送迎する毎日です。学校のバスでもいいです。高齢の祖父母も免許返納できず負のスパイラルです。</p> <p>◆(40～49歳 女性 東部)</p>
<p>IOT の積極的活用及び若い世代への教育・支援に力を是非注いで頂きたいです。</p> <p>◆(20～29歳 男性 東部)</p>
<p>ちっちゃい子や若い人が遊べる室内施設が欲しいです。アウトレットみたいなどこだったり複合レジャー施設だったり市町村から出なくても楽しめる施設が欲しいと思います。</p> <p>◆(18～19歳 女性 西部)</p>
<p>自然災害がこれからもっと増加することが予想されている。防災を目的に地域で共助の体制を強化できるよう、住んでいる地域の特徴(地形、高齢者が多い等住民の傾向、災害別の起こりうる特徴等)を踏まえた防災の出前研修を開いて欲しい。</p> <p>◆(60～69歳 女性 東部)</p>

<p>若者が楽しめる場所、働き口をもっと増やしてほしい。企業の誘致。</p> <p>◆(40～49歳 男性 中部)</p>
<p>女性として生きていく中で就職先の少なさ、給料の違いを感じる人が多いです。</p> <p>◆(30～39歳 女性 中部)</p>
<p>東京に上京して半年がたち、改めて地元に戻ると何もかもが温かく感じる。鳥取には何もないとよく言われるが自然もあり、最低限の暮らしは出来る。そんな鳥取らしさを活かした政策も行ってください。応援します。学力向上の為学生にはお金を使ってあげてください。</p> <p>◆(18～19歳 男性 中部)</p>
<p>県民が少ないから、色んな政策が、スピーディーに、進める県民だと、期待が高いです、行政、県民一体となり、頑張りましょう、素敵な鳥取県。</p> <p>◆(60～69歳 男性 中部)</p>

鳥取県の政策に関する「県民意識調査」に ご協力をお願いします

県では、都会にはない鳥取県の強みを活かし、県民の皆さんとともに様々な地方創生の取り組みを進めています。

これからも、県民の皆さんが住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けていただけるよう、現在の状況などについて、あなたの率直なご意見をお伺いし、今後の県政に活かしていきたいと思えます。

ついては、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答いただきますようよろしくお願いいたします。

令和3年7月30日

- この調査は鳥取県が行う「鳥取県の政策に関する県民意識調査」（今年で6回目）です。
- この調査は、本調査票にご記入のうえ郵送いただくか、パソコンやスマートフォンでインターネットを通じて回答いただくことも可能です。

インターネットによる回答方法については、調査票の裏面をご覧ください。

- 調査をお願いする方の選定にあたりましては、県内在住の18歳以上の方から3,000人を各市町村の住民基本台帳より無作為に抽出させていただきました。
- 調査票は無記名になっていますので、お名前を記入していただく必要はありません。
- ご回答いただいた内容は、無記名のまま統計的に集計・分析するため、個人が特定されたり、個々の回答内容が公表されることはありません。
- 調査票は、封筒のあて名の方ご本人がお答えください。ただし、ご本人の回答が難しい場合は、ご家族の方など代わりの方（18歳以上）がお答えいただいても構いません。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信封筒に入れて **令和3年8月19日（木）まで** に郵便ポストに投函（切手不要）してください。
- この調査についてご不明な点がありましたら、問合せ先までご連絡ください。

【問合せ先】

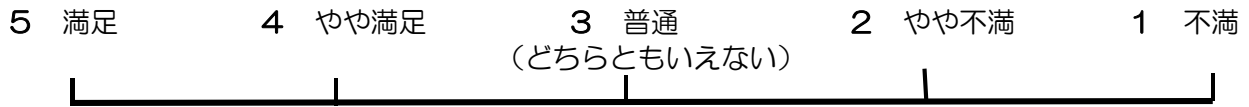
鳥取県地域づくり推進部県民参画協働課
〒680-8570 鳥取市東町一丁目220
電話:0857-26-7848
ファクシミリ:0857-26-8112
電子メール:kenminsankaku@pref.tottori.lg.jp



Ⅱ 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

【問6】鳥取県が実施している施策等について、あなたの満足度をお聞きしますので、【評価の基準】を参考にそれぞれ5段階で回答をお願いします（各項目の1～5のいずれかの数字に○をしてください。）
また、テーマごとに今後の優先度（重要度）が高いと思われる施策等について3つずつお選びください。

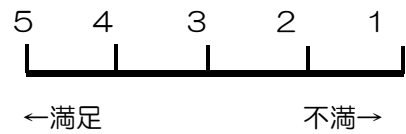
【評価の基準】



1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

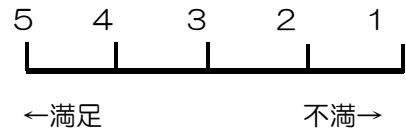
① **豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組**

（地域資源を活かした周遊観光、自転車、エコツアー、キャンプなどのアウトドアツーリズムの推進、農山漁村生活体験等の体験型観光・旅行の推進など）



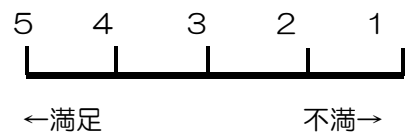
② **外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり**

（多言語化やキャッシュレス決済等の受入体制整備、国際観光交流人口の増加、SNS などオンラインツールによる誘客など）



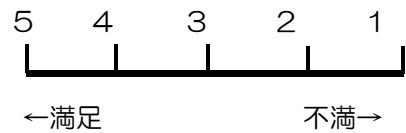
③ **スポーツによる交流促進を進める取組**

（大規模スポーツ大会・国際大会のキャンプ誘致やホストタウン交流の推進、障がい者スポーツや生涯スポーツ推進など）



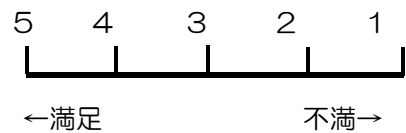
④ **農業の活力増進に関する取組**

（鳥取和牛や星空舞(注1)などの県開発種の導入促進、6次産業化(注2)など農業ビジネス創出、ICT(注3)を活用した機械化・省力化など）



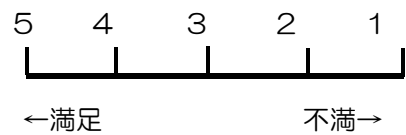
⑤ **農林水産・畜産の若き担い手育成への取組**

（産地自らが行う後継者育成等への支援、高校でのより実践的な職業教育の推進など）



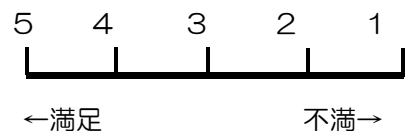
⑥ **地球規模での環境課題への対応**

（脱プラスチック（マイカップ・マイボトル運動等）、食品ロス削減、省エネ住宅の普及啓発促進、脱炭素社会の実現に向けた省エネ・再エネ推進など）



⑦ **海洋・森林等の環境保全と利活用の推進**

（森林体験・保全活動、野外保育・自然体験活動の取組推進、環境保全に関する条例制定など）



上記の施策等のうち、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思うものを3つ選んで番号を記入ください。

【 】【 】【 】

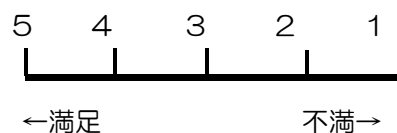
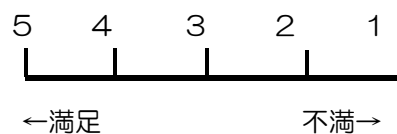
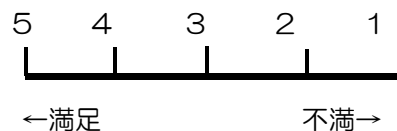
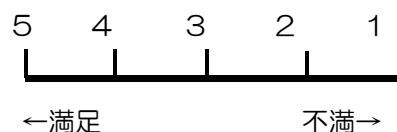
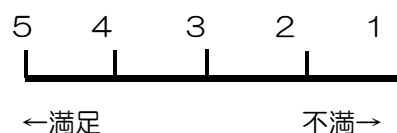
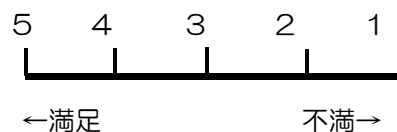
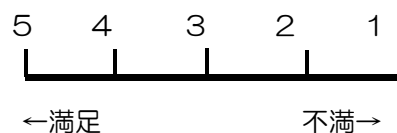
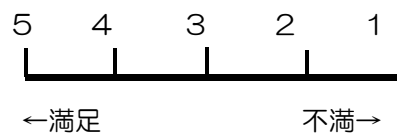
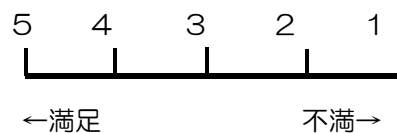
注1：星空舞（ほしぞらまい）は鳥取県が開発した米の新品種

注2：農林漁業者自らが、生産から加工・製造、流通・販売までを主体的に取り組むことにより、新たな付加価値を生み出す取組のこと。

注3：ICT：「Information and Communication Technology」の略語で、「情報通信技術」のこと。

2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

- ① **結婚・出産・子育ての希望を叶える取組**
 出会いの機会の充実、不妊治療や子育て世帯の経済的負担の軽減、保育所等の体制整備や放課後児童クラブ等の充実など
- ② **地域で子育て世代を支える取組**
 医療ケア児の受け入れ支援の充実、子どもの貧困対策の推進、不登校等の相談支援、男性の家事・育児参加の促進など
- ③ **未来を拓く人づくりの取組**
 グローバル化に対応した英語教育の推進、主体的に学習する児童生徒の育成、プログラミング的思考(注4)や情報活用能力の育成など
- ④ **地域を支える人財育成の取組**
 郷土愛を育むふるさとキャリア教育、地域の自然、歴史、文化等から学ぶ体験活動など
- ⑤ **女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくりを進める取組**
 人権教育の推進、NPO(注5)や地域活動の推進、あいサポート運動(注6)の普及、障がい者の職場定着支援、外国人材の就労支援など
- ⑥ **絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組**
 地域運営組織づくりの支援、買い物支援や見守り活動等生活サービスの確保、共助交通など生活交通の再構築など
- ⑦ **健康寿命の延伸**
 健康マイレージ事業(注7)、がん検診受診率の向上、とっとり方式認知症予防プログラムの普及など
- ⑧ **感染症に強い地域づくり**
 新型コロナウイルス等の新たな感染症に対応できる医療提供体制の充実、医療機関や社会福祉施設等による感染症拡大防止・予防対策支援、県民への予防・啓発の推進など
- ⑨ **鳥取ならではの防災文化づくり**
 住民や地域が主体的に避難行動を起こす防災文化の定着、市町村と連携した避難体制の整備、鳥取らしい支え愛活動推進など



上記の施策等のうち、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)と思うものを3つ選んで番号を記入ください。

【 】【 】【 】

注4：自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組合せをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく。

注5：NPO法人(特定非営利活動法人)

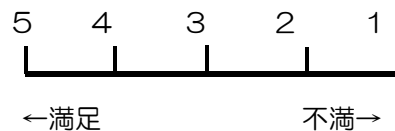
注6：県民が、多様な障がいの特性の理解に努め、障がいのある者に温かく接するとともに、障がいのある者が困っているときに「ちょっとした手助け」を行うことにより共生社会を目指す運動をいう。

注7：指定の健康づくり関連事業(健康診断、健康づくり講演会、スポーツ教室など)に参加した場合にポイントを付与し、一定のポイントがたまったら、景品等のインセンティブを付与する制度。

3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

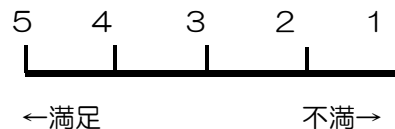
① **移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組**

地元企業と若者の交流促進、県内就職への支援、移住希望者等の都市部人材同士のネットワーク形成、各種メディアによる継続的な情報発信など



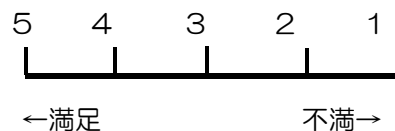
② **関係人口の拡大を進める取組**

企業等と連携した情報発信、ワーケーション(注8)等の推進による都市部在住者の受入促進、農村体験・農泊促進など



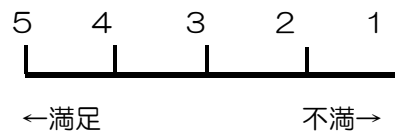
③ **次世代産業の成長による県経済の持続的発展と商圏拡大をめざす取組**

先端技術の開発・導入支援、新ビジネスの創出支援、オンラインによる販路拡大の推進、海外需要獲得推進など



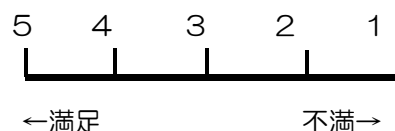
④ **戦略的な産業人材の育成・確保**

学術機関と連携した課題解決型教育推進、職業訓練の充実、様々な媒体を活用した県内企業情報発信、デジタル化など企業課題に応じた人材育成支援など



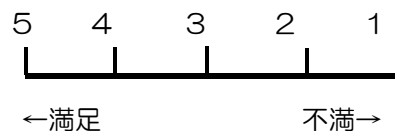
⑤ **自らの能力を発揮できる働き方の実現をめざす取組**

女性の就業・起業支援、イクボス・ファミボス(注9)の普及、副業・兼業・テレワーク(注10)促進支援、高齢者の就業支援など



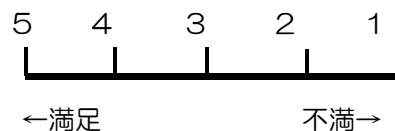
⑥ **暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組**

空き家の利活用、ひきこもり・DV問題に関する啓発、市町村における犯罪被害者支援条例の制定促進、防犯・交通安全対策の推進など



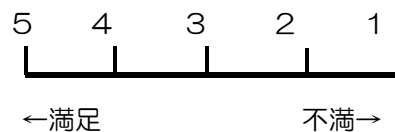
⑦ **アート・文化による地域づくりへの取組**

ICTを活用した文化芸術の場の提供、県立美術館による拠点づくり、まんが・伝統芸能等の文化資源や歴史・文化遺産の活用など



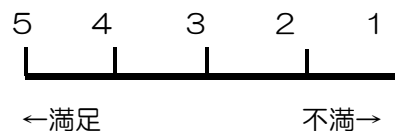
⑧ **強靱な防災基盤の構築に向けた取組**

ハザードマップ(注11)作成等による防災減災対策、原子力防災体制整備、新技術によるインフラ維持・人材の育成など



⑨ **持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組**

超高速情報通信基盤整備の推進、空港・駅の利便性向上・賑わい創出、ICTを活用した自治体業務の効率化など



上記の施策等のうち、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)と思うものを3つ選んで番号を記入ください。

【 】【 】【 】

注8 : 「ワーク(仕事)」と「ワーケーション(休暇)」から作られた造語。普段働いている職場を離れて、リゾート地などで休暇を取りながら遠隔勤務を行うこと。

注9 : 育児はもちろん、介護しながら働き続けられる職場環境づくりを実践する家族志向のリーダーのこと。

注10 : 情報通信技術を活用した時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方のこと(在宅勤務、サテライトオフィス勤務等)。

注11 : 防災を目的に、災害に遭う地域を予測し表示した地図。災害危険予測地図。

4 男女共同参画社会づくり

【問7】男女に関する役割などについてお聞きします。次の項目（設問）についてどう思われますか。

1～8の設問ごとに表中の「選択」の中から1つ選んで○を記入してください。

設 問	選 択				
	そう 思う	どちらかと言 えばそう思う	どちらかと言え ばそう思わない	そう思 わない	分ら ない
1 現実として家事が女性の役割となっていると思う					
2 現実として子育てが女性の役割となっていると思う					
3 現実として介護が女性の役割となっていると思う					
4 学校教育の場において男女差は無いと思う					
5 就職の機会に男女差は無いと思う					
6 就労環境、待遇に男女差は無いと思う					
7 社会的立場や地位は男女とも平等だと思う					
8 性別に関係なく個人が輝ける社会になっていると思う					

【問8】男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思えますか。該当する数字に○をしてください。（○は3つまで）

- 1 男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成
- 2 男性の家庭での活躍を促す、経営者・従業員に向けた職場における意識啓発
- 3 ワーク・ライフ・バランス(注1 2)を実現できる労働環境整備への支援
- 4 家族間での家事・育児の分担を見直すような普及啓発（研修会の開催、家事分担手帳の配布等）
- 5 男性が参加しやすい家事・育児・介護の手法研修（講習）会の開催
- 6 家事・育児・介護に積極的に参画している男性の事例、男性の家庭参画によるメリット等の発信
- 7 性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発
- 8 その他（下記に具体的にお書きください）

（

）

【問9】男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思えますか。

該当する数字に○をしてください。

（○は3つまで）

- 1 固定的性別役割分担意識(注1 3)の解消など男女平等の視点に立った教育や学習機会等の充実
- 2 男女共同参画に関する相談の場の拡充及び周知
- 3 就労における男女の機会均等や働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援
- 4 保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実
- 5 長時間労働の縮減やテレワーク制度の普及など、男女ともに働き方の見直しの啓発
- 6 子育てや介護等で離職した人の再就職支援
- 7 県の審議会委員や管理職など、政策決定の場への女性の積極的な登用
- 8 民間企業・団体などにおいて管理職への女性の登用が進むような取組支援
- 9 女性に対する暴力を根絶するための取組推進
- 10 その他（下記に具体的にお書きください）

（

）

注1 2：ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは、だれもが、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など、さまざまな活動を自分の希望するバランスで実現できる状態のこと。

注1 3：「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」というような性別に基づく固定的な役割分担意識のこと。

Ⅲ 重点施策への関心・認識

(ソサエティ)

<「鳥取県情報技術活用推進計画～Society5.0 推進計画～」に基づく取組について>

【問14】 鳥取県は、最先端の情報通信技術やデータの積極的な利活用を通じて県民が豊かさを実感できる鳥取県版 Society5.0 の実現を目指す「鳥取県情報技術活用推進計画～Society5.0 推進計画～」を令和3年4月に策定し、各分野において様々な取組を推進するとしたところです。

それぞれの取組について、あなたの関心度をお聞きしますので、【評価の基準】を参考に、それぞれ5段階で回答をお願いします（各項目の1～5のいずれかの数字に○をしてください）。

【評価の基準】

5 かなり関心がある 4 少し関心がある 3 普通 2 あまり関心がない 1 全く関心がない

※「鳥取県情報技術活用推進計画」は、県ホームページ（<https://www.pref.tottori.lg.jp/296892.htm>）に掲載しています。

1 農林水産分野

農林水産分野においては、「農林水産物の品質、生産量の向上」、「作業の省力化、コスト削減の推進」、「熟練の技術、ノウハウの伝承」を目指します。

このための取組例（①・②）について、表中の「選択」の中から1つずつ選んで○を記入してください。

想定される取組例	選 択				
	かなり関心がある	少し関心がある	普通	あまり関心がない	全く関心がない
① IoTセンサー(注16)等を用いた効率的な情報収集や情報分析によるデータの活用 （次年度栽培計画へ食味・収量センサーが付いたコンバインの取得データを活用、森林施業プランニングへ航空レーザ計測結果を活用、海の天気予報へ高頻度・広範囲海況データを活用）					
② 自動操舵システム(注17)、ドローン(注18)等を活用した作業の省力化及びリモコン式自走草刈機、アシストスーツ(注19)等を活用した作業の負荷軽減					

2 産業振興・働き方分野

産業振興・働き方分野においては、「業務効率化や付加価値向上等による県内産業の成長」、「新たな需要を獲得する新たなビジネスモデル創出」、「柔軟な働き方の実現」、「デジタル専門人材の育成」を目指します。

このための取組例（①～⑤）について、表中の「選択」の中から1つずつ選んで○を記入してください。

想定される取組例	選 択				
	かなり関心がある	少し関心がある	普通	あまり関心がない	全く関心がない
① 小規模事業者を含む県内企業のデジタル実装の加速化 （小規模事業者等のデジタル化の取組モデルの創出及び類型化による生産性の向上、経営者向けセミナー・実務者向け講座を通じたAI(注20)・IoT(注21)等の導入による県内企業の実装性の向上）					
② 最先端技術活用による革新的実装モデルの創出 （AI、IoT、5G(注22)、ロボティクス(注23)等の先端ICTを活用した実装モデルの創出）					
③ 専門家の伴走支援によるテレワークの導入促進					
④ 企業、大学、行政等の連携による体系的なDX人材(注24)の育成					
⑤ 「とっとりDXラボ」創設 （商工団体、産業支援機関等との連携による県内企業の実装性及び人材育成等の推進体制の強化）					

3 観光・文化振興

観光・文化振興分野においては、「国内外からの観光客の増加、観光地の魅力向上」、「文化・芸術を体験・鑑賞できる新たな環境の実現の育成」を目指します。

このための取組例（①～④）について、表中の「選択」の中から1つずつ選んで○を記入してください。

想定される取組例	選 択				
	かなり関 心がある	少し関 心 がある	普通	あまり関 心がない	全く関 心 がない
①ビッグデータ(注 25)等を活用した需要予測など、効率的な観光戦略の立案					
②AR(注 26)、VR(注 27)等を活用した新たなサービスの提供					
③SNS等を用いた多様で魅力ある情報発信の強化					
④動画配信サービス等を活用したイベント等の遠隔での体験・鑑賞の推進					

4 医療・福祉・健康

医療・福祉・健康分野においては、「自宅等からサービスが受けられる環境の実現」、「従事者の負担軽減とサービスの質の維持・向上」、「安心して子育てできる環境の実現」、「健康寿命の延伸」を目指します。

このための取組例（①～⑥）について、表中の「選択」の中から1つずつ選んで○を記入してください。

想定される取組例	選 択				
	かなり関 心がある	少し関 心 がある	普通	あまり関 心がない	全く関 心 がない
①オンライン技術を活用した遠隔医療等の環境整備					
②IoTセンサー等を活用した高齢者等の見守りの効率化・省力化					
③オンライン技術を活用した健康教育、アプリやウェアラブル端末(注 28)等を活用した健康系イベントや自己管理の推進					
④アプリ等を活用した子育てに役立つ情報の提供やオンライン相談等の推進					
⑤アプリ等を活用した自宅での認知症予防、フレイル(注 29)対策の推進					
⑥医療・介護従事者の業務日誌・カルテの電子化・共有化の推進					

注16：IoTセンサー：ネットワークに接続して情報を収集・管理するセンサー。

注17：自動操舵システム：ハンドルを自動制御し、設定された経路を自動走行するシステム。

注18：ドローン：小型無人飛行機。

注19：アシストスーツ：人の動作や姿勢を補助する装置。

注20：AI：人工知能。

注21：IoT：様々なものがインターネットにつながること。

注22：5G：第5世代移動通信システム（「超高速」だけでなく「多数接続」や「超低遅延」といった新たな特徴をもつ移動系高速通信規格）。

注23：ロボティクス：ロボット（人の代わりに作業を行う装置）に関する学問や研究。

注24：DX人材：デジタル技術やデータ活用などに精通した人材又はDX（デジタルを利用した変革）の取組を主体的に行う人材のこと。

注25：ビッグデータ：スマートフォン等を通じた位置情報や消費行動等に関する情報や、小型化したセンサー等から得られる膨大なデータ。

注26：AR：実在する風景に特定の情報を重ねて表示する技術。

注27：VR：仮想的な世界をあたかも現実のように体験できる技術。

注28：ウェアラブル端末：腕や頭部などの身体に装着して利用するICT 端末。

注29：フレイル：加齢とともに心身の働きや社会的なつながりが弱くなった状態のこと。

5 暮らし

暮らし分野においては、「住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境の実現」、「県内への移住・定住の促進」、「多様な関係人口の拡大による地域活性化の実現」、「脱炭素社会の実現」を目指します。

このための取組例（①～⑥）について、表中の「選択」の中から1つずつ選んで○を記入してください。

想定される取組例	選 択				
	かなり関 心がある	少し関 心 がある	普通	あまり関 心がない	全く関 心 がない
①コネクテッドカー(注30)を活用した地域出張型の新しい行政サービス（移動行政窓口等）の提供					
②情報通信技術により様々な交通手段を統合し、革新的な移動サービスを提供するMaaS(注31)の推進による県民の利便性の向上					
③SNS等を活用した魅力発信の強化					
④サテライトオフィス(注32)やワーケーション環境の整備					
⑤AI、IoTセンサー、ドローン等を活用した公共インフラの維持管理の効率化					
⑥IoT技術を活用した再生可能エネルギーの地域内における需給（地産地消）の推進					

6 防災・減災

防災・減災分野においては、「大規模災害への備え」、「感染症の大規模な感染拡大への備え」、「自助・共助・公助の連携強化」を目指します。

このための取組例（①～③）について、表中の「選択」の中から1つずつ選んで○を記入してください。

想定される取組例	選 択				
	かなり関 心がある	少し関 心 がある	普通	あまり関 心がない	全く関 心 がない
①衛星画像、IoTセンサーやドローン等を活用した自然災害時の迅速な状況把握と対応の強化					
②ICTを活用した災害時の情報収集・共有・発信の連携及び24時間対応の強化					
③避難場所データ、過去雨量データ等のオープンデータ(注33)の利活用による地域の防災・減災力の強化					

7 学校教育

学校教育分野においては、「子どもたち一人一人の教育的ニーズや学習状況に応じた学びの提供の実現」、「子どもたち一人一人の学習・生活状況の把握の深化」、「安心・安全なICT活用に向けた子どもの頃からの教育」を目指します。

このための取組例（①～④）について、表中の「選択」の中から1つずつ選んで○を記入してください。

想定される取組例	選 択				
	かなり関 心がある	少し関 心 がある	普通	あまり関 心がない	全く関 心 がない
①1人1台端末による個別最適な学びと協働的な学びが実現できる環境の整備					
②システム等の活用による子どもたち個々人の学習履歴や学習状況の的確な把握					
③研修等を通じた教員のICT活用指導力の向上（学校訪問型研修、学校の最高情報統括責任者研修等）					
④サイバー空間において被害者や加害者にならないための情報モラル教育等の推進					

注30：コネクテッドカー：インターネットへの常時接続機能を備えた自動車。

注31：MaaS：様々な交通手段を情報通信技術の活用により一つの統合されたサービスとしてとらえる概念、またはそのサービスそのもの。

注32：サテライトオフィス：企業又は団体の本拠から離れた場所に設置されたオフィス。

注33：オープンデータ：地方公共団体等が保有するデータのうち、誰もがインターネット等を通じて容易に利用できる形で公開されたデータ。

Ⅳ 回答者の情報

あなたの年代や性別などをお答えください。該当する項目に○印をお願いします。
なお、この情報はアンケート集計以外には利用いたしません。

【問15】年代

- | | | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|--------|---|--------|
| 1 | 18～19歳 | 2 | 20～29歳 | 3 | 30～39歳 | 4 | 40～49歳 |
| 5 | 50～59歳 | 6 | 60～69歳 | 7 | 70歳以上 | | |

【問16】性別

- 1 男性 2 女性 3 その他（回答したくない）

【問17】お住まいの住所

- | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|-----|----|-----|----|------|----|------|
| 1 | 鳥取市 | 2 | 米子市 | 3 | 倉吉市 | 4 | 境港市 | 5 | 岩美町 |
| 6 | 八頭町 | 7 | 若桜町 | 8 | 智頭町 | 9 | 湯梨浜町 | 10 | 三朝町 |
| 11 | 北栄町 | 12 | 琴浦町 | 13 | 南部町 | 14 | 伯耆町 | 15 | 日吉津村 |
| 16 | 大山町 | 17 | 日南町 | 18 | 日野町 | 19 | 江府町 | | |

【問18】職業

- | | | | | | |
|---|------------|---|--------------|---|-----------|
| 1 | 会社員（含 公務員） | 2 | 自営業（含 家族従業者） | 3 | パート・アルバイト |
| 4 | 学生 | 5 | 専業主婦・主夫 | 6 | 無職 |

V 自由記載欄

ご意見・ご要望があれば自由にお聞かせください。

以上で質問は終わりです。ご協力誠にありがとうございました

◆記入もれがないか再度ご確認ください。同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函（切手不要）してください。なお、本調査の結果は11月下旬に「とりネットホームページ」に掲載予定です。

◆既にパソコン・スマートフォンによりインターネット回答をされた方は、この調査票へのご記入や郵便ポストへの投函は不要です。

この調査票を使用されず、インターネット回答をされる方は、裏面の案内をご覧ください。

～パソコン、スマートフォンでインターネット回答をされる方へ～

インターネット回答のご案内

このページは、パソコン、スマートフォンでインターネット回答をされる方へのご案内を掲載しています。

調査票にご記入いただき郵便ポストに投函される方は、インターネット回答は不要です。

<インターネット回答の手順>

インターネット回答ページは、鳥取県版電子申請システム(とっとり電子申請サービス)に設けています。
8月19日(木)までに回答していただきますようお願いします。

(1) インターネットで回答される方は、次のいずれかの方法でインターネット回答ページにアクセスしてください。

①直接、次の URL を入力してアクセスする。

https://s-kantan.jp/pref-tottori-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=3387

②右のQRコードを読み込んでアクセスする。



(2) 回答ページ(はじめに)の「調査票番号」入力欄に、以下の**6けたの数字**を入力してください。
※重複回答防止のためのもので、これにより個人を特定することはありません。

(3) 設問に沿って回答してください。

(4) 回答が完了したら、「確認へ進む」ボタンをクリックし、内容を確認後に、「申込み」ボタンをクリックしてください。以上で回答の手続きは終了です。

～ご協力いただき誠にありがとうございました～

性別	I-1問1:鳥取県に対して義務や節制を感じているか			I-1問2:今暮らしている地域の住みやすさ			I-1問3:鳥取県の暮らしについて(③)地域の防災組織が整っている			
	感じている	少し感じて いる	感じていない	無回答	とても住み やすい	どちらかど うと住み にくい	どちらかど うともいえ ない	無回答	住みにくい	
全体(1644)	49.6	24.4	20.6	3.3	1.2	45.1	22.4	6.6	2.0	1.2
男性(978)	51.6	22.0	19.9	3.7	0.9	42.2	23.7	6.6	2.7	1.3
女性(666)	48.2	26.8	20.7	3.0	0.8	47.9	21.1	6.2	1.4	0.7
その他(20)	48.3	20.7	27.6	3.4	-	13.8	34.5	24.1	20.7	6.9
無回答(2)	17.2	47.4	24.1	3.4	-	13.8	34.5	31.0	6.9	13.8
18～19歳(31)	29.0	32.3	35.5	3.2	-	29.0	29.0	25.8	16.1	-
20～29歳(138)	43.0	24.7	24.1	5.7	1.9	24.7	39.2	24.1	8.9	1.9
30～39歳(221)	46.6	18.4	17.6	3.6	2.7	44.3	44.3	16.6	8.6	3.6
40～49歳(288)	53.8	16.8	20.5	5.6	0.7	24.3	42.0	22.9	9.0	0.7
50～59歳(271)	46.0	23.2	23.2	3.3	1.5	27.4	45.8	23.6	5.5	3.0
60～69歳(415)	52.5	23.9	19.5	1.7	1.2	21.0	50.4	21.0	4.8	1.4
70歳以上(245)	53.5	26.5	17.4	1.2	1.2	22.9	45.7	24.8	3.3	2.4
無回答(19)	13.3	40.0	26.7	6.7	-	40.0	38.3	13.3	-	13.3
18～19歳(13)	36.5	30.6	30.6	-	-	30.6	15.4	36.5	15.4	-
20～29歳(68)	43.3	23.2	26.1	4.3	2.9	24.6	33.3	29.0	11.6	1.4
30～39歳(88)	45.8	17.0	20.2	4.5	4.3	22.5	43.8	20.2	7.9	4.5
40～49歳(119)	56.2	16.3	19.3	0.6	0.6	28.0	35.0	28.2	10.9	4.5
50～59歳(93)	52.3	16.3	23.7	6.9	2.2	30.4	44.1	23.7	4.3	7.5
60～69歳(100)	52.1	20.1	15.8	2.6	2.2	23.9	49.1	23.6	2.4	1.5
70歳以上(115)	52.0	28.7	15.7	1.5	1.8	18.1	35.4	17.6	3.5	0.9
18～19歳(17)	32.5	36.3	35.3	5.0	4.8	24.4	34.3	17.9	6.0	-
20～29歳(83)	42.2	26.7	24.2	4.8	1.2	21.1	43.3	21.7	6.0	1.2
30～39歳(127)	46.5	30.7	15.1	3.1	1.6	26.3	44.6	17.3	6.7	2.4
40～49歳(156)	51.3	20.5	21.2	5.8	0.6	22.3	48.7	20.5	6.4	1.3
50～59歳(171)	45.6	26.9	23.4	2.3	1.2	21.6	48.0	22.8	6.4	0.6
60～69歳(228)	45.2	25.9	19.7	1.8	0.4	18.9	54.4	20.6	4.4	1.8
70歳以上(223)	56.1	23.6	18.7	-	-	26.0	43.1	23.6	4.1	1.6
18～19歳(7)	50.0	-	-	-	25.0	-	25.0	20.0	20.0	-
20～29歳(6)	40.0	40.0	20.0	-	-	40.0	20.0	20.0	20.0	-
30～39歳(5)	50.0	12.5	37.5	-	-	37.5	37.5	25.0	-	-
40～49歳(8)	60.0	20.0	20.0	-	-	40.0	20.0	40.0	-	-
50～59歳(4)	50.0	25.0	75.0	-	-	50.0	25.0	50.0	-	-
60～69歳(2)	50.0	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-
無回答(3)	18.2	39.4	24.2	6.1	12.1	12.1	33.3	33.3	9.1	12.1
年齢(65)	48.0	24.2	21.6	4.0	1.1	0.9	17.4	45.7	24.4	9.0
年齢(292)	50.7	21.6	22.9	2.7	1.7	0.3	22.9	42.1	26.4	4.5
51.6	25.4	16.0	3.0	1.2	0.9	28.4	45.8	16.6	5.0	1.0
21.1	36.8	31.6	-	-	10.5	-	42.1	31.6	45.8	10.5

性別	I-1問3:鳥取県の暮らしについて(①)豊かな自然環境に恵まれている			I-1問3:鳥取県の暮らしについて(②)住んでいる住民(職域)が整っている			I-1問3:鳥取県の暮らしについて(③)地域の防災組織が整っている			I-1問3:鳥取県の暮らしについて(④)生活するにあたって、公共交通機関が整っている			I-1問3:鳥取県の暮らしについて(⑤)地域の防災組織が整っている			
	そう思う	どちらとも 思えない	そう思わ ない	無回答	そう思わ ない	どちらとも 思えない	無回答	そう思わ ない	どちらとも 思えない	無回答	そう思わ ない	どちらとも 思えない	無回答	そう思わ ない	どちらとも 思えない	無回答
全体(1644)	89.2	6.9	1.1	0.8	57.5	37.2	4.6	0.7	49.0	32.2	53.0	0.9	33.0	59.1	14.8	1.1
男性(978)	89.7	8.4	1.2	0.7	59.3	36.9	4.9	0.6	48.2	31.9	53.6	0.8	33.7	58.6	17.8	0.7
女性(666)	88.7	5.9	1.0	0.7	55.0	38.9	5.1	0.8	49.8	33.9	52.4	0.9	31.6	56.1	12.4	1.2
その他(20)	79.3	20.7	3.4	6.9	32.9	55.2	6.2	0.7	41.0	45.7	54.4	0.9	31.0	51.9	17.2	0.8
無回答(1)	58.6	31.0	3.4	6.9	44.8	41.4	6.9	6.9	41.0	31.6	37.6	6.9	24.1	48.3	20.7	6.9
18～19歳(31)	83.9	16.1	1.9	6.7	62.7	29.0	3.2	1.1	41.9	48.4	41.3	32.3	51.6	16.1	-	-
20～29歳(158)	90.5	7.6	1.9	1.2	65.0	34.2	3.8	1.4	52.5	37.3	50.1	2.2	30.1	62.4	18.3	1.1
30～39歳(231)	87.3	10.4	1.8	0.5	51.1	42.5	6.3	0.3	44.8	44.8	40.0	0.5	21.7	60.2	17.2	0.9
40～49歳(288)	92.4	6.6	0.3	0.7	54.9	38.9	5.9	0.3	52.1	38.9	50.1	0.5	21.9	61.5	16.3	0.3
50～59歳(271)	93.0	5.5	0.7	0.7	59.0	36.3	4.4	0.7	48.7	43.9	53.9	1.5	20.7	66.1	12.2	1.1
60～69歳(415)	88.7	9.2	1.7	0.5	52.3	38.1	3.9	0.7	49.4	40.7	48.9	1.0	20.8	59.0	14.7	1.0
70歳以上(245)	86.5	11.4	0.4	1.6	62.0	33.1	3.3	1.3	46.0	40.8	41.6	2.0	33.5	49.4	14.7	2.4
無回答(15)	46.7	40.0	13.3	13.3	33.3	46.7	6.7	13.3	26.7	33.3	26.7	13.3	6.7	40.0	33.3	13.3
18～19歳(13)	84.6	15.4	-	-	75.9	23.1	-	-	61.5	38.5	-	-	30.8	46.2	15.4	-
20～29歳(68)	92.8	4.3	2.9	-	66.7	31.9	1.4	-	55.1	39.1	5.8	-	34.8	56.5	8.7	-
30～39歳(88)	84.3	12.4	3.4	-	53.9	38.2	7.9	-	47.2	39.3	13.5	-	14.6	62.9	20.2	-
40～49歳(119)	93.3	5.0	0.4	-	55.9	39.8	3.2	-	51.3	39.5	9.2	-	6.7	23.5	68.9	-
50～59歳(100)	92.5	6.5	1.1	-	55.9	39.8	4.4	-	55.9	37.6	4.3	-	9.7	30.1	62.4	-
60～69歳(180)	89.4	9.4	1.1	-	55.6	40.0	4.4	-	51.1	38.3	10.0	-	15.0	52.2	20.0	-
70歳以上(17)	86.2	11.8	0.9	1.7	58.3	36.5	3.5	1.7	47.0	43.5	8.7	-	26.1	52.2	16.1	-
18～19歳(17)	89.2	9.6	1.2	-	64.7	29.4	5.9	-	29.4	52.9	17.6	-	23.5	56.8	17.6	-
20～29歳(83)	89.8	8.7	0.8	-	57.8	36.1	6.0	-	51.8	34.9	13.3	-	22.9	62.7	14.5	-
30～39歳(127)	90.8	6.7	0.6	-	49.6	44.9	5.5	-	43.3	48.0	7.9	-	31.3	56.6	15.0	-
40～49歳(166)	92.9	5.4	0.6	-	58.3	37.2	4.5	-	53.8	38.5	7.7	-	23.1	64.7	12.2	-
50～59歳(171)	93.6	5.3	0.6	-	60.2	33.9	5.3	-	60.2	43.9	48.0	-	11.1	31.6	56.7	-
60～69歳(228)	88.6	8.3	2.2	0.9	59.2	36.4	3.1	-	49.1	41.7	8.3	-	16.7	34.6	60.5	-
70歳以上(223)	87.0	11.4	-	1.6	66.7	30.1	1.6	-	50.4	39.8	8.1	-	33.3	38.2	3.3	-
18～19歳(7)	75.0	25.0	-	-	50.0	50.0	-	-	50.0	25.0	-	-	25.0	25.0	-	-
20～29歳(6)	80.0	20.0	-	-	40.0	60.0	-	-	40.0	60.0	-	-	20.0	40.0	20.0	-
30～39歳(5)	75.0	25.0	-	-	12.5	87.5	-	-	25.0	50.0	25.0	-	37.5	62.5	37.5	-
40～49歳(8)	100.0	-	-	-	80.0	20.0	-	-	80.0	20.0	-	-	40.0	60.0	-	-
50～59歳(4)	50.0	50.0	-	-	25.0	50.0	25.0	-	50.0	50.0	-	-	25.0	25.0	25.0	-
60～69歳(2)	100.0	-	-	-	50.0	50.0	-	-	50.0	50.0	-	-	100.0	-	-	-
無回答(3)	60.6	30.3	3.0	6.1	45.5	42.4	6.1	6.1	42.4	30.3	16.2	9.1	24.2	27.3	45.5	24.2
東部(66)	89.0	8.8	1.4	0.8	55.3	36.3	3.6	0.8	49.2	40.4	9.6	0.8	13.1	29.6	56.7	0.6
中部(292)	92.8	6.2	0.7	0.3	60.6	36.3	2.7	0.3	54.5	38.4	3.4	0.7	10.3	35.6	53.8	0.3
西部(677)	88.5	9.7	1.0	0.7	58.6	36.5	4.3	0.6	47.3	43.1	9.0	0.6	16.8	32.9	49.3	0.9
無回答(19)	68.4	21.1	-	-	10.5	42.1	-	-	10.5	42.1	15.8	-	42.1	15.8	63.2	-

性 別	II-10. SDGsをどうやって知ったか (いくつでも)				II-11. SDGsをどうやって知ったか (いくつでも)					
	聞いたことがある	聞いたことがない	無回答	その他	家族や友人・知人から聞いた	SNS	仕事・学校で聞いた	無回答		
全体(1644)	729	260	47.7	77.9	28.4	18.1	8.3	6.6	3.3	1.6
男性(718)	745	251	51.1	76.0	36.8	20.4	10.1	3.6	4.2	1.0
女性(926)	730	260	45.2	79.2	22.3	16.7	6.8	8.6	2.6	2.0
その他(29)	621	37.9	38.9	77.8	33.3	11.1	22.2	11.1	22.2	5.6
無回答(29)	44.8	37.9	17.2	53.8	84.6	7.7	15.4	-	7.7	-
18~19歳(11)	742	25.8	13.0	60.9	34.8	69.6	34.8	-	4.3	-
20~29歳(158)	77.2	22.2	0.6	25.4	74.6	31.1	18.0	6.6	1.6	0.8
30~39歳(221)	76.5	23.1	0.5	30.8	77.7	40.2	23.1	19.5	5.3	2.4
40~49歳(288)	77.1	22.9	-	42.3	78.9	30.6	20.7	5.4	8.6	2.7
50~59歳(271)	77.5	21.8	0.7	50.5	74.8	29.0	22.4	5.2	5.7	4.3
60~69歳(415)	72.8	26.3	1.0	61.3	80.1	22.2	8.9	1.3	5.0	3.0
70歳以上(245)	59.2	39.2	1.6	67.6	82.1	17.9	2.8	5.5	8.3	1.4
無回答(15)	40.0	26.7	33.3	50.0	83.3	-	-	33.3	16.7	0.7
18~19歳(13)	69.2	30.8	-	11.1	33.3	33.3	77.8	44.4	-	-
20~29歳(39)	76.8	23.2	-	26.4	77.4	37.7	28.3	24.5	1.9	3.8
30~39歳(39)	76.4	23.6	-	27.9	76.5	51.5	30.9	20.6	6.2	4.1
40~49歳(119)	81.5	18.5	-	52.6	77.3	38.1	23.7	8.2	6.2	1.5
50~59歳(13)	79.6	19.4	1.1	50.0	73.0	35.1	24.3	8.1	2.7	5.4
60~69歳(180)	75.6	23.9	1.6	64.0	75.7	33.8	12.5	2.2	4.4	2.2
70歳以上(115)	59.1	40.0	0.9	72.1	82.4	27.9	2.9	5.9	4.4	2.9
18~19歳(17)	76.5	23.5	-	15.4	84.6	35.5	61.5	30.8	-	-
20~29歳(33)	78.3	20.5	1.2	24.6	70.8	32.3	35.4	9.2	9.2	1.5
30~39歳(127)	77.2	22.0	0.6	31.6	80.6	32.7	18.4	19.4	9.2	7.1
40~49歳(156)	75.0	25.0	-	32.5	78.6	23.9	18.8	2.6	11.1	1.7
50~59歳(171)	77.2	22.2	0.6	51.5	75.8	25.8	22.0	3.8	6.8	3.8
60~69歳(228)	71.1	27.6	1.3	58.6	83.3	13.0	6.2	6.8	1.9	1.9
70歳以上(123)	60.2	37.4	2.4	64.9	81.1	9.5	1.4	5.4	12.2	1.4
18~19歳(0)	-	-	-	25.0	100.0	50.0	-	25.0	25.0	-
20~29歳(4)	100.0	40.0	-	66.7	66.7	33.3	-	33.3	-	-
30~39歳(5)	62.5	37.5	-	40.0	60.0	40.0	20.0	-	-	-
40~49歳(3)	60.0	40.0	-	66.7	33.3	-	-	33.3	-	-
50~59歳(5)	50.0	50.0	-	100.0	100.0	-	-	50.0	50.0	-
60~69歳(4)	50.0	50.0	-	100.0	100.0	-	-	100.0	100.0	-
70歳以上(2)	無回答(33)	45.5	39.4	15.2	60.0	86.7	6.7	20.0	6.7	6.7
東部(67)	72.3	26.8	1.1	48.6	75.3	26.1	20.9	7.0	6.3	3.4
中部(37)	65.3	33.2	1.0	47.9	72.4	27.6	19.3	8.9	6.3	3.6
西部(77)	77.4	22.3	0.3	46.9	82.3	26.8	15.5	9.4	6.7	2.6
無回答(19)	52.8	21.1	26.3	40.0	80.0	10.0	10.0	10.0	10.0	1.1

性 別	II-12. SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心があるか (いくつでも)				II-13. SDGsの8つの優先課題のうち、「2031年の鳥取県」に向けて、行政が特に力を入れるべき課題 (いくつでも)										
	生物多様性 の喪失 の防止	気候変動 の緩和 と適応	海洋資源 の持続可能な 開発	陸域生態系 の持続可能な 開発	気候変動 の緩和 と適応	海洋資源 の持続可能な 開発	陸域生態系 の持続可能な 開発	気候変動 の緩和 と適応							
全体(1644)	35.6	28.7	22.7	30.6	42.5	53.2	10.8	3.4	32.6	27.9	38.1	42.2	12.2	3.1	
男性(718)	28.2	29.2	27.9	37.5	41.6	45.0	10.3	3.8	28.2	28.0	38.9	39.5	47.2	36.6	10.5
女性(926)	40.1	28.5	19.2	26.1	53.2	55.2	11.6	2.6	34.9	27.5	31.4	28.7	48.5	38.3	45.6
その他(29)	65.5	20.7	27.6	41.4	55.2	55.2	3.4	20.7	58.8	20.1	27.6	27.6	41.4	44.8	55.2
無回答(29)	21.0	35.8	18.3	26.6	26.6	26.6	4.8	3.2	32.9	32.9	32.9	32.9	32.9	32.9	32.9
18~19歳(11)	42.4	30.4	22.2	26.6	43.0	35.4	5.0	8.2	38.0	26.6	41.3	38.0	35.4	29.7	38.0
20~29歳(153)	42.5	21.7	24.4	30.3	51.1	46.2	43.3	11.8	43.9	24.4	41.3	30.8	45.7	45.7	38.0
30~39歳(221)	34.7	27.8	22.2	33.3	50.3	49.0	56.9	12.8	1.4	32.6	25.7	35.4	36.5	44.8	40.6
40~49歳(288)	34.7	27.8	22.2	33.3	50.3	49.0	56.9	12.8	1.4	32.6	25.7	35.4	36.5	44.8	40.6
50~59歳(271)	34.7	27.8	22.2	33.3	50.3	49.0	56.9	12.8	1.4	32.6	25.7	35.4	36.5	44.8	40.6
60~69歳(415)	34.9	33.0	22.9	33.3	60.0	48.0	56.4	11.3	3.9	30.1	30.8	31.5	36.4	43.9	47.5
70歳以上(245)	25.7	35.5	24.1	30.6	60.0	50.6	11.4	6.5	24.1	33.5	28.6	30.2	56.3	35.1	43.3
無回答(15)	28.7	13.3	20.0	33.3	13.3	40.0	13.3	33.3	40.0	20.0	20.0	13.3	48.7	13.3	48.7
18~19歳(13)	41.2	23.1	30.8	34.4	30.8	30.8	30.8	30.8	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4	13.4
20~29歳(39)	30.3	18.0	28.1	38.0	52.8	38.2	44.9	10.1	37.3	21.3	42.7	38.3	46.1	39.3	35.0
30~39歳(39)	27.7	25.1	28.6	40.3	46.2	48.7	12.6	2.5	27.7	26.9	37.8	44.5	43.7	38.7	35.3
40~49歳(119)	23.7	23.7	35.5	48.4	35.5	48.4	41.9	3.2	41.9	32.3	34.4	37.6	32.3	30.1	4.3
50~59歳(13)	30.6	36.7	26.1	43.3	46.7	43.0	10.0	4.4	27.8	31.7	40.6	52.2	43.3	41.1	10.0
60~69歳(180)	22.6	33.9	30.4	33.3	67.8	39.1	11.3	5.2	21.7	34.8	35.7	37.4	58.3	31.3	34.8
70歳以上(115)	64.7	23.5	17.6	29.4	11.8	41.2	17.6	5.9	47.1	17.6	17.6	17.6	29.4	23.5	35.3
18~19歳(17)	49.4	31.3	15.7	20.5	39.6	30.1	55.4	1.2	38.8	35.7	36.1	36.1	32.5	30.1	39.8
20~29歳(38)	37.4	23.8	17.3	28.0	46.0	46.0	46.0	46.0	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
30~39歳(127)	37.4	23.8	17.3	28.0	46.0	46.0	46.0	46.0	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
40~49歳(156)	39.2	23.4	19.9	25.1	53.8	39.8	59.6	9.4	1.8	32.7	24.0	25.1	49.1	33.9	45.0
50~59歳(171)	38.6	30.7	19.7	25.9	58.3	48.7	65.8	12.7	3.1	32.0	30.3	33.3	33.3	33.3	33.3
60~69歳(228)	27.6	35.8	19.5	30.1	56.9	34.1	55.3	12.2	6.1	25.2	30.1	23.6	25.2	30.0	49.6
70歳以上(123)	18~19歳(0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20~29歳(4)	100.0	-	25.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	75.0	25.0	25.0	50.0	50.0	25.0	-
30~39歳(5)	60.0	40.0	40.0	40.0	40.0	80.0	20.0	-	40.0	40.0	40.0	40.0	60.0	60.0	40.0
40~49歳(3)	62.5	25.0	12.5	25.0	75.0	60.0	20.0	-	75.0	25.0	25.0	25.0	60.0	37.5	12.5
50~59歳(5)	25.0	25.0	25.0	60.0	60.0	60.0	60.0	-	40.0	20.0	20.0	20.0	60.0	100.0	20.0
60~69歳(4)	25.0	25.0	25.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	25.0	25.0	50.0	50.0	50.0	50.0
70歳以上(2)	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
無回答(33)	36.4	30.3	12.1	15.2	30.3	27.3	48.5	9.1	18.2	39.4	38.4	15.2	45.5	24.2	66.7
東部(67)	34.8	27.7	22.1	31.6	54.4	43.3	54.6	11.3	3.5	33.4	26.7	36.0	34.3	50.8	37.3
中部(37)	34.2	28.4	23.3	26.4	51.7	39.0	55.8	9.9	4.8	32.9	29.8	30.1	30.5	42.8	38.0
西部(77)	35.9	30.4	23.5	31.9	53.6	43.9	51.4	10.9	2.1	31.6	28.7	34.4	47.2	39.4	42.7
無回答(19)	36.8	5.3	5.3	15.8	36.8	21.1	31.6	-	26.3	10.5	15.8	15.8	36.8	15.8	36.8

性・年代別	Ⅲ-間14-Ⅰ 農林水産分野：①ITセンサー等を用いた効率的な情報収集や情報分 析によるデータの活用				Ⅲ-間14-Ⅱ 農林水産分野：②自動操舵システム、ドローン等を活用した作業の省力 化及びリモート操縦システム等を活用した作業の負担軽減					
	かなり関心が ある	少し関心が ある	普通	あまり関心が ない	かなり関心が ある	少し関心が ある	普通	あまり関心が ない	無回答	
全体(1644)	9.7	25.6	32.7	21.7	7.4	2.8	33.9	26.1	5.9	2.9
性別										
男性(878)	13.4	28.6	30.5	19.2	7.1	1.2	20.9	35.8	23.7	1.3
女性(698)	7.3	23.1	34.9	23.8	7.7	3.2	12.8	32.8	27.9	3.2
その他(29)	6.9	41.4	13.8	20.7	13.8	3.4	10.3	34.5	24.1	10.3
無回答(29)	3.4	17.2	34.5	17.2	-	27.6	10.3	20.7	27.6	13.8
18～19歳(31)	12.9	22.6	29.0	12.9	22.6	-	16.1	22.6	32.3	6.5
20～29歳(188)	10.1	27.2	27.8	21.5	12.0	1.3	12.7	34.8	25.3	16.5
30～39歳(221)	7.2	25.8	33.0	22.6	10.9	0.5	10.4	32.6	29.9	18.1
40～49歳(288)	8.7	24.7	31.6	28.1	5.9	1.0	18.4	33.3	26.0	17.4
50～59歳(271)	10.7	29.5	33.6	18.1	7.0	1.1	17.0	39.5	24.7	11.1
60～69歳(115)	10.4	26.0	36.1	19.3	6.0	2.2	16.9	34.0	26.3	15.4
70歳以上(245)	10.6	22.4	31.0	23.3	4.1	8.6	18.8	31.0	24.1	15.1
無回答(15)	6.7	-	26.7	13.3	6.7	46.7	6.7	20.0	20.0	6.7
18～19歳(13)	15.4	23.1	46.2	15.4	-	-	23.1	23.1	53.8	-
20～29歳(69)	14.5	29.0	24.6	17.4	14.5	-	18.8	36.2	21.7	11.6
30～39歳(89)	10.1	33.7	23.6	19.1	13.5	-	15.7	34.8	27.0	12.4
40～49歳(119)	12.6	20.2	42.0	21.0	3.4	0.8	21.0	35.3	26.1	14.3
50～59歳(133)	15.1	30.1	26.9	16.1	10.8	1.1	21.5	40.9	20.4	8.6
60～69歳(180)	13.9	34.4	30.6	16.1	4.4	0.6	24.4	36.7	22.2	12.2
70歳以上(115)	13.9	23.5	28.7	26.1	3.5	4.3	20.0	33.0	21.7	17.4
18～19歳(17)	11.8	17.6	17.6	11.8	41.2	-	11.8	17.6	17.6	11.8
20～29歳(33)	4.8	27.7	30.1	24.1	10.8	2.4	6.0	34.9	27.7	20.5
30～39歳(27)	5.5	19.7	40.2	25.2	8.7	0.8	7.1	30.7	32.3	22.0
40～49歳(56)	5.3	27.6	25.0	33.3	7.7	0.6	16.7	33.3	25.0	19.9
50～59歳(171)	8.3	26.9	38.6	19.3	5.3	1.2	14.6	37.4	28.1	12.3
60～69歳(238)	7.9	18.9	40.8	21.9	7.5	3.1	11.4	31.6	29.8	18.0
70歳以上(233)	8.1	22.0	32.5	21.1	3.3	13.0	18.7	30.1	25.2	13.0
18～19歳(0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳(0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30～39歳(5)	50.0	-	-	50.0	-	-	50.0	25.0	-	-
40～49歳(3)	-	40.0	20.0	20.0	20.0	-	40.0	20.0	20.0	20.0
50～59歳(3)	-	37.5	12.5	25.0	12.5	12.5	12.5	50.0	50.0	12.5
60～69歳(4)	-	60.0	20.0	20.0	-	-	60.0	20.0	20.0	-
70歳以上(2)	-	75.0	25.0	-	-	-	50.0	25.0	-	25.0
無回答(33)	6.1	15.2	33.3	18.2	100.0	-	-	-	100.0	-
業部(659)	9.0	26.5	32.3	20.6	3.2	24.2	9.1	24.2	27.3	15.2
生部(239)	9.0	26.5	32.3	20.6	8.7	2.4	15.5	34.5	26.2	14.2
産部(677)	10.6	24.4	34.0	22.3	8.9	2.7	18.2	30.1	24.3	16.3
無回答(19)	3.3	21.1	21.1	15.8	3.3	31.6	15.8	21.1	15.8	10.3

性 別	年 代 別	Ⅲ-問14-6防犯・海抜・①衛星画像・IoTセンサーやドローン等を活用した監視の強化			Ⅲ-問14-6防犯・海抜・②ICTを活用した放課時の情報収集・共有・発信の選			Ⅲ-問14-6防犯・海抜・③遠隔場所へ、測量装置データ等のオープンデータ					
		かなり関心がある	あまり関心がない	無回答	かなり関心がある	あまり関心がない	無回答	かなり関心がある	あまり関心がない	無回答			
男性	全体(1644)	29.4	40.8	20.7	4.9	25	27.7	39.6	23.3	23.0	3.8	1.5	2.8
	18～19歳(13)	15.4	23.1	53.8	7.7	30.8	-	46.2	7.7	23.1	46.2	7.7	-
	20～29歳(89)	30.4	40.6	21.7	4.3	29.6	-	39.1	24.6	4.3	29.6	4.3	2.9
	30～39歳(89)	23.6	39.3	25.8	6.7	4.5	-	20.2	42.7	22.5	9.0	5.6	6.6
	40～49歳(119)	25.2	51.3	19.3	0.8	25.2	-	47.9	21.0	4.2	23.5	50.4	0.8
	50～59歳(180)	23.7	49.5	22.6	2.2	1.1	-	20.4	50.5	22.6	3.2	22.6	2.2
	60～69歳(180)	35.0	45.0	13.3	5.0	1.7	-	31.7	40.6	21.1	5.0	1.7	35.0
	70歳以上(119)	37.4	33.0	18.3	8.7	0.9	-	33.0	34.8	21.7	7.0	0.9	6.1
	18～19歳(17)	35.3	11.8	17.6	5.9	29.4	-	29.4	5.9	29.4	23.5	5.9	11.8
	20～29歳(83)	30.1	30.1	27.7	8.4	1.2	-	26.5	32.5	29.1	4.7	1.6	2.4
	30～39歳(127)	37.0	37.0	29.1	3.9	1.6	-	28.3	36.2	29.1	4.2	1.6	1.6
	40～49歳(156)	30.8	44.2	17.3	5.1	1.3	-	31.4	42.3	18.6	5.1	1.3	1.3
	50～59歳(171)	36.8	36.6	17.5	4.1	2.3	-	0.6	36.3	38.6	19.9	2.9	1.8
	60～69歳(228)	27.2	43.9	21.1	4.8	1.3	-	18	26.8	42.5	23.2	3.5	1.3
	70歳以上(123)	29.3	41.5	17.9	2.4	8.9	-	22.8	39.8	25.2	3.3	8.9	2.4
18～19歳(0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20～29歳(0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
30～39歳(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
40～49歳(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
50～59歳(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
60～69歳(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
70歳以上(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答(33)	6.1	24.2	24.2	12.1	33.3	-	6.1	15.2	30.3	12.1	18.2	24.2	36.4
東京都(656)	30.9	41.3	19.4	4.0	2.3	-	29.4	39.5	22.3	4.3	2.4	2.1	2.3
中部(292)	25.7	42.1	23.3	5.1	1.7	-	25.3	40.1	26.0	4.1	2.4	2.4	2.4
西部(677)	30.0	40.6	21.3	5.5	0.9	-	1.8	27.3	40.3	23.5	5.8	1.3	1.9
無回答(19)	15.8	10.5	10.5	10.5	10.5	-	15.8	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	52.6

性 別	年 代 別	Ⅲ-問14-7学校教育・①1台端末による個別最適化学びと協働的な学びの充実			Ⅲ-問14-7学校教育・②システム等の活用による子どもたち一人ひとりの学習履歴や学習状況の把握			Ⅲ-問14-7学校教育・③研修等を通じた教員のICT活用能力の向上(学校訪問)											
		かなり関心がある	あまり関心がない	無回答	かなり関心がある	あまり関心がない	無回答	かなり関心がある	あまり関心がない	無回答									
男性	全体(1644)	24.7	36.3	24.7	7.4	2.7	2.7	18.7	35.8	3.1	2.9	19.6	32.8	34.4	26.0	5.4	1.7	2.7	
	18～19歳(13)	24.3	26.0	7.5	17.3	35.8	-	15.4	38.5	30.8	15.4	-	15.4	38.5	30.8	15.4	-	-	
	20～29歳(89)	25.1	35.6	26.0	7.2	2.9	-	20.8	35.0	31.9	6.6	3.2	21.7	32.9	33.3	6.5	3.0	2.6	
	30～39歳(89)	19.3	31.0	31.0	6.9	4.4	-	17.6	41.4	10.3	3.7	10.3	37.9	6.9	6.9	20.7	24.1	41.4	3.4
	40～49歳(119)	4.0	40.3	34.5	10.3	3.4	-	15.8	27.6	19.8	3.2	41.4	16.3	6.9	16.3	31.0	10.3	47.8	3.4
	50～59歳(180)	13.4	37.6	27.6	8.6	1.3	-	24.3	34.3	31.8	7.0	1.3	23.3	32.3	33.5	12.8	9.1	41.4	10.3
	60～69歳(180)	25.7	31.0	27.6	8.6	1.3	-	24.3	34.3	31.8	7.0	1.3	23.3	32.3	33.5	12.8	9.1	41.4	10.3
	70歳以上(119)	30.3	37.1	22.6	5.9	3.6	-	10.1	22.9	38.2	27.4	2.6	1.4	25.0	26.5	34.7	6.6	3.1	1.0
	18～19歳(17)	27.8	38.2	22.6	7.6	2.8	-	16.2	33.2	41.3	4.8	4.4	15.9	36.2	38.4	5.5	3.3	0.7	28.4
	20～29歳(83)	22.9	35.8	33.2	4.4	3.0	-	19.3	39.3	33.0	6.9	3.4	17.1	33.7	37.6	6.7	2.4	24.1	38.1
	30～39歳(127)	23.3	34.7	23.3	9.4	2.0	-	16.7	33.9	30.6	9.8	1.6	7.3	19.2	31.0	31.4	9.4	1.6	7.3
	40～49歳(156)	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	-	6.7	73.3	-	-	-	6.7	13.3	6.7	6.7	6.7	6.7	73.3
	50～59歳(171)	23.1	38.5	15.4	23.1	-	-	15.4	38.5	30.8	15.4	-	15.4	38.5	30.8	15.4	-	-	30.8
	60～69歳(228)	37.7	29.0	23.2	8.7	1.4	-	23.2	34.8	33.3	5.8	2.9	18.0	31.5	31.5	11.2	7.9	33.3	31.9
	70歳以上(123)	24.7	33.7	29.2	5.6	6.7	-	23.6	37.7	27.0	9.0	6.7	16.0	37.8	34.5	8.4	2.5	0.8	23.6
18～19歳(0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
20～29歳(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
30～39歳(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
40～49歳(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
50～59歳(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
60～69歳(4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
70歳以上(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答(33)	6.1	12.1	33.3	9.1	3.0	-	6.1	15.2	27.3	12.1	3.0	36.4	6.1	12.1	33.3	9.1	3.0	36.4	
東京都(656)	22.9	36.3	27.1	7.5	4.0	-	17.1	35.7	33.4	7.6	4.1	2.1	17.7	33.1	3.0	4.0	2.4	29.3	
中部(292)	26.4	34.6	27.1	7.2	2.1	-	17.8	34.6	34.9	6.5	3.1	22.3	31.2	34.6	5.8	3.1	3.1	35.3	
西部(677)	26.1	37.7	25.6	7.2	1.8	-	21.1	37.1	29.5	8.0	2.1	2.2	20.5	33.8	33.8	8.0	1.9	29.7	
無回答(19)	10.5	10.5	10.5	5.3	52.6	-	15.8	15.8	15.8	5.3	52.6	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	5.3	